



地域 番号	カテゴリ	都道府県	地域協議会名	英語解説文作 成年度	英語事 例集対 応番号
14	自然	北海道	羅臼町	令和2年度	049
15	(2地域)	北海道	釧路市多言語化推進協議会	令和2年度	051

地域番号	014	協議会名	羅臼町
------	-----	------	-----

解説文一覧

解説文番号	スポット名 (タイトル)	中国語文字数	想定媒体
014-001	羅臼へようこそ	545	その他 (デジタルサイネージ)
014-002	ホエールウォッチング各種ツアー	490	その他 (デジタルサイネージ)
014-003	クマ観察船ツアー	335	その他 (デジタルサイネージ)
014-004	流氷ダイビング	455	その他 (デジタルサイネージ)
014-005	シマフクロウ	625	その他 (デジタルサイネージ)
014-006	自分だけの海鮮丼を作りましょう	350	その他 (デジタルサイネージ)
014-007	羅臼昆布ヒレ削り体験	440	その他 (デジタルサイネージ)
014-008	魚の競り市ツアー	290	その他 (デジタルサイネージ)
014-009	羅臼ビジターセンター	455	その他 (デジタルサイネージ)
014-010	羅臼町でトレッキング： 望郷の森コース&熊越えの滝コース	560	その他 (デジタルサイネージ)
014-011	羅臼岳でハイキング	535	その他 (デジタルサイネージ)
014-012	羅臼湖でトレッキング	410	その他 (デジタルサイネージ)
014-013	知床世界遺産ルサフィールドハウス	450	その他 (デジタルサイネージ)
014-014	展望デッキ	370	その他 (デジタルサイネージ)
014-015	露天風呂	520	その他 (デジタルサイネージ)
014-016	羅臼の野生生物：陸	570	その他 (デジタルサイネージ)
014-017	羅臼の野生生物：海&川	555	その他 (デジタルサイネージ)
014-018	羅臼の野生生物：空	465	その他 (デジタルサイネージ)

014-019	羅臼町の祭り&行事	620	その他 (デジタルサイネージ)
014-020	道の駅 知床・羅臼	335	その他 (デジタルサイネージ)
014-021	屋外アクティビティ	375	その他 (デジタルサイネージ)
014-022	知床の野生生物	340	その他 (デジタルサイネージ)
014-023	羅臼ビジターセンター	415	その他 (デジタルサイネージ)
014-024	文化体験	340	その他 (デジタルサイネージ)
014-025	羅臼 UNESCO 世界遺産	510	その他 (デジタルサイネージ)
014-026	羅臼神社へようこそ	470	パンフレット

【タイトル】 羅臼へようこそ

【想定媒体】 その他（デジタルサイネージ）

<簡体字>

欢迎来到罗臼

罗臼位于日本东北角的知床半岛，周围环绕着世上首屈一指的美丽自然景观。知床有多处山岳景观，森林密布，被联合国教科文组织列为世界自然遗产地，半岛周围的水域是各种野生动物的庇护所。由于该地区受到严格保护，大部分区域未经开发，而且人烟稀少，因此棕熊、抹香鲸等哺乳动物，以及毛腿渔鸮、虎头海雕等稀有濒危鸟类得以在此繁衍生息。

游客来到罗臼后，可报名参加观光团，前往野生动物的自然栖息地近距离观赏。观察棕熊在怪石嶙峋的海岸边觅食，欣赏鲸鱼和海豚在根室海峡畅游。沿着自然小径漫步，聆听鸟儿啼鸣，观看毛腿渔鸮捕食。冬季，可以看到海豹在浮冰上休息，白尾海雕在海上翱翔，海天使在冰冷的海水中自在游曳。

通过参与各种文化体验，游客可更深入了解罗臼当地传统。参观鱼市拍卖会，了解当地渔业如何依靠从根室海峡捕获的丰富水产蓬勃发展。参加烹饪课程，学习如何给海胆去壳。探索为何众多世界顶级餐厅都十分喜爱在罗臼沿海水域生长的海带（昆布），参观专门为海带建造的仓库，了解其如何在此制备和分级。罗臼当地一年四季都会举办各种节庆活动，向当地渔业致敬，祭祀保佑着渔民的神明，还会在季节交替时节举办活动。

如需了解更多当地野生动物观赏活动和罗臼的文化遗产，可造访知床罗臼公路服务区的游客信息台，以及罗臼的两座游客中心。

<繁体字>

歡迎來到羅臼

羅臼位於日本東北端的知床半島，該地獲選為聯合國教科文組織的世界自然遺產，四周環繞著世界首屈一指的美麗自然景觀，擁有多處森林密布的壯闊山岳，半島周圍的水域則為庇護各種野生動物棲息的所在。知床半島大部分的區域未經開發，而且人煙稀少，加

上嚴格的保育措施，讓棕熊、抹香鯨等哺乳動物，以及毛腿漁鴉、虎頭海鵬等稀有瀕危鳥類得以在此繁衍生息。

遊客來到羅臼後，可報名參加觀光團行程，前往野生動物的自然棲息地，近距離目擊棕熊在奇石嶙峋的海岸邊覓食，欣賞鯨魚和海豚悠游於根室海峽。沿著自然小徑漫步，聆聽悅耳的鳥啼，觀察毛腿漁鴉捕食。時至冬日，您能看到海豹在浮冰上休憩，白尾海鵬在海面上翱翔，裸海蝶（海天使）在冰冷的海水中自在漂動。

透過豐富的文化體驗，遊客得以認識羅臼當地的傳統。前往當地漁市，深入了解在根室海峽捕獲的豐富海產，以及這些漁獲如何成為當地漁業蓬勃發展的基礎，或者參加烹飪課程，學習如何為海膽去殼。探索羅臼海岸邊生長的昆布（海帶），包括羅臼昆布受到眾多世界頂級餐廳青睞的原因，然後參觀專為昆布建造的倉庫，理解昆布的準備工作和分級方法。此外，羅臼全年都會主辦各種祭典與節慶活動，藉此彰顯當地漁業的興盛，祭祀保佑漁民的神明。

如需深入了解當地野生動物觀賞活動，以及羅臼的文化遺產的細節，您可造訪知床羅臼道路休息站的觀光諮詢處，還有位於羅臼的兩座遊客中心。

<日本語仮訳>

羅臼へようこそ

羅臼町は、日本の北東端にある知床半島に位置しており、世界有数の美しい自然に囲まれています。ユネスコの世界自然遺産に登録されている森に覆われた知床の山々、そして半島周辺の水辺は、様々な野生動物の聖地になっています。未開発の人があまり住んでいない区域に厳しい保全対策が講じられれば、ヒグマやマッコウクジラだけでなく、シマフクロウやオオワシといった希少な鳥や絶滅危惧種が育ちます。

羅臼町へ来た旅行者は、自然の生息地に棲むこれらの生き物を見る観察ツアーに参加することができます。岩場の多い海岸線沿いでクマが餌を求めて移動し、イルカが根室海峽を泳ぐ姿を見に行きましょう。鳥の歌声を聞き、シマフクロウが狩りをする様子を見ながら、自然遊歩道を散策してみましょう。冬には、アザラシが流水で休憩し、オジロワシが海の上空を舞い、海の妖精クリオネが凍った水中を泳ぐ姿を見ることができます。

文化体験では、羅臼の地方の慣習についてもっと発見することができます。魚の競り市へ行って根室海峽の多様な漁獲で栄える漁業について学んだり、料理教室でウニの殻の外し方を習ってみましょ

う。世界の一級レストランがなぜ羅臼町の海岸で育つ昆布を重宝するのかに納得し、専用倉庫でどのように調理・格付けされるのかを見てください。ここでは年中、漁業と漁民を守る神々をたたえる祭りを地元コミュニティが主催し、四季の変化を知らせる行事も行われます。

道の駅 知床・羅臼の観光案内所と羅臼町に 2 か所あるビジターセンターでは、地元の野生動物観察や羅臼の文化遺産に関する詳しい情報を提供しています。

【タイトル】 ホエールウォッチング各種ツアー
【想定媒体】 その他（デジタルサイネージ）

<簡体字>

赏鲸之旅

罗臼附近的根室海峡是鲸鱼经常光顾的觅食场所，一年中大多数时候都能在此见到这种大型哺乳动物的身影。来到罗臼的游客可参加赏鲸之旅，观赏虎鲸（4-7月）、抹香鲸（7-9月）和其他鲸鱼。

鲸鱼活动的迹象

观鲸船船员会注视海面寻找鲸鱼活动的迹象，包括划破水面的鲸鱼鳍，从气孔中喷出的水雾，以及水面上留下的“尾印”。发现此类迹象后，船长会驾船靠近，让大家在安全距离观察鲸鱼。

鲸鱼的气孔

鲸鱼无法在水下呼吸，因此它们每隔一段时间就要浮上水面以肺换气。根据不同种类，鲸鱼可以在水下停留几分钟到40分钟左右。鲸鱼会通过气孔呼吸几下，然后抬起尾巴，潜回水下。如果看到水雾喷出，那么就有机会看到鲸鱼用尾巴拍打水面。

鲸鱼尾印

鲸鱼潜入水下以后，会留下一道“尾迹”。这道“尾迹”学名为尾印，是鲸鱼尾鳍划过水面时，短暂留下的一道玻璃般的光滑水痕。从“尾迹”可以看出鲸鱼的大小。

旅程详情

旅程通常在4月底到10月间进行。有多家公司经营根室海峡赏鲸之旅。游客需查看各家公司的宣传材料，或咨询游客信息台。

请注意海上可能会有些寒冷，即使是仲夏时节，气温也很少会达到20°C。参加赏鲸之旅时可带一件套衫或其他保暖衣物。

<繁体字>

賞鯨之旅

根室海峽位於羅臼附近，對於鯨魚來說是覓食種類豐富的場所，一年中大部分的時間，皆能在此見到這類大型哺乳動物的身影。造訪羅臼的遊客可參加賞鯨之旅，觀賞虎鯨（4至7月）、抹香鯨（7至9月）和其他鯨魚。

鯨魚活動蹤跡

賞鯨船的船員會觀察海面，尋找鯨魚的鰭劃破海面、從氣孔噴出水霧，以及在海面留下「尾印」等活動蹤跡。當發現這些蹤跡，船長會將船駛去，在確保安全下讓遊客近距離觀賞鯨魚。

鯨魚的氣孔

鯨魚無法在水下呼吸，因此為了用肺換氣，牠們每隔一段時間必須浮出水面，而且根據不同種類而異，鯨魚可在水中停留數分鐘到40分鐘左右之久。在換氣時，鯨魚將會透過氣孔呼吸數次，然後抬起尾巴，再次潛回海中，因此如果看到水霧噴出，就表示有機會看到鯨魚尾鰭劃破海面的壯觀景象。

鯨魚尾印

鯨魚潛入海中之後，會留下一道「痕跡」。這道痕跡的學名稱作「尾印」，意即鯨魚的尾鰭在劃過海面時，短暫留下一道質感有如玻璃般光滑的水痕。此外，尾印有助於判斷鯨魚的體積大小。

觀光行程的詳細資訊

4月底至10月之間，多間公司定期提供根室海峽的賞鯨之旅，遊客可查閱各種行程的宣傳資訊，或洽詢觀光諮詢處。

請留意海上可能有些寒冷，即使是盛夏時節，氣溫也大多低於攝氏20度，因此建議在參加賞鯨之旅時，多帶件外套或其他保暖衣物。

<日本語仮訳>

ホエールウォッチング各種ツアー

羅臼海岸沖に位置する根室海峽はクジラの豊富な餌場で、この巨大な哺乳類はほぼ1年を通してこの水域に現れます。羅臼町を訪れた際には、ホエールウォッチングツアーでシャチ（4月～7月）やマッコウクジラ（7月～9月）などを観察することができます。

クジラが活動している印

ツアー船のクルーが水面を観察し、水面から垣間見えるクジラのひれや潮吹き穴から出てくるしぶき、クジラの「テールプリント」といったクジラの活動の印を探します。印が発見されると船長はすぐさま船の向きを変え、クジラを安全に観察できる距離まで近づけます。

クジラの潮吹き穴

クジラは水中で呼吸ができないため、定期的に水面へ上がってきて肺の中の空気を循環させなければなりません。種類により、クジラは数分から約 40 分ほどまで水中にもぐることができます。潮吹き穴を通して数回呼吸をすると、尾びれを上げて再び水中へ潜っていきます。潮吹き穴のしぶきが確認できたら、クジラの尾びれが水面を割る様子が見られる可能性があるということです。

クジラのテールプリント

クジラが水面下に消えてしまった後も、「テールプリント（尻尾の跡）」が残ります。正確にはフロックプリントと呼ばれ、尾びれが水を突いた後にわずかな時間だけ水面に残る滑らかでガラスのような波紋を指します。この「プリント」はクジラのサイズを示すヒントとなります。

ツアー詳細

ツアーは、通常、4 月下旬から 10 月に実施されています。根室海峡のツアーを実施しているホエールウォッチングの会社は複数あります。訪れる際は、各社の宣伝資料を確認するか、観光案内所で詳しい情報をご確認ください。

海の上は、真夏でも気温が 20℃に達することは少なく、寒さを感じる場合があります。ホエールウォッチングツアーに参加される際は、ジャンパーや暖かい服をご用意ください。

【タイトル】クマ観察船ツアー

【想定媒体】その他（デジタルサイネージ）

<簡体字>

观熊船之旅

一直受到北海道原住民敬畏和崇拜的棕熊常见于知床半岛，因为半岛上的食物资源丰富，而且栖息地受到严格的法规保护。这些熊会在山中、林间和半岛岩石嶙峋的海岸线上觅食。在熊的自然栖息地与熊相遇是很危险的，应尽可能避免。不过，来罗臼町的游客可以参加游船之旅，安全无忧地来观察熊。

观熊体验与令人惊叹的地质风光

游船会沿着半岛的东部边缘北上，一直行驶至半岛最北端。熊往往会在4月至10月之间活跃在这片区域，因此在此期间看到熊的概率很高。如果在9月参加游船之旅，可能会有机会看到熊聚集在河口处捕捉逆流而上的鲑鱼。游客可以一边寻找熊的踪迹，一边欣赏奇特的知床地形，包括高耸的海岸绝壁和神奇的瀑布。

行程详情

这里有多家公司运营观熊之旅。游客请参考各旅游公司的宣传资料或前往游客信息台问询。

<繁体字>

觀熊船之旅

棕熊一直以來都是北海道原住民敬畏和崇拜的對象，在知床半島上經常能見到牠們的身影，因為這裡有豐富的食物來源，以及受到嚴格保育法律規範的棲息地。棕熊會在山上、森林裡與多岩的半島海岸線上尋找食物。在棕熊的自然棲息地中，遊客遇到牠們將會相當危險，應盡可能避免。不過來到羅臼時，報名參加觀光船之旅，就能在安全範圍內觀察棕熊。

觀熊體驗與令人驚嘆的地質風景

観光船沿著半島東部の邊緣北上，一路航行至半島的最北端。4 月至 10 月是棕熊在該區頻繁活動的時期，這時有很多機會能看到牠們。9 月參加觀光船之旅時，更有機會見到棕熊聚集在河口處捕捉逆流而上的鮭魚。遊客可以一邊尋找熊的蹤跡，一邊欣賞令人驚嘆的知床地形景觀，包括高聳的海岸峭壁，以及雄偉壯觀的瀑布。

行程詳細資訊

有數家旅行社提供觀熊之旅行程，建議遊客參考各家旅行社相關的宣傳資料，或前往觀光諮詢處獲取相關資訊。

<日本語仮訳>

クマ観察船ツアー

知床半島にはヒグマがたくさん生息しており、北海道の先住民たちに畏敬と信仰の対象とされてきました。豊富な食料源と厳しい保全規制により守られた生息地があるためです。クマは、山々や森、半島の岩場の多い海岸線沿いで食料を求めて移動します。自然の生息地でクマと遭遇するのは危険なので、回避する必要があります。しかし、羅臼町へ訪れた方はボートツアーで安全にクマを観察することができます。

クマの目撃と印象的な地質

ツアー船は半島の東部の端から北部の先端までを巡ります。クマは、4 月から10 月にかけてこの地域で活発に動いています。9 月のツアー参加者の方はサケが上流を目指して泳ぐところを捕まえに河口へ集まって来る様子を目撃できる可能性が高いです。クマが見つかるまでは、海岸の高い絶壁や滝などの印象的な知床の地形を楽しむことができます。

ツアー詳細

複数の会社がクマ観察ツアーを実施しています。訪れる際は、各社の宣伝資料を確認するか、観光案内所で詳しい情報をご確認ください。

【タイトル】 流氷ダイビング

【想定媒体】 その他（デジタルサイネージ）

<簡体字>

浮氷潜水

毎年冬天，流入根室海峡的浮氷都会为经验丰富的潜水爱好者提供独特的潜水机会。提供潜水游的公司会用链锯在冰面上切割出入水点，以便潜水者穿着干式潜水衣潜入冰下，欣赏阳光透过冰面产生的绚丽的渐变蓝色。潜水者还可以观赏浮氷下的各种生物。北方的海洋生物不同于温暖水域中的生物。潜水者可以在此看到冷水物种，如裸海蝶——一种通常被称为海天使的晶莹的海蛞蝓。

在浮氷下潜水的机会在全世界都较为罕见。浮氷通常只出现在两极附近，很少在低纬度地区形成。然而，浮氷每年都会出现在北海道北部海岸附近的鄂霍次克海。来自俄罗斯阿穆尔河的淡水流入大海，稀释了海水的盐分，提高了冰点，从而形成浮氷。在阿穆尔河的入海口附近，鄂霍次克海海面冻结，然后冰块破裂，向南漂往罗臼海岸。

每年 2 月至 3 月是冰下潜水的季节，参加潜水之旅需要持有开放水域潜水证书。由于水温极低，每次潜水只能限制在约 20 分钟。有一家旅游公司提供冰下潜水体验；请咨询游客信息台了解详细信息。旅游公司的工作人员可以用英文进行基础性的指导。请注意有意参加者需至少提前 24 小时预约。

<繁体字>

浮冰冰潜

浮氷每年冬季都會流入根室海峡，對於經驗豐富的潛水愛好者們來說，就有機會享受到與眾不同冰潛體驗。提供冰潛行程的公司會用電鋸在冰面上切割好出入口，以便冰潛者穿著乾式潛水衣潛入冰下欣賞陽光透過海面流氷映照出的藍色漸層，還能觀賞浮氷下的生物。與溫暖海域不同，冰潛者可在北方海洋中看到冷水種的海洋生物，例如一般稱之為海天使的裸海蝶，牠是一種半透明的海蛞蝓。

浮冰冰潜的機會世上少有，因為浮冰通常只出現在南、北兩極附近，在低緯度的地區相對少見。不過在北海道北部海岸附近的鄂霍次克海上，每年都有浮冰形成。由於來自俄羅斯阿穆爾河的淡水流入大海，稀釋了海中的含鹽量，進而提高冰點，於是在阿穆爾河的入海口附近，鄂霍次克海的海面凍結，然後冰塊破裂，向南漂向羅臼海岸。

毎年 2 月至 3 月是冰潜季，若想參加冰潜行程，必須具備開放水域的潜水執照。由於水溫極低，每次冰潜限於 20 分鐘左右。這裡有一家旅行社提供冰潜體驗行程，詳細資訊請洽觀光諮詢處。此外，旅行社的工作人員可用英文進行基礎指導。請注意，預約行程時最晚必須提前 24 小時報名。

<日本語仮訳>

流氷ダイビング

毎年冬に根室海峡へと流れてくる浮氷塊は、経験豊富なダイバーにとって新たなダイビングの機会を与えてくれます。ダイビングツアーの業者がチェーンソーを使って氷の侵入口を作り、ダイバーはそこからドライスーツを着て氷の下へ潜り、頭上の流氷を通った光が海中につくり出す、さまざまな青のグラデーションや、氷塊下の生き物を目に見ることができます。北の海洋生物の暮らしは暖水域のものとは異なり、ダイバーは、一般的に海の妖精と呼ばれる透明のウミムシ、クリオネなど、冷水域の種を見ることができます。

流氷下でダイビングする機械は、世界的にも比較的稀です。浮氷塊は、通常、北極・南極周辺に限られていて、緯度の低い地域では稀にしか形成しません。しかし、北海道北部沖のオホーツク海では、毎年、浮氷塊が発生します。ロシアのアムール川の真水がこの海域に流れ込んできて塩分濃度を低め、氷点上がるためです。オホーツク海の水はアムール川の河口周辺で凍り、その後、分岐して羅臼海岸へと南に向かって流れます。

アイスダイビングのシーズンは 2 月から 3 月で、ダイビングに参加するにはオープンウォーター認定証が必要です。水温は氷点下になるため、各潜水時間は 20 分程度に制限されています。アイスダイビング体験はツアー会社のひとつが実施しています。詳しい情報については観光案内所でご確認ください。ツアー会社のスタッフが基本的な指導を英語で行うこともできます。24 時間前までの予約が必須です。

【タイトル】 シマフクロウ

【想定媒体】 その他（デジタルサイネージ）

<簡体字>

毛腿渔鸮

毛腿渔鸮（日文名读法：shimafukuro）是世界上体型最大的猫头鹰，身长约 66-69 厘米，翼展约 180 厘米。北海道原住民阿伊努族称此鸟为“Kotan Koru Kamui”，即“村落之神”。毛腿渔鸮属于极危物种，由于森林砍伐，这种鸟的筑巢区在全球范围内大幅缩小。得益于知床严格的保护措施，毛腿渔鸮可以在知床半岛的森林中安全栖息。毛腿渔鸮在大树的空洞中筑巢，在浅水河流中捕鱼。在黄昏时分的罗臼，有机会看到这种鸟儿离巢捕猎。

观赏毛腿渔鸮

与其他所有野生动物一样，并不能保证一定能看到毛腿渔鸮。不过，经过多年观察，人们已经了解这种鸟儿的习性。它们几乎不会远离自己的栖息地，而且还会定期回到同一地点捕食。这种鸟类通常在黄昏后活动，不过时间也因季节而异。11 月时，它们常常在日落时现身。而在繁殖季的 2 月至 3 月期间，它们更常于在更晚的凌晨 1 点左右出没。知床半岛上有多处观赏点。知床罗臼公路服务区游客信息台的员工可提供有关具体观赏位置的建议。

布莱基斯顿线：物种分界线

毛腿渔鸮的英文名(Blakiston's fish owl)源自布莱基斯顿线(Blakiston's Line)，这是北海道与日本最大岛屿本州岛之间的一条动物地理学分界线。栖息于分界线以北的物种与亚洲北部物种关联，体型往往较大。分界线以南的物种与亚洲南部物种相近，体型往往较小。英国探险家和自然学家托马斯·布莱基斯顿(1832-1891)首先发现了这一现象，因此分界线以他的名字命名。

<繁体字>

毛腿漁鸮

毛腿漁鴉是世界上體型最大的貓頭鷹，66至69公分的身長，翼展距離約為180公分。北海道原住民愛努族將牠們稱為「Kotan Koru Kamui」，即「村落之神」之意。毛腿漁鴉屬於極危物種，面臨森林砍伐的威脅，因此能築巢的區域在全球大幅減少。多虧知床嚴格的保育措施，知床半島上的森林，成為毛腿漁鴉安全的棲息地，牠們可在大樹的洞中築巢，在淺河捕魚，若在黃昏過後造訪羅臼，更有機會目擊此種鳥類離巢捕獵的身影。

觀賞毛腿漁鴉

如同其他所有觀賞野生動物的行程一樣，無法保證一定能看到毛腿漁鴉，不過歷經多年觀察，人們已可掌握此種鳥類的習性。牠們幾乎不會遠離自己的棲息地，並會定期回到同一地點捕食，而且多在黃昏之後活動，不過具體情況也因季節而異；在11月時，毛腿漁鴉則會在日落前後現身。只是2月至3月期間，由於正值毛腿漁鴉的繁殖季，牠們現身的時間會大幅延後至凌晨1點左右。知床半島上遍布多處觀賞點，如需確切位置的相關資訊與建議，不妨詢問知床羅臼道路休息站觀光諮詢處的工作人員。

布萊基斯頓線：物種分界線

毛腿漁鴉的英文名字（Blakiston's fish owl）源自布萊基斯頓線（Blakiston's Line）此一生物地理界線，其位於北海道與日本的最大島嶼本州島之間；棲息在分界線以北的物種，與亞洲北部物種相關，體型往往較大。分界線以南的物種則與亞洲南部物種相近，體型往往較小。英國探險家兼自然學家托馬斯·布萊基斯頓（西元1832-1891）首先發現了這種自然現象，分界線因此以他的名字命名。

<日本語仮訳>

シマフクロウ

シマフクロウは世界最大のフクロウで、全長66～69cm、翼を広げると約180cmの大きさを誇ります。北海道の先住民であるアイヌの人々の間では、集落の守神を意味する「コタン・コロ・カムイ」と呼ばれています。シマフクロウは絶滅の危機に瀕しており、その営巣地は森林伐採により、シマフクロウの営巣地は世界中で減少しているものの、知床の厳しい保全対策により、同半島の森林には安全な生息地が残されています。大木のくぼみをねぐらとし、浅い川で餌をつります。羅臼町を訪れた際は、シマフクロウが営巣地を離れて狩りに出かける夕暮れ後にこの鳥を目にすることができるかもしれません。

シマフクロウ鑑賞

他の野生動物同様、フクロウに遭遇できるかは保証できません。ただし、長年の観察により、行動パターンが分かっています。シマフクロウはねぐらをあまり離れることはなく、定期的に同じ狩場へ戻って来ます。季節によるものの、シマフクロウは夕暮れ後に活発に動くことが多い生き物です。11月には、日暮

れごろに現れる傾向があります。ただし、繁殖期の2月と3月には、もっと遅い午前1時ごろに現れることが多いです。知床半島には複数の鑑賞ポイントがあります。道の駅 知床・羅臼のスタッフが場所をお勧めの場所を教えてください。

ブラキストン線：種の境界線

シマフクロウの英語の名前（Blakiston's fish owl）の由来は、北海道と本州の境界線を指すブラキストン線に由来します。この線より北部に住む動物は北アジアの種が親せきで、大型になる傾向があります。この線より南部に住む種は、南アジアの動物と共通点が多く、小型になる傾向があります。ブラキストン線という名前は、この境界線を最初に作ったイギリスの探検家で博物学者の Thomas Blakiston（トーマス・ブラキストン：1832～1891）に由来しています。

【タイトル】 自分だけの海鮮丼を作りましょう

【想定媒体】 その他（デジタルサイネージ）

<簡体字>

自制“海鲜丼”

渔业是罗臼町的主要产业。在罗臼海岸旁的根室海峡可捕获到大量鱼类以及海胆等其他海产品。游客可以在这里参加体验活动，以了解当地种类繁多的鱼类贝类等，并亲手制作“海鲜丼”（海鲜盖饭）：盛一碗米饭，再放上新鲜的罗臼海胆和其他当季生鱼片。

罗臼海胆被认为是日本最好的海胆之一，因为其以优质海带（罗臼昆布）为食。游客可以从水箱中挑选一只海胆，然后敲破海胆尖刺外壳，将乳脂丰富的橘黄色海胆肉分层叠放到专门用来装生鱼片的盒状木盘“折箱”。游客还可以另外挑选自己喜爱的各种生鱼片，和海胆一起摆放到大碗米饭上做成鲜美的“海鲜丼”。

工作人员会使用简单的英语短语和手势与不会日语的游客交流。游客可以通过知床罗臼公路服务区的游客信息台进一步了解时间、日期和地点等详细信息。该设施距离公路服务区约有 15 分钟车程。

<繁体字>

自製海鮮丼

漁業是羅臼的主要產業。在羅臼海岸旁的根室海峽能捕獲到大量魚類和海膽等海產。來到這裡的遊客可以參加課程，藉此了解當地多樣的海鮮種類，並親自製作海鮮丼（在一碗白飯上放上新鮮的羅臼海膽以及其他當季精選生魚片）。

羅臼海膽以優質的海帶（羅臼昆布）為食，因此在日本普遍被視為是一種高級海膽。參與課程的遊客先從水箱中挑選出一個海膽，然後敲破海膽尖刺狀的外殼，並將奶油般的橘黃色海膽肉分層，放在專門用來盛裝生魚片的盒狀木盤「折箱」上。參與者還可在各種生魚片中，挑選自己喜歡的種類，然後跟海膽一起放在以碗盛裝的白飯上，這樣就能完成一碗自製的海鮮丼了。

課程的工作人員會使用簡單的英語和手勢來與不懂日語的遊客交流。如需深入了解相關詳細資訊，包括舉辦的時間、日期和地點，請洽知床羅臼道路休息站的觀光諮詢處，舉辦該課程的地點距離道路休息站約 15 分鐘車程。

<日本語仮訳>

自分だけの海鮮丼を作りましょう

漁業は羅臼町の中核産業です。羅臼町海岸沖の根室海峡では、大量の魚やウニなどの他の海洋生物が獲れます。この地域を訪れた際は、地元で獲れる様々な魚介類について学ぶことができる教室に参加し、ご飯に羅臼産ウニや他の旬の刺身をトッピングした自分だけの海鮮丼を作ることができます。

羅臼のウニは、最高級昆布である羅臼昆布を食べて育つため、日本で最も上質なウニの一つとして知られています。参加者は水槽からウニを選び、とげとげの殻を割って開いてクリーム状のオレンジ色の身を箱のような木製の刺身用の木皿に重ねていきます。参加者は、選りすぐりの刺身を自分の海鮮丼に追加することができます。ウニや鮮魚などの具材を選んだら、それを丼のご飯に乗せます。

日本語を話さない参加者には、スタッフが簡単な英語やジェスチャーで説明します。日時や場所などの詳細については、道の駅 知床・羅臼観光案内所までお問い合わせください。当施設は、道の駅から車で 15 分ほどのところにあります。

【タイトル】 羅臼昆布ヒレ刈り体験

【想定媒体】 その他（デジタルサイネージ）

<簡体字>

罗臼昆布修剪体验

罗臼昆布是一种海藻，仅生长在罗臼的沿海水域。昆布因其鲜味深受世界各地顶级餐厅追捧。这种鲜味馥郁、可口，是日式高汤的基础，也是日本料理的根基。游客来到罗臼后，可以参加昆布修剪体验，深入了解这种特殊的海藻种类。

这种大型海藻生长在根室海峡浅水区，需要生长两年才能收获。昆布可长到 3 米长，须使用带有钩子的木杆从海中收割。之后，罗臼渔民就开始加工昆布，整个过程费时费力，需要 23 个步骤，包括脱水、拉伸、包裹、卷制、修剪和包装。

在罗臼昆布修剪体验过程中，参与者将首先观看收割、加工过程录像，然后再学习如何修剪和包装昆布。接下来，游客会前往罗臼渔港参观昆布仓库，了解这种海带的分级和储存方法。员工会给不会日语的游客发放详细的英文宣传册，而且还会使用简单的英语短语和手势与游客交流。

由于冬季的根室海峡遍布浮冰，因此这里的海水养分丰富。可能正是由于这里有富含矿物质的海水，所以这种特殊的海藻品种只在这里生长。如需详细了解罗臼昆布修剪体验，可咨询知床罗臼公路服务区的游客信息台。

<繁体字>

羅臼剪裁昆布體驗

羅臼昆布是一種海帶，僅生長在羅臼岸邊的海水中，因其富有「旨味」的特色，深受世界各地頂級餐廳青睞；旨味是一種馥郁、可口的鮮味，其為日式高湯的基礎，也是日本料理的根基。遊客來到羅臼，可以參加昆布剪裁體驗，深入了解這種獨具特色的海帶種類。

此種大型昆布生長於根室海峽的淺水區，需時 2 年才能收穫；長達 3 公尺的昆布，必須使用帶有鉤子的木製長桿從海中採摘。之後，羅臼漁民開始處理昆布，過程費時費力，需要 23 個步驟才能完成，包括曬乾、展開、包裹、捲起、剪裁和包裝。

在羅臼昆布剪裁體驗中，參與者首先觀看採摘、加工過程影片，然後學習如何剪裁和包裝昆布。接下來便會前往羅臼漁港參觀昆布倉庫，了解海帶分級、保存的方法。對於不會日語的參與者，工作人員會發放詳細的英文觀光手冊，以及使用簡單的英語詞彙和手勢與大家交流。

由於冬季的根室海峽遍布浮冰，海水的養分豐富，也許正因這些富含礦物質的海水，讓羅臼成為羅臼昆布唯一的生長地。如需了解羅臼昆布剪裁體驗的詳細資訊，可以諮詢知床羅臼道路休息站的觀光諮詢處。

<日本語仮訳>

羅臼昆布ヒレ刈り体験

羅臼昆布は、羅臼町の海岸でのみ育つ昆布の一種で、世界トップのレストランなどでその旨みが高い評価を受けています。旨みとは、日本料理の支柱である出汁の基本となる濃厚な風味を指します。ここへ訪れた際は、昆布ヒレ刈り体験でこの特殊な昆布についてもっと知ることができます。

この大きな海藻は、根室海峽で 2 年成長すると収穫されます。3 メートルにも達するこの昆布は、木製のカギを使って水から取り出されます。それから、羅臼の漁民は、乾燥・湿り巻き上げ・手返し・葉切り・箱詰めなど、23 もの工程がある重労働に励みます。

羅臼昆布ヒレ刈り体験では、この収穫・熟成工程に関する動画を視聴した後、ヒレ刈り・箱詰めの方法を学ぶこととなります。その後は、羅臼港の昆布倉庫を見学し、その格付けや保存の様子を見ることができます。日本語を話さない参加者全員にはスタッフが詳しい英語のパンフレットを配布し、簡単な英語やジェスチャーを使って説明を行います。

羅臼海岸沖は、冬の間根室海峽をいっぱいにする浮氷塊により、栄養豊富な海水になります。ミネラル豊富な海水が、羅臼昆布がここでしか育たない理由であると考えられています。羅臼昆布ヒレ刈り体験の詳細については、道の駅 知床・羅臼観光案内所までお問い合わせください。

【タイトル】 魚の競り市ツアー

【想定媒体】 その他（デジタルサイネージ）

<簡体字>

鱼类拍卖之旅

渔业是罗臼的主要产业，当地大多数餐馆都以新鲜海产为特色。游客可以在罗臼渔港参加鱼类拍卖之旅，以深入了解罗臼的渔业和海产。

负责鱼类拍卖之旅的当地导游会介绍罗臼的捕鱼文化，包括在国后岛海岸附近由俄罗斯控制的水域捕鱼需要遵守哪些规范。一番讲解后，导游会带领大家前往鱼市一睹上午的渔获并观看一场拍卖。整个行程大约持续 1 小时。

根室海峡盛产各种鱼类，既有浅水鱼，也有深海物种。海峡的海床地形为这种多样性创造了条件。海床在 5 米深的浅滩处陡然下沉至 2000 米深左右。

整个行程会以日语进行。不会日语的游客可以安排一名英语口译员陪同。请在知床罗臼公路服务区的游客咨询柜台了解详细信息。

<繁体字>

魚類拍賣體驗行程

漁業是羅臼地區的主要產業，當地多數餐廳的菜單上皆以新鮮海產為主，遊客造訪此地時，若想深入了解羅臼的漁業與海產，可在羅臼漁港參加魚類拍賣體驗行程。

在進行魚類拍賣行程時，帶領遊客的當地導遊會介紹羅臼的捕魚文化，比如由俄羅斯控制的國後島海岸附近海域，進行捕魚時需要遵守哪些規範。導遊在仔細講解完後，接著會帶領遊客前往漁市，一睹上午的漁獲並且觀看一場拍賣活動，約 1 小時結束全程。

根室海峽由於地處海床地形，海床在深 5 公尺的淺灘處陡然下降，直至 2,000 公尺左右的深度，因而擁有豐富的漁產，既有淺水魚，也有深海物種。

整個體驗行程將以日語進行，如果不會日語，遊客可以安排一名英語口譯員陪同參加。若想了解詳細資訊，敬請前往知床羅臼道路休息站的觀光諮詢處。

<日本語仮訳>

魚の競り市ツアー

羅臼町では漁業が中核産業で、地元のほとんどの食堂などのメニューでは生鮮海産物がメインとなっています。羅臼町を訪れた際は、羅臼漁港で魚の競り市ツアーに参加し、ここで獲れる魚介類や漁業について学ぶことができます。

このツアーは羅臼の漁業文化を紹介する地元のガイドが主催するもので、国後島海岸沖のロシアが管理する海域での漁業における決まりごとなどについて説明してくれます。説明の後は、ツアーガイドが魚市場へと参加者を案内するので、その日の漁獲や競り市を見学することができます。ツアーは所要時間 1 時間ほどで終わります。

根室海峡では、浅海魚から深海魚まで多種多様な魚が獲れます。これは、根室海峡の海底地形によるものです。5メートルの浅瀬から約 2,000メートルの海底まで深くなります。

体験は日本語で行われます。日本語を話さない参加者は、同行する英語通訳を手配することができます。詳細については、道の駅 知床・羅臼観光案内所までお問い合わせください。

【タイトル】 羅臼ビジターセンター

【想定媒体】 その他（デジタルサイネージ）

<簡体字>

知床国立公園羅臼游客中心

知床国立公園羅臼游客中心是游客了解知床野生动物、地质和历史的理想去处。入口附近的一块大型信息栏上会提供关于熊类出没的最新目击情况，还有季节性花卉和鸟类的插图。中心多处设有信息面板，以英文介绍知床的海域、河流和山脉的生态系统。在游客中心网站上可以下载 PDF 格式的宣传册和宣传单。

知床的四季

游客中心的剧场会播放一段时长 25 分钟的视频，展示知床一年四季的景色。看看鲜明的四季气候会让这座半岛的景观出现哪些变化，了解当地野生动物的行为。

感受大型动物的魅力

从小巧的鸣禽到庞大的鲸鱼，知床的野生动物种类繁多，游客中心也展示了其中一些较大的物种。位于游客中心中央的是一具 8 米长的雄性虎鲸骨架，这条巨大的鲸鱼于 2005 年在罗臼海岸搁浅。熊掌印展览处有两个用混凝土浇筑的印迹，向游客展示一只成年公熊前爪的大小。

熊类保护和周边地区

游客可在服务台选购熊铃，还可以租赁防熊喷雾剂和全天候靴子。此外，还有当地设计的一系列手工艺品可供选购。从游客中心开车前往知床峠的入口和熊之汤露天温泉浴池，都只需要几分钟。

<繁体字>

知床羅臼遊客中心

知床羅臼遊客中心是遊客了解知床野生動物、地質和歷史相關資訊的理想去處。入口附近的大型資訊看板上，提供熊出沒的最新目擊情報，以及季節性花卉和鳥類的插圖。中

心裡頭多處設有資訊面板，並以英文為遊客介紹知床的海域、河流和山脈的生態系統。如果需要 PDF 格式的觀光資訊手冊，可到遊客中心的網站下載。

知床の四季景色

遊客中心的劇場會播放一段 25 分鐘的影片，展示不同季節的知床風情。不妨觀看影片，探索這座半島在鮮明的四季氣候影響下，呈現出多彩多姿的景色，同時了解當地野生動物的行為。

感受大型動物帶來的震撼

知床の野生動物種類繁多，從小巧的鳴禽到龐大的鯨魚皆有，遊客中心也展示了其中一些體型較大的物種。中心內最引人注目的是一具 8 公尺長的巨型雄性虎鯨骨骼標本，原身是隻 2005 年在羅臼海岸擱淺的巨大鯨魚。此外，熊掌印展覽則呈現兩個以混凝土澆注的印跡，讓遊客可以直接感受成年公熊前爪的大小。

熊類保護與周邊地區

遊客可在服務台買好熊鈴，也能租借防熊噴霧劑和適合各種天候的靴子，另外還有當地居民設計的各式手工藝品供人選購。遊客中心與知床峠の入口、熊之湯露天溫泉浴池相距不遠，開車只需幾分鐘就能抵達。

<日本語仮訳>

羅臼ビジターセンター

羅臼ビジターセンターは、知床の野生生物・地理・歴史に関する情報のハブとなっています。入口付近の大きな情報案内板には、最新のクマ目撃情報や、季節の花や鳥類の絵が掲げられています。センター中にある情報パネルでは、知床の海・川・山の生態系を英語で紹介しています。また、当センターの公式サイトから、案内パンフレットなどの PDF をダウンロードすることができます。

知床の四季

センターのシアターでは、知床の 1 年を紹介する 25 分間の動画が流れます。知床半島の景色を変える四季の激しい変化を見て、地元の野生生物の行動について学びましょう。

スケール感

知床の野生生物は小さな鳴き鳥から大きなクジラまで幅広く、同センターでは大きめの種を一部展示しています。この施設の最大の目玉は、2005 年に羅臼海岸に打ち上げられた体長 8 メートルの巨大なオスのシャチの骨格標本です。コンクリートで成形された 2 つのクマの肉球の展示は、大人のオスの前足の大きさを物語っています。

クマの保護と周辺地域

受付ではクマよけ鈴が販売されており、クマ撃退スプレーや全天候用ブーツをレンタルすることもできます。地元でデザインされたさまざまな手工芸品を購入することもできます。同センターは、知床峠入口と熊の湯温泉から車で数分のところにあります。

【タイトル】 羅臼町でトレッキング：望郷の森コース&熊越えの滝コース

【想定媒体】 その他（デジタルサイネージ）

<簡体字>

在罗臼徒步：望乡之森步道和熊越瀑布步道

来罗臼的游客可以选择探索古老的森林、在鸣禽聚居的林地中漫步，或者在河流和沼泽地纵横交错的小径上徒步。

望乡之森步道

“望乡之森”被誉为罗臼观景塔，尽管离城市非常近，但这里拥有令人惊叹的景色，是一个迷人的景点。望乡之森是两条徒步路线的统称。游客们可以在森林中漫步，穿越沼泽和河流，观赏季节性的花朵和当地的野生动物。徒步旅行者可以选择只走一条步道，也可以选择将两条步道相连的环形路线。在游客咨询柜台可以买到一张有彩色标注的地图，上面用简单的英语介绍了路线和当地文化。

治愈之森路线（3 公里）的起点紧挨罗臼滑雪场。这条路线经过位于山腰处的罗臼国后观景塔，游客可以在此眺望根室海峡另一侧的国后岛。学习之森路线（5.2 公里）始于知床罗臼道之驿。这条路线会经过沼泽地和经常有鹿出没的草地。

熊越瀑布步道

这条步道蜿蜒穿过知床森林，通向森林深处 15 米高的熊越瀑布。道路两旁伫立着生长了 300 多年的树木。从步道入口前往瀑布前的观景区大约需要 20 分钟。从入口出发，步行约 10 分钟即可抵达熊之汤露天温泉。该地区经常有熊出没，建议提前做好准备；请在出发前于知床国立公园罗臼游客中心确认熊类出没的目击情况、购买熊铃并租赁防熊喷雾剂。

徒步者应避免偏离标明的路线和道路。该区域经常有熊出现，而且知床部分地形陡峭而危险。

<繁体字>

羅臼健行：造訪望鄉之森步道和熊越瀑布步道

遊客來到羅臼，可以選擇探索古老的森林、在鳴禽聚居的林地中漫遊，或在河流和沼澤地縱橫交錯的小徑上徒步健行。

望郷之森歩道

「望郷之森」有羅臼觀景台的美名，儘管離城市非常近，卻擁有令人驚嘆的景色，因此成為一處人氣的魅力景點。望郷之森是兩條徒步路線的統稱，遊客們可以在森林中漫步，穿越沼澤和河流，觀賞季節性的花朵和當地的野生動物。徒步健行者可以選擇只走一條路線，也能選擇走完連接兩條路線的環形路線。在觀光諮詢處可以買到標有彩色圖示的地圖，上面以簡單的英語介紹各條路線，以及在地文化等資訊。

療癒之森路線（3 公里）的起點緊鄰羅臼滑雪場。這條路線途經羅臼國後展望塔，遊客可在此位於山腰的景點，眺望根室海峽另一側的國後島。學習之森路線（5.2 公里）始於知床羅臼道路休息站，這條路線會經過沼澤地，以及常有鹿出沒的草地。

熊越瀑布歩道

這條步道蜿蜒穿越知床森林，通往森林深處有 15 公尺高的熊越瀑布，300 多年樹齡的樹木沿途佇立步道兩旁。由步道入口前往瀑布前的觀景區，大約需要 20 分鐘；從熊之湯露天溫泉浴池出發，步行約 10 分鐘即可抵達步道入口。該地區常有熊出沒，建議提前做好準備，如在出發前造訪知床羅臼遊客中心，確認熊出沒的目擊情報、購買熊鈴並租借防熊噴霧劑。

徒步健行者應避免偏離標示路線和道路，因為知床除了經常有熊出沒，部分地形陡峭而且危險。

<日本語仮訳>

羅臼町でトレッキング：望郷の森コース&熊越えの滝コース

羅臼町を訪れた際は、古代林を探検したり、鳴き鳥が生息する森林を散策したり、川や湿地帯を横切るコースへトレッキングに出かけたりすることができます。

望郷の森コース

羅臼の展望塔ともいえる「望郷の森」は、市街地のすぐ近くにも関わらず見事な景色が広がる魅力的なスポットです。望郷の森は、2 つのトレッキングコースの総称です。森の中を散策し、湿地帯や川を超え、季節の花々や現地の野生生物を見て回りましょう。1 つのコースを進んでもいいし、2 つのコース

を繋ぐコースを周ることもできます。観光案内所では、各コースや地元の文化に関する簡単な英語の解説付きのカラフルな図解入りの地図が用意されています。

癒しの森コース（3km）の起点は、羅臼スキー場に隣接しています。根室海峡の先にある国後島が観察できる、丘の中腹にある羅臼国後展望塔のそばを通るコースです。学びの森コース（5.2km）は、道の駅 知床・羅臼が登山口となっています。このコースは、鹿が頻繁に出没する湿地帯や草原を横切る道となっています。

熊越えの滝コース

このコースは、知床の森奥深くにある高さ 15 メートルの熊越えの滝へ続いています。300 年を超える木々の間を通り抜けていく道です。コースの登山口から滝の向かいにある展望地までは約 20 分程で到着します。コースの登山口は露天風呂の熊の湯から 10 分ほど歩いたところにあります。この地域には熊が頻繁に出没するので、対策をしていくことをお勧めします。出発前に羅臼ビジターセンターへ立ち寄り、目撃情報の確認、クマよけ鈴の購入、クマ撃退スプレーのレンタルなどを済ませておきましょう。

トレッキングの際は、指定のコースから外れないようにしましょう。この地域では熊がよく出没します。また、知床の地形は急斜面があり危険な場合があります。

【タイトル】 羅臼岳でハイキング

【想定媒体】 その他（デジタルサイネージ）

<簡体字>

攀登罗臼岳

罗臼岳（1661 米）是知床山脉中最高的一座山。知床山脉由一系列火山组成，这些火山穿过知床半岛中部，从东北向西南延伸。通往罗臼岳顶峰的步道有两条。如果天朗气清，游客登顶后可以看到周围的山峰和鄂霍次克海。

知床半岛与加拿大南部和蒙古中部的纬度相近，因此，山区环境和天气条件较为恶劣。在这个纬度，偃松等耐寒高山植物会在海拔 1100 米的山上生长。而在日本主岛本州岛上，这类高山植物通常只生长在海拔 2000 米以上的地方。

这里地形崎岖，有巨大的岩石和陡峭的峡谷，登山口和山顶之间的海拔落差高达 1000 米以上。如果从罗臼温泉登山口出发，徒步往返大约需要 11 个小时。攀登罗臼岳需要周详的计划，只推荐有经验的徒步者尝试。

登山口和登山季

罗臼温泉登山口靠近知床国立公园罗臼游客中心，位于熊之汤露天温泉对面。知床半岛西岸斜里町的岩尾别温泉处也有一个登山口。可以从一个登山口出发，在另一个登山口结束旅程，但须注意，从岩尾别返回罗臼的公共交通工具有限。知床的登山季从每年 7 月上旬持续到 9 月中旬。登山者应注意，直到 7 月山上都会有积雪，因此可能需要准备冰爪和冰镐。

小心熊类出没

熊生活在知床山脉，包括罗臼岳。它们往往会避开人类，并且对噪音很敏感。登山者应随身携带熊铃，以避免在徒步过程中遇到熊。

<繁体字>

攀登羅臼岳

羅臼岳（1,661 公尺）是知床山脈的最高峰，至於知床山脈則由數座從東北向西南延伸，並且貫穿知床半島中部的火山組成。如要前往羅臼岳頂峰，有兩條步道可供選擇。在天氣晴朗的情況下，遊客登頂後能欣賞周圍的山巒景色，以及廣闊的鄂霍次克海。

知床半島與加拿大南部、蒙古中部的緯度相近，因此山區環境和天氣條件較為惡劣。身處如此緯度，像是偃松等耐寒高山植物會在海拔 1,100 公尺的山上生長；至於日本的主島本州島上，通常這類高山植物僅於超過海拔 2,000 公尺的地方生長。

這裡地形崎嶇，遍布巨大的岩石和陡峭的峽谷，登山口和山頂之間的海拔落差更是急遽（超過 1,000 公尺）。如果從羅臼溫泉登山口出發，徒步往返大約需要 11 小時。若想攀登羅臼岳，需要事先制定詳盡的計畫，因此只推薦有經驗的健行者前往挑戰。

登山口與登山季

羅臼溫泉登山口緊鄰知床羅臼遊客中心，位於熊之湯露天溫泉浴池的對面，另一個登山口則在知床半島西岸斜里町の岩尾別溫泉。登山者可從其中一個登山口出發，然後在另一個登山口結束登山行程，但請留意，從岩尾別返回羅臼的大眾交通工具選擇不多。至於知床的登山季，每年從7月上旬持續到9月中旬，登山者務必小心山上到了7月仍有積雪，因此需要準備好防滑的冰爪和冰鎬。

熊出沒請小心

羅臼岳所在的知床山脈間有熊類棲息，牠們往往會避開人類，並對噪音很敏感，因此登山應隨身攜帶熊鈴，以免在登山過程遇到熊。

<日本語仮訳>

羅臼岳でハイキング

羅臼岳（1,661m）は、知床半島の中央で北東と南西に連なる火山群である知床連山の中で最も高い山頂です。羅臼岳山頂へと続くコースは2つあります。晴れた日に山頂へ行くことができれば、そこを取り囲む山々の景色とオホーツク海を眺めることができます。

知床半島はカナダ南部やモンゴル中部と緯度が近いので、厳しい山岳環境や気象条件となっています。この緯度では、カサマツなどの耐寒性高山植物が山岳地帯の標高 1,100 メートル付近で育ちます。本州では、このような鉾山植生は、通常、標高 2,000 メートルを超えない限り育ちません。

この地形は起伏に富んでいて、巨大な岩や険しい渓谷もあり、登山口から山頂までは激しい標高変化（1,000 メートル以上）があります。羅臼温泉の登山口から往復すると、所要時間は約 11

時間です。羅臼岳の登山には綿密な計画を立てる必要があり、経験豊富なハイカーにのみ推奨されます。

登山口とハイキングシーズン

羅臼温泉の登山口は、熊の湯露天風呂の向かいにあり、羅臼ビジターセンターに隣接しています。半島の西海岸にある斜里町の岩尾別温泉には、もう1つの登山口があります。一方の登山口から開始してもう一方の登山口で終了することは可能ですが、岩尾別から羅臼へと戻るための公共交通機関は選択肢が限られています。知床のハイキングシーズンは、7月上旬から9月中旬までとなっています。ハイキングを予定している方は、山では7月になっても雪が残っていることに注意してください。また、アイゼンやピッケルが必要です。

クマに注意

羅臼岳を含め、2つあります。クマは人を避ける傾向があり、音に敏感です。ハイキングに出かける際は、クマよけ鈴を持ち歩き、クマとの遭遇を回避するようにしてください。

【タイトル】 羅臼湖でトレッキング

【想定媒体】 その他（デジタルサイネージ）

<簡体字>

徒步游览罗臼湖

罗臼湖是知床半岛上最大的湖泊，坐落于知西别岳（1317 米）的山脚下，四周是原始的岳桦和库页冷杉林。如果要欣赏这座湖泊，游客可以徒步 3 公里，穿过森林和沼泽，绕过几个池塘，然后到达俯瞰湖泊的观景台。

游客可以探索沿途的五个池塘，并在多个观景台暂歇脚步，欣赏周围的山景。游客还可能会遇到野生动物，因为小路两侧的森林里生活着大量的鹿、鸟和松鼠。请注意，此地还经常有熊出没，请务必带上熊铃以免与熊不期而遇。每年 5 月下旬至 9 月下旬，沿途高山花卉争奇斗艳，而且直到 7 月上旬，这里都会有樱花绽放。与此同时，这条路线周围的山上还会有一堆堆积雪，直到 7 月上旬才融化。壮美的景色和鲜明的季节特色正是在该地区徒步旅行的乐趣之一。

罗臼湖徒步路线的起点位于罗臼湖巴士站（罗臼湖入口）。巴士从罗臼中部出发，大约 20 分钟抵达罗臼湖巴士站。驾驶私家车的游客应在知床峠停车场停车，然后搭乘巴士（约 5 分钟）或步行（约 40 分钟）至徒步路线的起点。

<繁体字>

徒步遊覽羅臼湖

羅臼湖是知床半島上最大的湖泊，坐落於知西別岳（1,317 公尺）的山腳下，四周環繞著岳樺和庫頁冷杉原始林。遊客若想欣賞這座湖泊，沿著 3 公里長的健行步道，穿過森林和沼澤，繞過幾個池塘後，就能抵達俯瞰湖泊的觀景台。

步道沿途坐落著五個池塘，還有多座觀景台可讓遊客稍作休息，同時欣賞周圍美麗的山景。步道兩側的森林中居住著大量的鹿、鳥和松鼠，因此走在步道時有機會遇到野生動物。請注意，此地也是熊經常出沒的地點，請務必攜帶熊鈴以防與牠們不期而遇。每年 5 月下旬至 9 月下旬，沿途高山花卉爭奇鬥豔，而且直到 7 月上旬都有櫻花綻放。與此同時，

這條路線周圍的山上仍有多處積雪，直到 7 月上旬才會融化。美不勝收的景致，加上鮮明的四季變化，正是在此區徒步健行的樂趣之一。

羅臼湖徒步路線的起點位於羅臼湖公車站（羅臼湖入口）。搭乘從羅臼中部出發的公車，大約 20 分鐘即能抵達目的地。至於自行駕車前往的遊客，應在知床峠停車場停車，然後搭乘公車（約 5 分鐘）或步行（約 40 分鐘）前往徒步路線的起點。

<日本語仮訳>

羅臼湖でトレッキング

羅臼湖は、知西別岳（1,317m）の麓にある大きな知床半島最大の湖で、ダケカンバやトドマツの原生林に囲まれています。ここを訪れた際は、森林や湿地帯を通り複数の池を周回する 3 キロのトレッキングコースを通して、この湖を見渡すことのできる展望台に到達することができます。

コース中には池が 5 つあり、立ち寄って周りの山々を見渡すことのできる展望デッキも複数あります。コースの両側に広がる森林には鹿や鳥やリスが生息しているので、野生生物との遭遇も期待できます。クマも頻繁に出没する地域なので、鉢合わせしないようクマよけ鈴を持ち歩きましょう。5 月下旬から 9 月下旬にかけては、コース沿いに高山植物の花が咲きます。さらに、この地域では 7 月上旬まで桜を楽しむ場所もあり、また、周りの山々には所々に雪が残っています。壮麗な景色と季節のコントラストを堪能できるのも羅臼湖トレッキングの魅力の一つです。

羅臼湖トレッキングコースへの登山口は、羅臼湖（羅臼湖入口）バス停で開始しています。羅臼中心部からはバスで約 20 分です。自家用車で向かう場合は、知床峠の駐車場に車を停めて、そこから登山口までバスで 5 分、または徒歩 40 分です。

【タイトル】 知床世界遺産ルサフィールドハウス

【想定媒体】 その他（デジタルサイネージ）

<簡体字>

知床世界遗产罗臼园地之家

知床世界遗产罗臼园地之家面朝根室海峡，位于一栋现代化的木质建筑内，既是游客中心又是教育中心。这里有多张大地图，详细列举当地的地质亮点，还有一系列介绍当地野生动物的标本展览。工作人员会定期更新入口附近的信息栏，以告知游客天气变化和熊类出没的目击情况。

如果想在知床山脉徒步旅行或在半岛周围的水域尝试划双桨皮划艇，请务必在出发前造访园地之家。工作人员会举办简短的讲习班，介绍该地区的地质，由于常常有未经标记的地带，工作人员还会讲解如何安全地在这些有潜在挑战性的地区活动。

园地之家位于根室海峡岸边，是观赏海岸野生动物的理想地点。游客可以使用二楼的单筒望远镜和双筒望远镜，在大海和蓝天中搜寻鲸鱼、海豚、虎鲸、海鸥和老鹰的身影。游客可以参考同样在二楼提供的相关信息，了解有机会看到哪些物种。

部分面板以英文书写信息，工作人员通常也能以英语交流。游客可在此租用防熊喷雾和防熊食品容器。园地之家每年5月至10月开放，在知床漫长的冬季则会关闭。从罗臼中部出发，沿着海岸驱车20分钟即可抵达该处。

<繁体字>

知床世界遺產羅臼旅遊服務中心

知床世界遺產羅臼旅遊服務中心正對根室海峽，是一棟現代化的木造建築，兼具遊客中心和教育中心的功能。這裡展示多張大型地圖，詳細列出當地的特殊地質景點，還有多個介紹當地野生動物的標本展示可供遊客參觀。工作人員會定期更新入口附近的資訊板，以告知遊客天氣變化，以及熊出沒的目擊情況。

如果想在知床山脈徒步健行，或在半島周圍的水域划雙槳皮划艇，請在出發前造訪旅遊服務中心。工作人員會舉辦簡短的講座，向遊客介紹當地的地質，以及提醒遊客在前往難度可能較高、通常沒有明確標示的區域範圍時，該如何確保自身安全。

旅遊服務中心位於根室海峽岸邊，是觀賞海岸邊野生動物的理想地點。遊客可以利用中心二樓的單筒和雙筒望遠鏡，在大海與藍天間尋找鯨魚、海豚、虎鯨、海鷗及老鷹的身影。參考同樣陳列在二樓的相關資訊，就有機會能了解將會看到哪些物種。

部分展示看板提供英文版本資訊，工作人員通常能以英語交流。此外，遊客可在此租借防熊噴霧與防熊搶食的食物保存容器。旅遊服務中心於每年 5 月至 10 月開放，不過當知床進入漫長的冬季時則會休館。如果從羅臼中部出發，沿著海岸開車 20 分鐘即可抵達此處。

<日本語仮訳>

知床世界遺産ルサフィールドハウス

知床世界遺産ルサフィールドハウスは根室海峽に面した現代的な木造建築のビジター/教育センターです。大きな地図は現地エリアの地質学的に興味深いポイントを解説するもので、さまざまな剥製展示では現地の野生生物を紹介しています。スタッフが定期的に入口付近の情報掲示板を更新し、天候の変化やクマの目撃情報を旅行者に伝えています。

知床連山でのハイキングや半島を回るカヤッキングを検討している場合は、出発前に当フィールドハウスを訪れましょう。スタッフがエリアの地質に関する簡単なワークショップを実施しており、時に難しく標識もないことが多い地域で安全に過ごすためのアドバイスを提供しています。

当施設は根室海峽の海岸にあり、海岸の野生生物を観察するのに非常に適した立地となっています。2 階の望遠鏡や双眼鏡を使って海や空を観察し、クジラ、イルカ、シャチ、カモメ、ワシなどを探してみましょう。

一部の展示では英語での情報提供も行っており、大抵の場合、スタッフは英語でのコミュニケーションも可能です。クマ撃退スプレーとクマ防除食料コンテナはレンタルできます。当フィールドハウスは 5 月から 10 月まで営業しており、知床の長い冬の間は閉まっています。羅臼中心部からは車で海岸沿いを 20 分の距離に位置しています。

【タイトル】 展望デッキ

【想定媒体】 その他（デジタルサイネージ）

<簡体字>

观景台

位于知床山脉高处的两座观景台为游客提供了绝佳的视角，可以观赏鸟类、鲸鱼、海豚和国后岛（与罗臼岛隔根室海峡相望的大岛）。

观鲸小丘公园

这里是日本为数不多的可以从陆地上看到抹香鲸的观景台之一。该木质观景台位于根室海峡上方，是观赏常年出没于这片水域的鲸鱼和海豚的理想场所。这里还设有一块带有鲸鱼插图的信息板，介绍每一种鲸鱼，其中包括虎鲸（4月至7月出没）和抹香鲸（7月至9月出没）。在陆地上观赏抹香鲸机会难得，因为这种体型庞大的生物通常只出现在远离海岸的深水区。在6月至7月的交配季，有时会有100头不同种类的鲸鱼聚集在根室海峡。

罗臼国后观景台

这栋两层建筑海拔167米，与根室海峡对面的国后岛相隔25公里。游客可以使用塔内的望远镜或通过位于二楼的户外观景台观赏国后岛上的风光。国后岛是日本和俄罗斯政府之间持续的领土争端所涉及的四座岛屿之一。

<繁体字>

觀景台

兩座觀景台位於知床山岳高處，提供遊客絕佳的視角可以觀賞鳥類、鯨魚、海豚，以及國後島（隔著根室海峽與羅臼島相望的大島）。

賞鯨丘公園

這裡是日本為數不多、可從陸上觀賞到抹香鯨的觀景台之一。這座木造觀景台俯瞰根室海峽，因此成為觀賞常年在這一帶水域出沒的鯨魚、海豚的理想場所；觀景台附設鯨魚圖畫的資訊看板，詳細介紹每種鯨魚，包括虎鯨（每年4月至7月出沒）和抹香鯨（每年7月至9月出沒）。要在陸地上觀賞抹香鯨的機會難得，因為這種體型龐大的生物，通常

只出現在距離海岸相當遙遠的深水海域。在每年 6 月至 7 月的交配季節，有時甚至會有上百頭不同種類的鯨魚聚集在根室海峽。

羅臼國後展望塔

這棟位於海拔 167 公尺高的兩層建築物，與根室海峽對面的國後島相距 25 公里。遊客可以使用塔內設置的望遠鏡，或前往二樓的戶外觀景台欣賞國後島的美景。國後島是日本和俄羅斯政府間至今依然涉及領土爭端的四座島嶼之一。

<日本語仮訳>

展望デッキ

知床を登ったところには 2 つの展望デッキがあり、鳥、クジラ、イルカ、そして羅臼から根室海峽を挟んで反対側にある国後島を見渡すことができる絶景ポイントがあります。

クジラの見える丘公園

ここは日本でも数少ない、マッコウクジラを地上から観察できる展望デッキです。根室海峽をはるかに見渡すこの木造デッキは、1 年を通してこの海域に現れるクジラやイルカを観察するのに最適で、クジラの絵があるボードには異なる種類のクジラが描かれています。その中には、シャチ（4 月～7 月）やマッコウクジラ（7 月～9 月）も描かれています。マッコウクジラは、通常、海岸沖の深海で見られる巨大生物であるため、陸から観察できることは稀です。6 月から 7 月にかけての発情期には、様々な種類のクジラが集まる 100 頭にもものぼるメガポッドが根室海峽に現れることもあります。

羅臼国後展望塔

この海拔 167 m の場所にある 2 階建ての建物は、根室海峽から 25 キロ離れた国後島に面しています。屋内や 2 階の屋外デッキにある望遠鏡から、国後島を見てみましょう。国後島は、日本政府とロシア政府の間で継続中の領土問題の一部となっている 4 島の 1 つです。

【タイトル】 露天風呂

【想定媒体】 その他（デジタルサイネージ）

<簡体字>

露天温泉浴池

知床半岛上有许多温泉浴池位于地势崎岖、不同寻常的地点，游客可以在这些隐秘的浴池露天泡温泉。熊之汤露天温泉浴池坐落于罗臼岳脚下茂密的森林中，以居住在森林中的熊命名。根室海峡的岩质海岸拥有多个浴池，游客们可以一边在有疗愈效果的温泉中放松身心，一边欣赏迷人的海景。

熊之汤露天温泉浴池

这座露天浴池位于知床森林中，中间用一块木质隔板隔开，以便男女分浴。这里也配备了基础的更衣设施。浴池就在通往罗臼岳（1661 米）的汤之泽登山口的对面，是攀登知床最高峰后的绝佳放松地点。

相泊露天温泉浴池

相泊温泉是日本最东端的温泉。浴池占地宽广，位于岩石嶙峋的海岸线上，俯瞰根室海峡。在泡温泉的旺季（5 月下旬至 9 月中旬），浴池上方会架起类似帐篷的遮篷，中间还有一张屏风方便男女分浴（这些时期不可穿泳衣入内）。在一年中的其他时节，浴池没有遮篷或屏风，并且允许穿泳衣入内。

瀨石露天温泉浴池

这两座岩石潭浴池位于根室海峡的浅滩上，从相泊露天浴池出发沿着海岸线步行 10 分钟即可抵达。浴池为纯天然产物，温泉水从岩石之间的缝隙涌出。来此泡温泉前需要查看潮汐预报，因为浴池只在低潮时露出水面，涨潮时则会被完全淹没。浴池只在 7 月上旬至 9 月下旬期间开放，并且没有更衣设施。

<繁体字>

露天温泉浴池

知床半島上有許多隱秘的露天浴池，位於地理位置特殊的多岩地帶，遊客可在此享受泡湯樂趣。「熊之湯露天溫泉浴池」坐落於羅臼岳的山腳下，地處茂密的森林之中，名稱由來便是取自居住在森林中的熊。至於根室海峽的岩石海岸沿線，擁有多處浴池可供選擇，來到此地的遊客可以一邊泡著放鬆身心的溫泉，一邊欣賞迷人的海景。

熊之湯露天溫泉浴池

這座露天浴池位於知床森林之中，男女浴池之間以一塊木製隔板區分，以便在各自的空間泡湯，同時提供簡單的更衣設施。浴池就在通往羅臼岳（1,661 公尺）的湯之澤登山口對面，因此成為攀登完知床最高峰後的絕佳放鬆地點。

相泊露天溫泉浴池

相泊溫泉是位於日本最東邊的溫泉，浴池占地寬廣，坐落在岩石嶙峋的海岸線上，可以俯瞰根室海峽。在溫泉旺季（每年 5 月下旬至 9 月中旬）期間，浴池上方會架起類似帳篷的遮棚，中間還有隔板，方便男女分浴（這段期間禁穿泳裝入內）。至於一年中的其他月份，浴池則無設置遮棚或隔板，並且能穿泳裝入浴。

瀨石露天溫泉浴池

兩座潮汐溫泉位於根室海峽的淺灘上，從相泊露天浴池出發，沿著海岸線步行 10 分鐘即可抵達。此處的溫泉類別屬於天然溫泉，因此可以看到泉水從岩石間的縫隙汨汨湧出。此外，浴池僅在退潮時才露出水面，漲潮則會被完全淹沒，所以來這泡湯之前，得先查好潮汐預報。浴池僅在每年 7 月上旬到 9 月下旬期間開放，而且沒有更衣設施。

<日本語仮訳>

露天風呂

知床を訪れた人々は、岩場の多い一風変わった場所にある秘湯の露天風呂に浸かれる機会があります。森に生息するクマが名前の由来となっている熊の湯温泉は、羅臼岳麓の 2 つあります。根室海峽の岩場の多い海岸にある温泉では、癒しの水でくつろぎながら海を眺める機会を訪れる者に提供しています。

熊の湯露天風呂

知床の森の中にあるこの露天風呂は、男女別の内湯が木造の仕切りで仕切られています。簡単な更衣室があります。羅臼岳（1,661m）へ続く湯の沢登山口の道の反対側に位置しており、知床の最高峰をハイキングした後にリラックスするには最高のスポットになっています。

相泊露天風呂

相泊温泉は知床半島の羅臼町にある日本最東端の温泉地。この広い温泉は、根室海峡を見渡す岩場の多い海岸線に位置しています。入浴が出来る季節（5月下旬～9月中旬）には、風呂を覆うテントのようなオーニングと、男女別入浴用の仕切りが設置されています（この時期、水着は着用できません）。他の時期にはオーニングも仕切りもないため、水着の着用が許可されています。

瀬石露天風呂

この2つの潮溜まり温泉は根室海峡の浅瀬に位置しており、相泊露天風呂から海岸を10分ほど歩いたところにあります。この温泉は天然温泉で、海岸の岩礁の合間から温泉が湧き出しています。入浴プールは干潮時のみ現れ、満潮時には完全に水中に沈むため、ここでの入浴には潮見表の知識が必要となります。お風呂に入れるのは7月上旬から9月下旬の間のみで、更衣室はありません。

【タイトル】 羅臼の野生生物：陸

【想定媒体】 その他（デジタルサイネージ）

<簡体字>

罗臼野生动物：陆地

“罗臼(Rausu)”一名取自“Raushi”，在土著阿伊努族的语言中意为“兽骨之地”。在知床僻静的山区和森林里，野生动物茁壮成长。这里执行严格的保护措施，以确保野生动物种群的健康和自然栖息地保护工作的开展。在游览罗臼的过程中，游客有可能会遇到熊和鹿等大型哺乳动物，以及狐狸、野兔、白鼬和花栗鼠等小型哺乳动物。野生动物的出现可能伴随着危险。请尊重野生动物，并在专业导游的陪同下，以安全的方式欣赏罗臼的自然风光。

棕熊

知床是世界上棕熊种群密度最高的地区之一。这里有丰富的食物来源和健康的自然栖息地，足以让棕熊种群在此繁衍生息。山间的草类和开花植物、林间的坚果和莓果、溪流中的鲑鱼以及沿海的海豹和其他哺乳动物，都是知床棕熊眼中的美味佳肴。

为避免在野外遇到熊，游客应妥善规划徒步旅行。不过如果参加游船之旅，就可以在安全距离观赏熊。游船之旅沿着知床海岸线进行，从春天到秋天，大型哺乳动物都会在这里觅食。

鹿

人们经常在知床森林里看到鹿。沿着望乡之森步道徒步时，请留意鹿的踪迹。如果看到一块块被压平的草地，则表明最近有鹿在此休息。在该地区开车时要尤其小心，因为鹿有时会冲出林地跑到马路上。

其他野生动物

狐狸晚上会在住宅区游荡，对人类的存在已经有些习以为常。但看到其他小型哺乳动物的时间可能只有一瞬，因为它们一听到人类活动的声音就会匆忙逃离。

<繁体字>

羅臼野生動物：陸地

「羅臼（Rausu）」一名取自「Raushi」，在原住民愛努族語言中意指「獸骨之地」。在知床僻靜的山區和森林中，野生動物族群生生不息，因為這裡實行嚴格的保育措施，除了野生動物得以健康成長，也讓自然棲息地的保育工作能夠順利進行。在遊覽羅臼時，難免會遇到熊和鹿等大型哺乳動物，以及狐狸、野兔、白鼬和花栗鼠等小型哺乳動物。只是野生動物的出現可能伴隨危險，請尊重野生動物，並在專業導遊的陪同下，以安全的方式欣賞羅臼的自然風光。

棕熊

知床是世界上棕熊族群密度最高的地區之一，這裡豐富的食物來源，以及對身體健康成長有益的自然棲息地，讓棕熊族群得以茁壯繁衍。山間的草類和開花植物、林間的堅果與莓果、溪流中的鮭魚，以及沿海的海豹和其他哺乳動物，都是知床棕熊可以方便取得的食物來源。

為了避免在野外遇到熊，遊客應擬好完善的徒步健行計畫，不過如果選擇參加觀光船之旅，就能在安全距離觀賞牠們。觀光船之旅會在春天到秋季之間開航，沿著知床的海岸線進行，因為那時大型的哺乳動物都會前往附近覓食。

鹿

許多鹿會在知床森林中棲息，遊客來到此地也常有機會看到牠們的身影。沿著望鄉之森步道健行時，可以多留意鹿的蹤跡，如果看到多處平整的草地，就表示牠們最近在此歇息。此外，鹿有時會從林地衝到路上，所以在此開車需要特別小心。

其他野生動物

狐狸晚上會在住宅區中徘徊，多少已經習慣人類的存在。相較於狐狸，其他小型哺乳動物一聽到人類活動的聲音，就會匆忙逃離，因此基本上只能短暫看見牠們的身影。

<日本語仮訳>

羅臼の野生生物：陸

「羅臼」とは先住民族の言語、アイヌ語の「ラウシ」に由来し、獣の骨のあるところを意味する言葉です。厳しい保全対策が功を奏して健康的な野生生物集団と自然の生息地保全につながっている、知床の遠く離れた山森では、野生生物が元気に育っています。羅臼町を訪れた際は、クマやシカなどの大型哺乳類だけでなく、キツネ、野ウサギ、オコジョ、シベリアシマリスといった多くの小型哺乳類にも

遭遇するかもしれません。野生動物との遭遇は、時には危険を伴うこともあります。ぜひ、プロのガイドの案内で、安全に、そして野生動物のくらしを尊重しながら、羅臼の自然を楽しんでください。

ヒグマ

知床は、世界でもヒグマの密度が最も高い場所の 1 つになっています。この高密度は、豊富な食料源や健康的な自然の生息地に支えられています。知床のクマは、山の草や花を咲かせる植物、森のやナッツ類や液果類、小川のサケ、そして海岸沿いではアシカや他の哺乳類にアクセスすることができます。

野生でのクマとの遭遇は回避すべきです。訪れる際は、トレッキングの十分な用意をおきましょう。ただし、ポートツアーでは安全な距離からクマを観察することができます。ツアーは、春から秋にかけて大型哺乳類が食料を求めて移動する知床の海岸線で運行されています。

シカ

シカは、知床の森では一般的で、目撃情報も多数報告されています。望郷の森トレッキングコースでは注意して探してみましょ。草が平らになっている箇所があったら、それはシカが少し前にそこで休憩していたことを示しています。シカは森林地帯から道路へ飛び出してくることがあるので、このエリアを運転する際は特に注意してください。

その他の野生生物

キツネは夜間に住宅地をうろつく傾向があり、人の気配にもある程度慣れていますが、小型の哺乳類は人間が動くときに出す音を聞くと逃げ出す傾向があるため、彼らを垣間見ることができる時間は短いと思われます。

【タイトル】 羅臼の野生生物：海&川

【想定媒体】 その他（デジタルサイネージ）

<簡体字>

罗臼野生动物：海洋和河流

罗臼和国后岛之间的根室海峡水域富含营养物质，为大量海洋生物提供了养分。每年冬天都会有浮冰流入海峡，带来富含氧气的淡水，因而造就了欣欣向荣的海洋环境。浮冰下的浮游生物迅速繁殖，催生了从微小的仙女虾到巨大的抹香鲸的海洋生命循环。在不同季节，游客在罗臼的观景台或游船上可以看到鲸鱼、北海狮、海豚、鼠海豚、海豹和鲑鱼等各种生物。

鲸鱼

鲸鱼是一种不断迁徙的动物，食物来源决定了它们的迁徙路线。根室海峡拥有可靠的食物来源和深水，因此，鲸鱼在一年中的大部分时间都在这里出没。贝氏喙鲸（2月至10月）、抹香鲸（7月至9月）、小须鲸和虎鲸（4月至7月）每年都会在各自己的觅食季来到这片水域。游客可以前往观鲸小丘公园的观景台观赏鲸鱼，也可以参加赏鲸之旅近距离观赏。

海豹和北海狮

斑海豹和环海豹会定期在知床过冬，北海狮则通常在每年12月至次年4月间在该地区频繁活动。这些北海狮大多是怀孕的雌海狮，依靠根室海峡的丰富食物来源为自己补充营养。参加游船之旅即可观赏北海狮。

鲑鱼

在知床半岛的河流中生活的樱鲑和花羔红点鲑足以证明河水的纯净，因为这两种淡水物种都需要洁净的水文环境才能生存。生活在太平洋的粉鲑和大马哈鱼会游向知床半岛的河流和小溪产卵。9月至11月期间，游客可以在根室海峡海岸线上的多个地点观看这些鲑鱼逆流而上。

<繁体字>

羅臼野生動物：海洋與河川

羅臼和國後島間的根室海峽水域富含營養物質，為大量的海洋生物帶來養分。每年冬季會有浮冰流入根室海峽，帶來富含氧氣的淡水，因而造就生意盎然的海洋環境。浮冰下的浮游生物迅速繁殖，成為微小的仙女蝦以至巨大的抹香鯨等覓食來源，如此持續不斷刺激著海洋生態系統的循環。在不同的季節造訪羅臼，遊客可從觀景台或觀光船上觀賞鯨魚、北海獅、海豚、鼠海豚、海豹和鮭魚等多樣的海洋生物。

鯨魚

鯨魚是一種不斷遷徙的動物，並由食物來源決定牠們的遷徙路線。由於根室海峽有著穩定的食物來源與深水海域，一年中的大部分的時間皆有鯨魚出沒，比如貝氏喙鯨（每年2月至10月）、抹香鯨（每年7月至9月）、小須鯨和虎鯨（每年4月至7月）等，都會在各自的覓食時期來到這片海域。遊客可以前往賞鯨丘公園的觀景台欣賞鯨魚，或者參加賞鯨之旅享受近距離觀察的樂趣。

海豹與北海獅

斑海豹、環海豹定期在知床過冬，北海獅則通常於每年12月至隔年4月間在該地區現蹤，而且大多是懷孕的雌性，仰賴根室海峽豐富的食物來源補充營養。如果想觀賞北海獅，參加觀光船之旅是很好的選擇。

鮭魚

知床半島的河流中棲息著櫻鮭和花羔紅點鮭，足以證明河水的水質清澈，因為上述兩類淡水物種，皆需在純淨的水生環境中才能生存。棲息在太平洋的粉鮭和鉤吻鮭，也會游向知床半島的河流和小溪產卵。9月至11月期間，遊客能在根室海峽海岸線上的多個地點，觀賞這些鮭魚逆流而上。

<日本語仮訳>

羅臼の野生生物：海&川

羅臼町と国後島の間に位置する根室海峽の海域は栄養豊富で、たくさんの海洋生物を支えています。このあらゆる生物が元気に育つ環境は、毎冬、この海峽にたくさん流れ込んでくる新鮮で酸素が豊富に含まれた水の存在によるものです。この流水下で起こるプランクトンの爆発が、小さなホウネンエビから巨大なマッコウクジラまで、海洋生物のライフサイクルを刺激しています。季節により、羅臼では展望デッキやツアーボートからクジラ、トド、イルカ、ネズミイルカ、アザラシ、サケなどを見ることができます。

クジラ

クジラは移動性の生物で、食料源によりその移動行路が決まります。根室海峡には安定した餌と深海があるため、クジラはほぼ 1 年中この海峡にいます。ツチクジラ（2 月～10 月）、マッコウクジラ（7 月～9 月）、ミンククジラやシャチ(4 月～7 月)が、それぞれの季節に、毎年、この海域へ餌を求めてやってきます。クジラの見える丘公園の見晴らしの良い場所からクジラを観察するか、ホエールウォッチングツアーに参加して近距離でクジラを見てみましょう。

アザラシとトド

知床には、ゴマフアザラシやクラカケアザラシが毎冬やってきます。また、トドは周期的に12 月から 4 月にかけてこの辺りで活動的になっています。トドの大多数は妊娠しているメスで、根室海峡の豊富な食料源で栄養を得ています。トドは、ボートツアーで観察しましょう。

サケ

知床を流れる川にサクラマスやオショロコマが住んでいるという事実は、いずれの淡水種も生存には純粋な水質を必要とすることから、その水の純度が高い証しとなっています。太平洋に棲むカラフトマスやシロザケは、8 月から 9 月にかけて、産卵するため知床を流れる川へ向かいます。ここを訪れた際は、根室海峡の海岸沿いにある複数のスポットで 9 月から 11 月にかけて、上流へ向かって移動するサケを目にすることができます。

【タイトル】 羅臼の野生生物：空

【想定媒体】 その他（デジタルサイネージ）

<簡体字>

罗臼野生动物：天空

知床的天空中一年四季都有各种鸟类飞行，从大型的濒危物种毛腿渔鸮和虎头海雕，到大群的短尾鹫和小型鸣禽，种类繁多。知床半岛是鸟类和观鸟爱好者的天堂。不管是在森林中远足，还是从观景台俯瞰海洋，来到罗臼的游客都有机会看到丰富的鸟类。

海洋鸟类

每年冬季，随着浮冰进入根室海峡，虎头海雕和白尾海雕等大型鹰类也纷纷来到这片海域。冬季参加观鸟之旅就可以看到这些鸟类。在初夏，成千上万只短尾鹫从它们在澳大利亚东南部的繁殖地飞抵根室海峡。游客可以在观鲸小丘公园的观景台观赏这些鸟类。

森林和山间的鸟类

濒危的毛腿渔鸮在知床繁衍生息，种群密度颇高。这里的法规以保护为重点，确保这种大型鸟类享有安全的巢穴和可靠的食物来源。在知床的群山之间，松雀和星鸦以偃松为食。秋天，星鸦会将松果种子储存在岩石的裂缝中，为冬天做准备。在向罗臼岳顶峰攀登的过程中，可以留意这些鸟类及其他鸟类的身影。

鸟鸣啾啾的森林

望乡之森徒步路线两旁的森林区被称为“鸟鸣区”。游客可以在途中听到煤山雀和黄眉姬鹀的啼啾、大斑啄木鸟啄击树木的嗒嗒声，以及中杜鹃（筒鸟）独一无二的鸣叫。

<繁体字>

羅臼野生動物：天空

知床的空中在四季皆能欣賞到各種鳥類翱翔的姿態，從大型的瀕危物種毛腿漁鸮、虎頭海雕，到一大群的短尾水雉鳥和小型鳴禽，種類繁多。知床半島是鳥類和賞鳥愛好者的天堂，遊客不管是在森林中健行，還是從觀景台俯瞰海洋，來到羅臼都有機會看到各種鳥類。

海鳥

毎年冬季，隨著浮冰進入根室海峽，虎頭海鷗和白尾海鷗等大型鷹類也紛紛來到這片海域，參加賞鳥之旅就能觀看上述鳥類。至於初夏時節，更有數千隻短尾水雉鳥從澳洲東南部的繁殖地，成群飛往根室海峽，遊客可在賞鯨丘公園的觀景台找到牠們的蹤影。

森林和山間的鳥類

瀕危的毛腿漁鴉以知床為家，在此大量繁衍，形成相當高的族群密度。當地制定以保育為重點的法規，維護這種大型鳥類安全的居住環境，以及可靠的食物來源。在知床的群山間，松雀和星鴉從偃松取得食物。秋季時，星鴉會將松果種子儲存在岩石的裂縫中，為過冬做好準備。在攀登羅臼岳頂峰的過程中，可多留意上述鳥類及其他鳥類的身影。

鳥鳴啁啾的森林

望鄉之森徒步健行路線兩旁的森林區，屬於「鳥鳴區」，身在此處可聽到煤山雀和黃眉黃鶺的啼轉、大斑啄木鳥啄擊樹木的噠噠聲，以及喜馬拉雅中杜鵑（筒鳥）獨一無二的啁啾聲。

<日本語仮訳>

羅臼の野生生物：空

大型の絶滅危惧種であるシマフクロウやオオワシから、ハシボソミズナギドリや小型のよく鳴く鳴き鳥の大きな群れまで、知床の空には、1年を通して、さまざまな鳥類が舞っています。知床半島は鳥類にとっても野鳥観察家にとっても聖域であり、羅臼へ訪れた際には、森でのハイキングや海を見渡す展望デッキからあらゆる野鳥を観察する機会が待ち受けています。

海鳥

毎年冬に根室海峽へ流れてくる流氷には、オオワシやオジロワシといった大型のワシがついてきます。冬のバードウォッチングツアーでこれらの鳥を見てみましょう。初夏には、何千羽ものハシボソミズナギドリが東南部オーストラリアの繁殖地から根室海峽へと集まってきます。ここを訪れた際は、クジラの見える丘公園の展望台から鳥を観察することができます。

森や山の鳥

知床は、絶滅危惧種であるシマフクロウの高い密度を支えています。保全に焦点を当てた規制のおかげで、この大型鳥類は巣作りのための安全な場所と安定した食料源を確保することができます。知床の山では、ギンザンマシコやホシガラスがハイマツを食します。秋には、ホシガラスが、岩の割れ目など

に松かさの種を蓄えて冬支度を始めます。羅臼岳の頂上を目指してトレッキングするときには、2 つあります。

鳥のさえずりの森

2 つある望郷の森トレッキングコース中の一部の森は、「鳥のさえずりゾーン」に指定されています。ヒガラやキビタキのさえずり、アケガラのコッコッという鳴き声、ツツドリの特徴的なさえずりを、ここでは聞くことができます。

【タイトル】 羅臼町の祭り&行事

【想定媒体】 その他（デジタルサイネージ）

<簡体字>

罗臼的节日和活动

每年，罗臼当地社区都会举办各种活动来纪念这座小镇的历史和文化。这里有祭祀神道教神灵的节日、季节性的庆祝活动、全社区共同参与的舞蹈，还有以当地食物为主题举办的活动。游客如果在节日和活动期间来到罗臼，就会充分感受到欢庆的气氛。

庆祝季节变迁

每年 4 月上旬，当地会举办知床雪墙行活动，以庆祝春天的到来。活动期间，参与者可在知床峠的部分路段的雪墙之间漫步。知床峠是一条蜿蜒的山路，将罗臼与半岛东部的宇登吕相连。由于暴雪天气，这条道路在每年 11 月上旬到次年 4 月下旬关闭。知床雪墙行活动会在道路重新开放之日的两周前举行。

感谢神灵、渔民和当地社区

罗臼神社会在 7 月的前三天举办每年一度的纪念活动，向当地供奉的保佑渔民的神灵表达感激之情。人们会抬着可移动的神龛四处游行，当地团体还会带来舞蹈表演。

9 月底的渔火祭恰逢秋季鲑鱼和太平洋褶柔鱼的捕捞高峰期，旨在赞美当地渔民，他们是罗臼主要产业渔业的中流砥柱。活动期间，志愿者会向参加节日活动的人免费分发盛有鲜鱼的米饭（海鲜丼）。

每年 6 月的第三个周末举行的知床开放祭(Shiretoko Biraki)将罗臼社区的人们汇聚到一起。活动期间，罗臼的 4600 位居民中，有许多人都会聚集在渔港观看舞蹈和音乐表演，玩躲避球等竞技游戏。

当地美食展览

知床罗臼昆布祭会在 7 月下旬至 8 月上旬期间连续举办三天。该活动致力于推广罗臼昆布，一种因鲜味而享誉世界的当地海带。参加活动的人可以了解和尝试采摘昆布，并体验生吃的口感。

<繁体字>

羅臼的祭典與活動

羅臼每年都會舉辦各種活動，紀念這座小鎮的歷史與文化。當地社區有祭祀神道教神明的節日、季節性的慶祝活動、社區居民共同參與的舞蹈，還有以當地食物為主題舉辦的活動。如果在節日和活動期間造訪羅臼，遊客就有機會親身體驗、感受當地節慶活動的熱鬧氣氛。

歡慶季節更迭

4 月上旬，羅臼當地會舉辦知床雪壁健行活動，慶祝春天的到來。知床峠是一條蜿蜒崎嶇的山路，連接羅臼與知床半島東部的宇登呂。活動期間，參與者可在部分路段的雪壁間體驗步行。由於此區的降雪量豐厚，每年 11 月上旬至隔年 4 月下旬期間，這條道路都會封閉，直到重新開放的兩週前，就會在此舉行知床雪壁健行活動。

對神明、漁民和當地社區表達感謝

羅臼神社會在 7 月的前 3 天舉辦年度祭典，向當地供奉的神明致意，據信牠們在此守護漁民的安全。人們會抬著可移動的神輿四處遊行，當地團體還會帶來舞蹈表演。

9 月底的漁火祭恰逢秋季鮭魚和北魷的豐收時節，旨在頌讚當地漁民支撐起羅臼的主要產業。活動期間，義工會免費分發盛有鮮魚的米飯（海鮮丼）給參加祭典活動的人們。

每年 6 月的第 3 個週末舉辦的知床開放祭（Shiretoko Biraki），讓羅臼社區的人們有機會相聚。活動期間，4,600 位羅臼居民多半聚集在漁港觀賞舞蹈表演與參加音樂盛會，或玩躲避球等競技遊戲。

當地美食展覽

知床羅臼昆布祭於 7 月下旬至 8 月上旬連續舉辦 3 天，活動目的在於推廣羅臼昆布，那是一種因「旨味」（食物美好的鮮味）而享譽世界的當地海帶。參加活動的人可以了解羅臼昆布相關資訊、參加採摘體驗，並嘗試生吃昆布的口感。

<日本語仮訳>

羅臼町の祭り&行事

毎年、羅臼町の現地コミュニティでは、町の歴史や文化を記念する行事を主催しています。神道の神様を称える祭りや季節の祝い事、コミュニティ全体が参加する踊りや地元の食べ物を中心とした行

事などが開催されています。祭りの時期に羅臼町を訪れることができれば、これらの祭りを体験することができます。

季節を祝う

4月上旬に開催される知床雪壁ウォークは、春の到来を祝うものです。参加者は、羅臼町を半島の東側にあるウトロとつなぐ曲がりくねった山道、知床峠の雪壁になっている箇所を歩くことができます。積雪量が多いことから、11月上旬から4月下旬までこの道路は閉鎖されています。祭りは2週間開催され、その後、道路が開通します。

神々、漁民、そして地域コミュニティに感謝をささげる

羅臼神社では、7月の最初の3日間に、毎年、祭りを開催し、漁民を守るとされるその神に感謝の意を表しています。周辺では神輿が担がれ、地元の団体による踊りが披露されます。

秋鮭や、スルメイカの漁期のピークに合わせて9月末に開催される漁火祭りは、町の中核産業である羅臼の漁業を支える地元の漁民を称えるものです。この時期は、ボランティアの人々が訪れる客に無料で、獲れたての海の幸を使った海鮮丼を配っています。

6月の第3週末に開催される知床開きは、羅臼町の住民が一か所に集まる機会となっています。知床開きの期間中は、4,600人いる住民の多くが漁港に集結して踊りや、ドッジボールなどの対戦ゲームや、コンサートを楽しんでいます。

地元の食べ物を紹介する場

知床羅臼こんぶフェスタは、7月末から8月上旬の間に3日連続で開催されます。その旨みで世界的に定評のある羅臼昆布の普及をテーマにした行事です。羅臼昆布について学び、収穫を体験し、昆布を生で試食することができます。

【タイトル】 道の駅 知床・羅臼

【想定媒体】 その他（デジタルサイネージ）

<簡体字>

知床罗臼公路服务区

游客可以在知床罗臼公路服务区用餐、选购当地农产品及纪念品、预约行程和收集观光信息。一楼出售各种当地土产和手工艺品，还设有售卖饮料和零食的小型用餐区以及游客信息台。二楼的餐饮区则供应一系列当地美食。

公路服务区内出售的土产包括新鲜鱼类和包装鱼类，以及袋装的罗臼昆布（一种生长在罗臼沿海的稀有海带）。游客还可以在此选购当地设计的多种商品和纪念品，例如 T 恤、环保袋和胸章。餐饮区供应的美食以新鲜海鲜为主。游客可以在此享用当地料理，如生鱼片套餐、罗臼远东多线鱼套餐和喜知次鱼套餐。菜单会依照季节调整，菜品也会有所变化。

游客信息台

游客信息台的工作人员可以提供罗臼地区观光建议。他们可以帮助游客预约游船之旅和文化体验，并提供关于天气状况和动物目击情况的最新详情。

<繁体字>

知床羅臼道路休息站

遊客可以在知床羅臼道路休息站用餐、選購當地農漁產品及紀念品、預約行程和收集觀光資訊。休息站一樓販賣各種當地農漁產品和手工藝品，還設有販售飲料和輕食的小型用餐區與觀光諮詢處。二樓的餐飲區則供應各式各樣的當地美食。

站內販售的農漁產品，包括新鮮魚類、包裝好的魚類，以及袋裝的羅臼昆布（一種生長在羅臼沿海的稀有海帶）。遊客還能在此選購當地設計的多種商品和紀念品，例如 T 恤、環保袋和胸章。餐飲區主要供應新鮮的海鮮料理，遊客來此能享用到當地美食，例如生魚片套餐、羅臼遠東多線魚套餐和金吉魚套餐，而且菜單會依季節調整，菜色也會有所變化。

觀光諮詢處

観光諮詢處的工作人員可以提供羅臼地區觀光相關建議，也能幫助遊客預約觀光船之旅和文化體驗，並提供關於天氣狀況和動物目擊情報等最新的詳細資訊。

<日本語仮訳>

道の駅 知床・羅臼

道の駅 知床・羅臼では、食事をしたり、地元の農産物やお土産を買ったり、ツアーの予約をしたり、観光に関する情報を収集することができます。1 階には、様々な地元の農産物や手工芸品の販売コーナー、飲料や軽食を販売している小さな食事スペース、観光案内所があります。2 階には、さまざまな地元の食べ物を提供している食事スペースがあります。

販売されている農産物には、新鮮な魚や、羅臼海岸沖で育つ貴重な羅臼昆布などがあります。T シャツ、エコバッグ、ピンバッジといった地元でデザインされた商品やお土産品も購入することができます。食事スペースでは、新鮮な魚介類をテーマにした料理を提供しています。訪れた人は、お刺身定食、羅臼産のホッケ定食やめんめ（キンキ）定食など、地元の料理が楽しめます。メニューは季節によって変更します。

観光案内所

観光案内所のスタッフが、羅臼エリアの観光についてアドバイスしてくれます。ボートツアーや文化体験の予約を行ったり、天気や動物の目撃に関する詳細な最新情報を入手することができます。

【タイトル】 屋外アクティビティ

【想定媒体】 その他（デジタルサイネージ）

<簡体字>

户外活动

“知床”在阿伊努语中的意思类似于“地球的尽头”，这些土著阿伊努族人在日本北部地区生活。知床半岛有许多山峰和茂密的森林，火山林立的海岸线上还有大量海岸峭壁和岩层。这种令人惊叹的景观很可能影响了阿伊努族对该地区的命名。来罗臼的游客可以通过徒步旅行和导览式远足探索知床半岛崎岖的地形。

探索知床半岛

游客可以乘着游船沿着多岩石的海岸线航行，还可以乘着观鲸船驶入根室海峡深水区，那里几乎全年都能看到鲸鱼和海豚。游客可以沿徒步路线穿越森林，也可以沿登山小径攀上火山山顶。在冬天，游客可以尝试在浮冰中划双桨皮划艇，经验丰富的潜水爱好者还能探索浮冰下方的海洋环境。

阿伊努族神灵的家園

知床半岛是阿伊努族神话中三大神灵的家園：棕熊、毛腿渔鸮和虎鲸。这些动物为当地群落提供食物和保护，并在阿伊努族维持生计方面发挥重要作用，因而受到尊敬。游客可以通过观察之旅观赏这些动物。

<繁体字>

戶外活動

名為「愛努族」的原住民在日本北部地區生活，在他們的語言中，「知床」意思接近「地球的盡頭」。知床半島上多山且森林密布，海岸線沿著林立的火山群，有大量的海岸峭壁和岩層。或許就是因為這樣令人讚嘆的景觀，才讓愛努族將此區稱為「地球的盡頭」。來到羅臼的遊客可以透過徒步健行，或者導覽行程探索知床半島崎嶇的地形。

探索知床半島

來到知床的遊客有多種方式可以探索這座半島，比如沿著眾多岩石的海岸線航行的觀光船，還有駛入根室海峽深海區的賞鯨船，那裡全年幾乎都能看到鯨魚和海豚，也可踏上健行路線穿越森林，或是循著登山小徑攀上火山山頂。在冬季時，遊客可以嘗試在浮冰間划雙槳皮划艇，經驗豐富的潛水愛好者能在浮冰下方的海洋環境中探險。

愛努族神明的家園

知床半島是愛努族神話中三大神明（棕熊、毛腿漁鴉和虎鯨）的家園。據信，這些動物一直以來為當地提供食物和庇祐，並在愛努族維持生計方面發揮重要作用，因而受到尊敬。遊客可以報名參加觀察之旅，欣賞這些動物。

<日本語仮訳>

屋外アクティビティ

「知床」とは、北方領土の原住民の言葉であるアイヌ語で「地の果て」に近い意味を持った名前です。知床半島には山が多く、巨大な海岸絶壁や岩層火山で深い森林に覆われています。アイヌ民族がこの地につけた名前の由来は、きっとこの印象的な景色から来たことでしょう。羅臼町へ来た際は、ハイキングやガイド付きツアーで知床の起伏にとんだ地形を探索することができます。

知床半島を探索

ここでは、岩場の多い海岸線を周遊するツアーボートや根室海峽の深海域へと進むホエールウォッチング船に乗り、1年を通してここへやって来るクジラやイルカを見ることができます。森の中を抜けるハイキングコースや、火山の山頂へと続くトレッキングコースが用意されています。冬には流氷カヤックや、経験豊富なダイバーであれば、流氷下の海洋環境を探検することができます。

アイヌ民族の神（カムイ）の里

知床半島は、アイヌ神話に登場する三神（カムイ）—ヒグマ、シマフクロウ、シャチ—が棲む場所です。これらの動物は食料としてこの地域を守ってきており、アイヌの暮らしを支えるうえで果たしたその重要な役割ゆえにあげられています。これらの動物は、観察ツアーで見ることができます。

【タイトル】 知床の野生生物

【想定媒体】 その他（デジタルサイネージ）

<簡体字>

知床的野生动物

知床地区森林密布的山峰、岩石嶙峋的海岸线和深邃的海域为健康的生态系统和丰富的生物多样性创造了条件。这里执行严格的保护措施，守护着许多野生动物的栖息地，包括熊、抹香鲸以及珍稀的濒危鸟类，如毛腿渔鸮和虎头海雕。共有 36 种陆生哺乳动物、22 种海洋哺乳动物以及 285 种鸟类在知床栖息。游客可以观察这些野生动物在其自然栖息环境中的身影。

在不同季节观赏野生动物

春秋之间，棕熊会沿着海岸觅食；夏天，鸣禽用歌声为森林增添活力；冬天，大型鹰类和北海狮会迁徙到知床地区；各类鲸鱼一年四季都会在根室海峡的深水区畅游。

无论是前往瞭望台、参加游船之旅，还是登山以及在森林中徒步，游客都有机会在罗臼观察野生动物。知床罗臼公路服务区的游客信息台可以介绍各种游览行程，并提供一系列路线地图和宣传册。

<繁体字>

知床的野生動物

知床擁有森林密布的山岳、多岩石的海岸線和深水海域，造就出健全的生態系統和豐富的生物多樣性。這裡實行嚴格的保育措施，維護許多野生動物的棲息地，包括熊、抹香鯨以及珍稀的瀕危鳥類，如毛腿漁鸞和虎頭海鷗。知床共有 36 種陸生哺乳動物、22 種海洋哺乳動物以及 285 種鳥類在此棲息，遊客可以在這些野生動物的自然生活環境中，觀察牠們的身影。

觀賞不同季節的野生動物

從春天到秋季之間，棕熊會沿著海岸覓食；夏季時，鳴禽會輕聲歌唱，為森林增添活力；冬季時，大型鷹類與北海獅會遷徙至知床地區；一年四季，各種鯨魚都會在根室海峽的深水區暢游。

無論是前往瞭望台、參加觀光船之旅、登山或是在森林中徒步健行，遊客都有機會在羅臼見到野生動物。前往知床羅臼道路休息站的觀光諮詢處，那裡提供各種遊覽行程的相關資訊，並有多種步道地圖和觀光手冊可供索取。

<日本語仮訳>

知床の野生生物

知床の森林に覆われた山々、岩場の多い海岸線、深い沿岸水域は、健康的な生態系と豊かな生物多様性を支えています。厳しい保全対策により、クマ、マッコウクジラ、シマフクロウやオオワシといった絶滅危惧種の鳥類など、あらゆる野生生物の生息地が守られています。すべてを合わせると、36種の陸棲哺乳類、22種 of 海棲哺乳類、285種の鳥類の生息が知床で確認されています。また、知床には、多くの希少な動植物が生息・生育しています。知床を訪れた人々は、自然環境の中で野生生物を見ることができます。

季節折々の野生生物を観察する

春から秋にかけてはヒグマが餌を求めて海岸沿いを移動し、夏には鳴き鳥のさえずりが森を明るくし、冬には大型のワシやトドがこの地域へ渡り、クジラ類は1年を通して根室海峽の深海を巡回します。

羅臼へ訪れた際は、展望台やボートツアーだけでなく、山のハイキングコースでも野生生物を観察することができます。道の駅 知床・羅臼の観光案内所では、利用可能なツアーに関する情報を提供しており、ハイキングコースの地図やパンフレットも多数用意しています。

【タイトル】 羅臼ビジターセンター

【想定媒体】 その他（デジタルサイネージ）

<簡体字>

罗臼游客中心

罗臼的两座游客中心会提供有关最近熊类目击情况和天气预警的重要信息，还会分享宝贵的徒步旅行建议。知床的许多荒野都没有标识，对于不了解地形的徒步旅行者来说可能存在危险。

两座游客中心

知床国立公园罗臼游客中心位于罗臼山的山脚下，陈列着介绍该地区生态系统的展品。中心的小型剧场会播放一段介绍知床四季景观的视频。知床世界遗产罗臼园地之家位于罗臼北部，距离中心城区约有 20 分钟车程。这座游客中心俯瞰根室海峡，二楼是观景区，可供游客观赏鲸鱼和海豚。中心陈列的各种展品展示着知床的自然之美，强调海洋与陆地生态系统的相互关系，以及人与海洋在知床的关系。

安全探索知床

要安全地探索知床的野外，就必须意识到潜在的危险。在游客中心购买一个熊铃，可在徒步旅行时让熊主动回避。在任一游客中心均可租用防熊喷雾（遇到熊时使用的胡椒喷雾）和防雨衣物。罗臼园地之家还提供用来防野生动物的食物容器。如果想详细了解遇到熊时的应对措施，请咨询游客中心的工作人员。

<繁体字>

羅臼遊客中心

羅臼的兩座遊客中心提供有關熊出沒的最新目擊情報，以及天氣警報等重要資訊，也會分享寶貴的徒步健行建議。由於知床許多野外地區都沒有標示，不熟悉當地地形的徒步健行者可能會有危險。

兩座遊客中心

知床羅臼遊客中心位於羅臼山的山腳下，陳列該地區生態系統的展示，裡頭的小型劇場則會播放一段影片推薦知床四季的景觀。至於知床世界遺產羅臼旅遊服務中心，它位於羅臼中心地帶以北 20 分鐘車程處，俯瞰根室海峽，遊客可以在二樓的觀景區觀賞鯨魚和海豚。中心內陳列的各種展示傳達知床自然之美，強調海洋與陸地生態系統、知床居民與海之間的相互關係。

安全探索知床

為了安全地探索知床的野外地區，必須意識到有潛在的危險。在遊客中心購買一個熊鈴，可在徒步健行的過程中對熊類示警。此外，在任一遊客中心均能租借防熊噴霧（遇到熊時使用的胡椒噴霧）和防雨衣物。羅臼旅遊服務中心也提供食物容器，防止食物引來野生動物。如欲進一步了解在遇到熊時該如何應對，請諮詢遊客中心的工作人員。

<日本語仮訳>

羅臼ビジターセンター

羅臼町に 2 か所あるビジターセンターでは、最近のクマ目撃情報や気象警報に関する重要な情報を提供しており、ハイキングに関する貴重なアドバイスも提供しています。知床の手つかずの自然の大部分には標識がなく、ここの地形に関する知識がないハイカーにとっては危険な場合があります。

2 か所あるビジターセンター

羅臼岳の麓にある羅臼ビジターセンターには、このエリアの生態系を紹介する展示が用意されています。小さなシアターでは、知床の四季折々の景色を紹介する動画を流しています。知床世界遺産ルサフィールドハウスは、羅臼町中心部北側より車で 20 分の距離の場所にあります。根室海峽を見渡すことのできる場所に位置しており、2 階はクジラやイルカの展望エリアになっています。施設の展示は、海洋生態系と陸上生態系の相互関係や、知床における人間と海との関わりなどを通して、知床の自然の素晴らしさを伝えています。

知床で安全に過ごす

知床の大自然を安全に探索するには、危険の可能性を認識しておくことが大切です。ビジターセンターでクマよけ鈴を購入し、ハイキング中にクマと鉢合わせにならないようにしましょう。クマ撃退スプレー（クマに遭遇した場合のための催涙スプレー）と雨天ウェアは、どちらのビジターセンターでもレンタル可能です。野生生物から食料品を守るための容器は、ルサフィールドハウスで入手できます。万が一、クマと遭遇した際にとるべき行動などについての情報をご希望の方は、ビジターセンターの職員にお尋ねください。

【タイトル】文化体験

【想定媒体】 その他（デジタルサイネージ）

<簡体字>

文化体験

位于罗臼海岸附近的根室海峡为当地饮食文化奠定了基础。海峡中的海水营养丰富，滋养着海藻林和各种鱼类。游客可以参加文化体验，进一步了解当地饮食文化和渔业。这些体验包括鱼类拍卖之旅、制作和品尝海胆饭，以及了解罗臼昆布（一种只生长在罗臼海岸附近的稀有海带）的采摘和处理过程。所有体验均需预约方可参加。

参加鱼类拍卖之旅的游客可以一睹当日的渔获并观看拍卖，可能有机会同时看到浅水和深海品种。对日本饮食感兴趣的参与者可以了解如何将海胆去壳并进行处理，然后将海胆和精选生鱼片放到米饭上，制作一碗海鲜丼。

罗臼昆布是一种特殊的海带，因其鲜味而受到世界各地顶级餐厅的青睐。通过体验昆布修剪，参与者可以了解这种长度可超过3米的稀有海产品。

请在知床罗臼公路服务区的游客信息台了解文化体验的详细信息。

<繁体字>

文化體驗

根室海峡是當地飲食文化的根基所在，位於羅臼海岸附近，海峽內海水營養豐富，為海藻林和各種魚類提供了充足的養分。遊客可以參加文化體驗，進一步了解當地飲食文化和漁業。這些體驗包括魚類拍賣體驗行、製作和品嚐海膽飯，以及學習羅臼昆布（一種只生長在羅臼海岸附近的稀有海帶）的採摘和處理過程；上述所有體驗都需預約才能參加。

參加魚類拍賣體驗行程的遊客，可一睹當日新鮮捕撈的漁獲並觀看拍賣，還有機會同時看到淺水和深海品種魚類。對日本飲食感興趣的參與者，可以學習如何為海膽去殼並進行處理，然後將海膽與精選的生魚片放在白飯上，製作一碗美味的海鮮丼。

羅臼昆布是一種特殊的海帶，它因「旨味」（食物美好的鮮味）而受世界各地頂級餐廳青睞。在羅臼昆布修剪體驗中，參與者能深入了解這種長度可以超過 3 公尺的稀有海產。

如需進一步了解文化體驗的詳細資訊，請洽知床羅臼道路休息站的觀光諮詢處。

<日本語仮訳>

文化体験

羅臼海岸沖の根室海峡は、地元の食文化の基盤となっています。ここの栄養豊富な水が昆布の森と多種多様な魚を支えています。この地域を訪れた際は、文化体験に参加して、ここの食文化や地元の漁業についてもっと知ることができます。体験には、魚の競り市ツアー（ウニの下準備、うに丼の試食）と、羅臼海岸にのみ育つ貴重な昆布、羅臼昆布の収穫と加工に関する学習が含まれています。すべての体験は事前予約が必要です。

魚の競り市ツアーでは、その日の漁獲を見て競りを見物することができます。漁獲には、ほとんどの場合に淡水魚と深海魚の両方が登場します。日本料理に関心がある参加者は、ウニの殻剥き・調理法を習い、他の魚介類と合わせて海鮮丼を作りこともできます。

羅臼昆布は、その旨みで世界の一級レストランから注目を集めた特殊な昆布です。羅臼昆布ヒレ刈り体験では、長さ 3 メートルにも育つこの貴重な海産物について学ぶことができます。

文化体験に関する詳細については、道の駅 知床・羅臼観光案内所までお問い合わせください。

【タイトル】 羅臼 UNESCO 世界遺産

【想定媒体】 その他（デジタルサイネージ）

<簡体字>

罗臼联合国教科文组织世界遗产地区

联合国教科文组织在2005年将知床半岛列入世界自然遗产名录。入选的范围从半岛中部延伸至最北端，包括周边海域。罗臼的许多地区都在该范围内。游客可以参加野生动物观赏之旅，并在游客中心观看富有教育意义的展览，了解为什么该地区在全球具有如此举足轻重的地位。

联合国教科文组织强调了知床半岛对陆地和海洋物种的重要性。罗臼的森林和山脉养育了高密度的棕熊种群，罗臼海岸则是虎头海雕等濒危海鸟的重要越冬地。世界上最大的猫头鹰——稀有的毛腿渔鸮在罗臼森林高大的树上筑巢。游客可以参加游船之旅或登上瞭望台，观察当地野生动物在自然栖息地中的活动。

联合国教科文组织认为，季节性的浮冰是知床半岛健康生态系统的关键。冬季漂到罗臼海岸附近水域的浮冰富含营养物质，使浮游植物大量繁殖，而浮游生物正是罗臼海洋生态系统的基础。游客可以登上游船观赏鸟类，还可以参加冰下潜水。鲸鱼几乎一年四季都频繁出没于这片水域，游客可以在游船和沿海瞭望台上看到它们的身影。

知床世界遗产罗臼园地之家的展览解释了此地被指定为联合国教科文组织世界遗产的缘由。部分信息以英文展示。园地之家位于世界遗产地区范围内，距离罗臼中心城区约有20分钟车程。

<繁体字>

羅臼聯合國教科文組織世界遺產地區

聯合國教科文組織在2005年將知床半島列入世界自然遺產，入選範圍從半島的中部延伸至最北端，以及周邊海域。羅臼許多地區位於該範圍內，遊客來此可以參加野生動物觀察之旅，到遊客中心欣賞富有教育意義的展覽，了解該地區為何在全球擁有如此舉足輕重的地位。

如上所述，該組織以此彰顯知床半島對陸地和海洋物種的重要性。羅臼的森林和山岳讓高密度的棕熊族群賴以為生，羅臼海岸則是虎頭海鵬等瀕危海鳥重要的過冬地點。稀有的毛腿漁鴉是世界上最大的貓頭鷹，牠們在羅臼森林中的大樹築巢。遊客可以參加觀光船之旅或登上瞭望台，觀察當地野生動物在自然棲息地中的一舉一動。

聯合國教科文組織認為知床半島之所以有健全的生態系統，季節性的浮冰是其中關鍵所在。浮冰在冬季時流入羅臼海岸附近的海域，富含營養物質，浮游植物在此得以大量繁殖，而且浮游生物正是形成羅臼海洋生態系統的基礎。遊客可以在此乘觀光船，還能參加冰潛行程，欣賞野鳥與浮冰。此外，這片海域全年幾乎都有鯨魚頻繁出沒，無論參加觀光船之旅，還是登上海岸邊的瞭望台，都有機會見到牠們的身影。

在知床世界遺產羅臼旅遊服務中心裡頭，有展示品說明聯合國教科文組織為何將此地指定為世界遺產的原因（部分資訊提供英文版本）。旅遊服務中心在世界遺產的地區範圍內，位於羅臼中心地帶以北 20 分鐘車程之處。

<日本語仮訳>

羅臼 UNESCO 世界遺産

知床半島は、2005 年に UNESCO 世界自然遺産となりました。その境界線には半島の中心部から最北端までが含まれており、それを取り囲む海域も含まれています。羅臼町の大部分が、この境界線に含まれています。ここを訪れた際は、野生生物観察ツアーに参加し、ビジターセンターで教育展示を見て、この地域が世界的に重要と見なされた訳を知ることができます。

この団体は、半島の重要性についてその陸生種や海洋生物に焦点を当てて説明しています。羅臼の森や山々はヒグマの高い密度を支えており、羅臼海岸はオオワシなどの絶滅が危惧される鳥類にとって重要な越冬地となっています。世界最大のフクロウであるシマフクロウは、羅臼の森に育つ高木に巣をつくります。ここを訪れた際は、ボートツアーや展望デッキで自然の生息地に棲む地元の野生生物を目にすることができます。

UNESCO は、知床半島の健康な生態系のカギとして、季節要因による浮氷塊を挙げています。冬に羅臼の沿岸水域に流れてくる浮氷塊には、植物性プランクトンの増殖を刺激する栄養が豊富に含まれています。プランクトンは、羅臼の海洋生態系の基盤を形成します。ここでは、ボートツアーやアイスダイビング体験を通して流氷や野鳥を見ることができます。クジラはほぼ 1 年を通して見ることができ、ボートツアーや沿岸の展望デッキから観察することができます。

知床世界遺産ルサフィールドハウスには、UNESCO 登録について説明している展示が用意されています。情報の一部は英語でも提供されています。ルサフィールドハウスは、世界遺産の境界線内に位置しており、羅臼中心部北側から車で 20 分ほどです。

【タイトル】 羅臼神社へようこそ

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

欢迎来到罗臼神社

1855 年左右，罗臼最初的港口区和渔场建立，当地居民在神圣的日本百名山之一罗臼山上建造了神社，以祭拜保护当地渔民的神灵。经年累月，当地渔业蓬勃发展，罗臼人口也随之增长。1887 年，人们将神社迁到现在的位置，以方便人数日渐增多的当地居民前往祭拜。从城镇中心出发，步行即可抵达神社。神社内有天然泉水，游客可以品尝来自罗臼山的新鲜泉水，感受神社的神圣氛围。如今，渔业是罗臼的主要产业，许多居民都从事该行业。

神灵结界

草绳（注连绳）是神道教神社的常见特征。拜访罗臼神社时，游客会看到一条注连绳系在神社本殿，另一条系在地上生长的大树上。这些草绳的作用是标识出蕴藏着神道教神灵精神的物体或空间。神道教以对神的崇拜为核心，而神是自然界生命力量的表现。

护身符

游客可在神社选购护身符（御守）。人们相信罗臼神社的御守可以提供好运和保护，有专门为学业、安产、出行安全和健康而制作的护身符。

年度节庆

每年 7 月的前三天，罗臼会举行罗臼神社祭，当地人会聚集在一起感谢守护罗臼渔业的神灵。人们会抬着可移动的神龛在神社内和神社周围游行，当地剧团还会进行舞蹈表演。

<繁体字>

歡迎來到羅臼神社

在 1855 年左右，羅臼最初的港口區和漁場建立，當地居民在日本百名山之一、神聖的羅臼山上建造了神社，以祭拜保護當地漁民的神明。經年累月下，當地漁業蓬勃發展，羅臼人口也隨之增長。在 1887 年時，人們將神社搬到現在的位置，以便人數日漸增多的當地居民前往參拜。從城鎮中心出發，步行即可抵達神社。神社內有天然泉水，遊客可以沉浸

在神社的神聖氛圍中，嘗到來自羅臼山的新鮮泉水。時至今日，漁業成為羅臼的主要產業，許多居民都從事該行業。

神明結界

草繩（注連繩）是神道教神社的常見特徵。來到羅臼神社後，遊客會看到神社本殿橫掛著一條注連繩，地上的大樹上也環繞著一條，這些注連繩的作用是標示出神道教神明所在的物體或空間。神道教以對神明的崇拜為核心，而該宗教信仰的神明則是自然界生命力量的表現。

護身符

遊客可以在神社選購護身符（御守）。人們相信羅臼神社的御守可以帶來好運和提供保佑，還有一些御守則能祈願學業有成、順產、旅途平安以及身體健康。

年度祭典

一年一度的羅臼神社祭在 7 月前三天舉辦，當地人會聚集在一起感謝守護羅臼漁民的神明。人們抬著可移動的神龕，在神社內與周圍遊行，當地的表演團體還會帶來舞蹈表演。

<日本語仮訳>

羅臼神社へようこそ

1855 年頃に羅臼の本来の港エリアと漁場ができた際、住民は、日本百名山のひとつとしても知られる霊峰羅臼岳に、地元の漁民を守る神を称える神社を建造しました。長年をかけて漁業は栄え、羅臼町の人口も増加しました。地域の人口増加に合わせてアクセスを向上させるため、神社は 1887 年に現在の場所へ移動されました。この神社へは市街中心地から歩いて気軽に立ち寄ることができます。境内では羅臼権現水として羅臼山系の湧水を飲んだり、歩きながら神社の神聖な空間を楽しむこともできます。今日、漁業は羅臼町の中核産業となっており、住民の多くが漁業に携わっています。

神の境界

藁のしめ縄は、神社で一般的に見られる特徴です。羅臼神社を訪れた際は、本殿に飾られているしめ縄と、大木に巻きつけてあるもう 1 本のしめ縄があることに気づくことでしょう。しめ縄は、神域である物体や空間を示すものです。神道は、自然界の生命力を表す神の崇拝を中心としています。

護身

ここを訪れた際は、神社でお守りを購入することができます。羅臼神社のお守りは開運と厄除をもたらすものと信じられており、学業成就、安産祈願、交通安全、健康長寿のお守りが用意されています。

年次祭り

7月の最初の3日間に、毎年、開催される羅臼神社祭では、地元住民が集まって羅臼町の漁業コミュニティを見守る神に感謝の意を表します。周辺エリアでは神輿が担がれ、地元の団体による踊りが披露されます。

地域番号	015	協議会名	釧路市多言語化推進協議会
------	-----	------	--------------

解説文一覧

解説文番号	スポット名 (タイトル)	中国語文字数	想定媒体
015-001	マンモス	285	WEB
015-002	釧路の地形	450	WEB
015-003	クシロムカシバク	405	WEB
015-004	石炭：湿原からの天然資源	320	WEB
015-005	釧路湿原	405	WEB
015-006	釧路湿原の植物	370	WEB
015-007	イトウ	375	WEB
015-008	ヤチボウズ	255	WEB
015-009	寒さに強い昆虫と氷期の生き残り	505	WEB
015-010	寒さに強い植物と氷期の生き残り	420	WEB
015-011	キタサンショウウオ：生き残りの達人	190	WEB
015-012	釧路湿原総合調査	215	WEB
015-013	スズメバチとその巣	330	WEB
015-014	釧路の昆虫	575	WEB
015-015	エゾシカ	370	WEB
015-016	ヒグマ	350	WEB
015-017	釧路地域で絶滅が危惧される鳥類	510	WEB
015-018	鳥たちの適応方法	285	WEB
015-019	トガリネズミ：日本で最小の哺乳類	285	WEB
015-020	カニ類	410	WEB
015-021	釧路周辺の海獣類	290	WEB
015-022	サケ類	430	WEB
015-023	サクラマス	255	WEB
015-024	岩礁の海洋生物	420	WEB
015-025	砂浜の海洋生物	380	WEB
015-026	スケトウダラ	240	WEB
015-027	シヤマモ：柳葉魚	260	WEB
015-028	ゴンブ類：貴重な食料源	335	WEB
015-029	ミンククジラ	285	WEB
015-030	シロナガスクジラ	245	WEB
015-031	東釧路貝塚	545	WEB
015-032	釧路地域で発見された土器	320	WEB
015-033	続縄文文化	350	WEB
015-034	擦文時代	375	WEB
015-035	湖州鏡	275	WEB
015-036	江戸時代の釧路	330	WEB

015-037	霧の街	320	WEB
015-038	北海道東部における材木の集積地	425	WEB
015-039	採炭と友子制度	395	WEB
015-040	川崎船	215	WEB
015-041	漁業のための伝統的な仕事着	320	WEB
015-042	賑わう街	380	WEB
015-043	第二次世界大戦中の釧路	360	WEB
015-044	焼玉エンジン	355	WEB
015-045	農業用の簡易軌道：地域の生命線	585	WEB
015-046	アイヌの人々	305	WEB
015-047	儀式用の首飾り	235	WEB
015-048	伝統的な衣服の素材	215	WEB
015-049	アイヌの信仰	390	WEB
015-050	タンチョウ	340	WEB
015-051	釧路市立博物館	1915	パンフレット
015-052	北斗遺跡	825	パンフレット

【タイトル】 マンモス

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**猛犸象**

数万年前，在末次冰期中特别寒冷的维尔姆冰期，猛犸象（学名：Mammuthus primigenius）从欧亚大陆迁徙至北海道。海平面下降，冰川向外延伸，形成了连接北海道以北的库页岛与欧亚大陆的桥梁。在那段时期，多种动物从欧亚大陆迁徙至北海道。其中的一些动物（例如极北鲈）至今仍然栖息在钏路地区。

猛犸象体型接近于非洲象。它们的身体表面覆盖着一层又长又粗的毛，下面还有一层较短的毛皮，因此非常擅长抵御寒冷。钏路附近的多处地点发现了猛犸象的象牙化石，包括南部的襟裳岬。这具骨架是复制品，其原型是在西伯利亚发现的猛犸象骨骼化石。骨架长 3.5 米，高 2.9 米，象牙长 2.5 米。

<繁体字>**猛獁象**

猛獁象（學名：Mammuthus primigenius）在距今數萬年前，從歐亞大陸遷徙至北海道，那時正逢最後一次冰河期中特別寒冷的維爾姆冰期，那段時期海平面下降，冰川向外延伸，形成的橋樑連接了北海道以北的庫頁島與歐亞大陸，當時許多動物便從歐亞大陸遷徙至北海道，其中例如極北鮭等動物至今仍棲息在釧路地區。

猛獁象的體型與非洲象相近，牠們的身體表面覆蓋著一層又長又粗的體毛，下面還有一層較短的毛皮，因此非常適應寒冷的天氣。釧路附近許多地點都有發現猛獁象的象牙化石，包括南部的襟裳岬。館內展示的猛獁象骨架是複製品，形狀則是源自西伯利亞所發現的骨骼化石，全長 3.5 公尺，2.9 公尺高，以及長度 2.5 公尺的象牙。

<日本語仮訳>**マンモス**

ケナガマンモス(学名:Mammuthus primigenius)は、最終氷期の中でも特に寒い時代だった約数万年前のウルム氷期に、ユーラシア大陸から北海道に渡ってきました。海面が下がり、氷河が前進すると、樺太島、北海道北部、およびユーラシア大陸をつなぐ橋ができました。この期間に、いくつかの動物種が、ユーラシア大陸から北海道に渡ってきました。その中には、キタサンショウウオのように、現在も釧路地方に生息しているものがあります。

ケナガマンモスは、アフリカ象と同じくらいの大きさでした。ケナガマンモスは、寒さにうまく適応していました。その身体は、長くて粗い毛の層で覆われており、その下には、より短くて柔らかい毛の層がありました。マンモスの歯の化石は、釧路の南にある襟裳岬など、釧路周辺の複数の地点で発見されました。この骨格はレプリカであり、シベリアで発見されたマンモスの骨の化石をモデルにしています。体長 3.5m、体高 2.9m で、牙の長さは 2.5m あります。

【タイトル】 釧路の地形

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

釧路の地質と構造

釧路の地質受到冰川作用、海平面变化和火山活动的影响。随着时间的推移，湿地和各种不同的海洋环境逐渐在这里形成，构成了独特的景观。

釧路湿地

釧路湿地大约形成于 6000 年前，当时，全球持续变冷导致海平面下降，暴露出先前淹没在水下的沿海平原。这片湿地养育了成千上万种动植物，包括丹顶鹤（学名：Grus japonensis）。釧路湿地占地 28,788 公顷，是日本面积最大的湿地。

火山湖

在距今最近的冰期期间，釧路湿地北部形成了多个破火山口。破火山口是火山中心坍塌时形成的火山口。在此处形成的火山口蓄满了水，成为阿寒湖、摩周湖和屈斜路湖，其中屈斜路湖是日本最大的破火山口湖。釧路川以屈斜路湖为水源，穿过釧路湿地，最终汇入釧路湾。

釧路湾

釧路湾的地质环境丰富多样，为大量海洋生物提供了生存条件。釧路湾被一条海底峡谷划分为东西两侧。西侧有平缓起伏的沙质海岸线，东侧则有陡峭险峻的岩石悬崖。釧路海底峡谷和海岸线环境中的海洋生物群别具一格：有在沙质海岸地区繁衍的比目鱼，还有在海底峡谷的斜坡上生息的深海虾蟹。

<繁体字>

釧路的地質與構造

釧路的地質受到冰川作用、海平面變化和火山活動影響，隨著時間推移，這裡逐漸形成獨特的景觀，包括濕地和各種不同的海洋環境。

釧路濕地

釧路濕地於 6,000 年左右前形成，那時全球氣候長期持續寒冷，導致海平面下降，之前在海平面下的沿海平原於是浮出水面。這片濕地養育了數千種動植物，包括丹頂鶴（學名：Grus japonensis）。釧路濕地占地 28,788 公頃，為日本面積最大的濕地。

火山湖

最後一次冰河期期間，釧路濕地的北部由於火山錐的頂部崩塌，導致出現了多個破火山口。破火山口蓄滿水後，形成了阿寒湖、摩周湖和屈斜路湖，其中屈斜路湖是日本最大的破火山口湖，這座湖也是釧路川的源頭。這條河川穿過釧路濕地，最終匯入了釧路灣。

釧路灣

釧路灣的地質環境豐富多樣，大量海洋生物得以在此繁衍生息。這座海灣以海底峽谷劃分為東、西兩側，西側有平緩的沙質海岸線，東側則有陡峭險峻的岩石峭壁。釧路的海底峽谷與海岸線環境中，各自棲息著迥異的海洋生物：比目魚在沙質海岸地區繁衍，深海蝦蟹則聚集在海底峽谷的斜坡上。

<日本語仮訳>

釧路の地形

釧路の地形は、氷河作用、海面の変化および火山活動の影響を受けてきました。時間をかけて、湿原や多様な海洋環境などの独特な景観が発達しました。

釧路湿原

釧路湿原は、約 6,000 年前に形成され始めました。この時期に、世界的に寒冷な気候が続いて海面が下がり、以前は水中にあった海岸平野が地上に現れたのです。釧路湿原には、タンチョウ(学名:Grus japonensis)など、数千種の動植物が生息しています。釧路湿原は 28,788 ヘクタールにわたる日本最大の湿原です。

火山湖

釧路湿原の北では、最終氷期の間、いくつかのカルデラが形成されました。カルデラとは、火山の中心部が噴火により陥没してできた窪みのことです。形成されたカルデラに水が溜まり、阿寒湖、摩周湖、屈斜路湖になりました。屈斜路湖は、日本最大のカルデラ湖です。屈斜路湖からは釧路川が流れ出し、釧路川は釧路湿原を通り抜けて釧路湾に注いでいます。

釧路湾

釧路湾は、地理的に多様な環境であり、豊富な海洋生物のすみかとなっています。釧路湾は、海底谷によって2つの部分に分けられています。西側には砂浜の穏やかな海岸線が広がり、東側には険しい岩壁があります。釧路海底谷と海岸線の環境の海洋生物相は独特です。砂地の海岸地域にはカレイ類が豊富です。海底谷の斜面には深海に住むエビやカニが生息しています。

【タイトル】 クシロムカシバク

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**钏路獾**

獾是一种大型食草哺乳动物，外形与猪类似，但鼻子细长，可抓握物品。现存的獾可分为四个种类，而且全部是濒危物种，分布在南美洲、中美洲和东南亚。数百万年前，数个獾种群曾生活在北美和欧亚地区，现均已灭绝。

这块上颌骨化石属于一种新发现的物种，钏路獾（学名：Colodon kushiroensis）。古生物学家根据化石出土的地质层，推断钏路獾生活在距今约 3800 万年以前。

冰河时代迁移

钏路獾的臼齿化石与北美洲发现的獾臼齿化石类似，因此古生物学家认为钏路獾很可能从北美洲通过欧亚大陆迁徙至北海道。冰川时期海平面比现在低很多，北海道通过库页岛与欧亚大陆连接在一起。

稀有的发现

这块化石之所以独一无二，一方面是因为这是钏路獾现存唯一遗骸，另一方面是因为这样大小的化石很少能像它一样完好无损。这块标本长 10 厘米，宽 9 厘米，有九颗牙齿，包括前臼齿和臼齿。1968 年，一群初中生在钏路东边十町瀬的一座悬崖附近发现了这块化石。

<繁体字>**釧路獾**

獾是一種大型食草哺乳動物，外形與豬類似，但鼻子細長，可抓握物品。已知現存的獾，全部屬於瀕危物種，區分成為四個種類，分布在南美洲、中美洲和東南亞。數百萬年前，現已滅絕的幾個獾種群則曾生活在北美和歐亞大陸。

比如展示的這塊上頷骨的化石，當時屬於新發現的物種，也就是釧路獾（學名：Colodon kushiroensis）；古生物學家根據化石出土的地質層，推斷釧路獾生活在距今 3,800 萬年以前。

冰河期遷移

釧路獾的臼齒化石，與北美洲發現的獾臼齒化石類似，因此，古生物學家推斷釧路獾很可能從北美洲出發，在最後一次冰河期期間，經由歐亞大陸來到北海道，當時海平面比現在低很多，北海道與歐亞大陸間經由庫頁島相連在一起。

稀有的發現

展示的這塊化石之所以獨一無二，是因其為釧路獾現存的唯一遺骸，而且相同大小的化石很少能保存得如此完整。這塊標本長 10 公分，寬 9 公分，有 9 顆牙齒，包括前臼齒和臼齒。化石是在 1968 年時，由一群國中生在釧路東邊十町瀨的一座懸崖附近所發現的。

<日本語仮訳>

クシロムカシバク

このバクは、草食の大型哺乳類で、豚に似ていますが、細長い鼻でものをつかむことができます。バクの現存種としては 4 種が知られており、南米、中米および東南アジアに生息していますが、すべて絶滅危惧種です。数百万年前には、現在は絶滅してしまった数種のバクが、北米やユーラシア大陸を歩き回っていました。

この化石は、新しく発見された種であるクシロムカシバク(学名:Colodon kushiroensis)の上あごです。この化石が見つかった地層に基づいて、クシロムカシバクは約 3,800 万年前に生息していた、と古生物学者たちは考えています。

氷期における移動

クシロムカシバクの臼齒の化石は、北米のバクの化石で見られるものと似ています。これにより、古生物学者たちは、クシロムカシバクは北米からユーラシア大陸を経由して北海道にやって来た可能性が高い、と結論付けています。最終氷期の間、海面は現在よりかなり低く、北海道は、樺太島を介してユーラシア大陸と地続きでした。

稀少な発見

この化石が珍しい理由は 2 つあります。1 つは、これがクシロムカシバクの化石として唯一知られているものだからです。もう 1 つは、この大きさの化石が無傷で見つかるのは稀だからです。この化石は、長

さ 10cm、幅 9cm で、小臼歯と臼歯を含む 9 本の歯が残っています。この化石は、釧路の東、十町瀬にある崖の近くで、1968 年に中学生が発見したものです。

【タイトル】 石炭：湿原からの天然資源

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

煤炭：来自湿地的天然燃料

大约 4000 万年前，钏路煤田在钏路一带肥沃的泥炭地中形成。枯萎的植物无法在潮湿、寒冷的湿地和沼泽完全分解，最终形成了泥炭。这些部分腐烂的植被层慢慢堆积成泥炭，在附加岩层的重压下，经过数千年的时间，逐渐石化成煤炭。钏路湿地拥有日本最大的泥炭地，那里的泥炭可能某一天会成为煤炭。

钏路煤田拥有超过 10 个煤层（厚到可以开采的一层层煤炭），每一层都厚达 5 米。这些煤层位于钏路市东部，在海床下延展开来。自 1920 年开始大规模开采以来，煤炭一直是钏路主要的收入来源和就业机会来源，为该地区的发展作出了重要贡献。钏路的太平洋煤矿一度位列日本最大的煤矿之一。如今，钏路煤矿是日本唯一仍在运作的地下煤矿。该矿场每年可产出约 30 万吨煤。

<繁体字>

煤炭：來自濕地的天然燃料

距今約 4,000 萬年前，釧路一帶肥沃的泥炭地形成了釧路煤田。泥炭會在擁有潮濕環境、寒冷氣候的濕地和沼澤中形成。由於上述兩項環境與氣候條件，讓枯萎的植物無法完全分解，於是部分腐爛的植被層慢慢堆積成泥炭，在岩石一層又一層重壓下，數千年後逐漸變為煤炭。釧路濕地擁有日本最大片的泥炭地，因此那裡的泥炭也可能在某天形成煤炭。

釧路煤田擁有為數不少的煤層，至於厚到可以開採的煤炭層則超過 10 層、每層皆厚達 5 公尺。這些煤層位於釧路市東部，在海床下向外擴展。自 1920 年大規模開採以來，煤炭產業一直是釧路主要的收入來源，並提供了許多就業機會，為該地區的發展作出重要貢獻。釧路的「太平洋炭礦」一度是日本的最大煤礦公司之一。時至今日，「釧路炭礦」則為日本唯一仍在運營的地底採礦公司，每年約可產出 30 萬噸的煤。

<日本語仮訳>

石炭：湿原からの天然資源

釧路炭田は、約 4,000 万年前に、釧路一帯の豊富な泥炭から形成されました。泥炭は湿原・沼地で形成されます。水気が多い環境と気温の低さにより、枯れた植物が完全には分解されない場合に、泥炭ができます。これらの分解しかけた植物の層が、ゆっくりと泥炭になります。その後、数千年をかけて、積み重なった層の重みで泥炭が圧縮され、徐々に化石化して石炭になります。釧路湿原には、日本最大の泥炭地があります。ここで見られる泥炭は、いつか石炭になるかもしれません。

釧路炭田には10 を超える炭層(採掘に十分な厚みのある石炭の層)があり、各層の厚みは 5 メートルに達します。これらの炭層は、釧路市の東に位置し、海底の下に広がっています。釧路の石炭は、1920 年に大規模な採炭が始まって以来、収入と雇用の主な源であり続けており、この地域の発展に貢献してきました。かつて、釧路の太平洋炭礦は、日本最大級の炭鉱でした。現在は、釧路コールマイン社が、日本で唯一となった坑内掘り炭鉱で操業を続けています。同社は、年に約 30 万トンの石炭を生産しています。

【タイトル】 釧路湿原

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**釧路湿地**

许多稀有的本土动植物都栖息于釧路湿地，包括日本唯一已知的濒危物种丹顶鹤（日语：tanchō，学名：Grus japonensis）种群，以及多个自末次冰期以来就存在于该地区的物种。自约 6000 年前海平面下降以来，这里原始的低地环境几乎没有变化，造就了日本最大的湿地区。釧路湿地受到国际湿地保护条约《拉姆萨尔公约》的保护。

冰河期

大约 20,000 年前，地球正处于末次冰期中最冷的维尔姆冰期，海平面比现在低 100 米。当时，一座陆桥通过库页岛将北海道与欧亚大陆连为一体，动物因此得以从大陆迁徙到北海道。数千年后，随着气温上升，冰川融化，海平面上升，现在的釧路湿地所在处变成了一个海湾。

不断变化的海洋

约 6000 年前，气温和海平面再次下降，这片低洼地区变成了内陆。史前聚落在与湿地接壤的高原上留下了成堆的废弃贝壳。这些贝壳展现了海平面随时间发生的变化，表明海岸线曾经更深入内陆。海水退去后，留下了一些湖泊和水池。

<繁体字>**釧路濕地**

日本許多珍稀的本土動植物皆棲息於釧路濕地，包括唯一已知的瀕危物種丹頂鶴（學名：Grus japonensis）族群，以及從最後一次冰河期至今棲息此地的物種們。6,000 年左右前當海平面下降以來，這裡原始的低地環境幾乎沒有變化，造就出日本最大的濕地區域。釧路濕地受到《拉姆薩公約》的保護，那是為了保護濕地而簽署的國際公約。

冰河期

距今約 20,000 年前，地球正處於最後一次冰河期中最冷的維爾姆冰期，海平面比現在低 100 公尺。當時陸地經由庫頁島形成一條橋樑，連接歐亞大陸與北海道，動物們也得以從大陸遷徙到北海道。數千年後氣溫上升，導致冰川融化、海平面上升，如今釧路濕地的所在處變成了一座海灣。

不斷變化的海洋

距今約 6,000 年前，氣溫和海平面再次下降，這片低窪地區成了內陸，與濕地接壤的高原上，發現史前聚落所棄置的貝殼堆。這些貝塚顯示海平面如何隨時間變化，而且海岸線也一度更深入內陸。海水退去以後，留下數座湖泊和水池。

<日本語仮訳>

釧路湿原

釧路湿原には、多くの稀少・固有な動植物が暮らしています。絶滅が危惧されているタンチョウ(学名:Grus japonensis)の集団が日本で唯一生息しているほか、最終氷期からこの地域に存在している種もいます。この原始的な低地は、日本最大の湿原を形成しており、その環境は約 6,000 年前に海面が下がって以降ほとんど変わっていません。釧路湿原はラムサール条約(Ramsar Convention)で保護されています。ラムサール条約とは、湿地の保存のための国際条約です。

氷期

約 2 万年前、(ウルム氷期と呼ばれる)最終氷期の中でも一番寒い時期の間、海面は現在より 100m も下がっていました。当時は、陸橋が樺太島を通して北海道とユーラシア大陸をつないでいました。それにより、動物たちが大陸から北海道に渡ってきました。数千年にわたって気温が上昇すると、氷河は溶けて海面は上昇し、現在釧路湿原となっている地域は海に沈みました。

海の変化

およそ 6,000 年前に、気温と海面が再び下がり、この低地は陸地になりました。先史社会の人々は、釧路湿原の周囲にある台地沿いに貝塚を残しました。これらの貝塚は、海面が時とともにどう変化してきたかを示しており、かつては海岸線がさらに内陸側にあったことがわかります。海岸線が退いた後には、いくつかの湖と池が残りました。

【タイトル】 釧路湿原の植物

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

釧路湿地的植物

占地 28,788 公顷的釧路湿地被原始森林所环绕。湿地上生长着 700 多种植物。有的植物是釧路湿地特有物种，还有的物种是从末次冰期留存至今。

矿养和雨养泥炭沼泽中的植物

矿养泥炭沼泽受地下水滋养，始终保持潮湿，表面生长着芦苇和莎草。泥炭藓丛生的雨养泥炭沼泽受频繁的降雨滋养，其中生长着桤木（学名：Alnus japonica）以及高山植物和耐寒植物。夏季，水芋（一种小型海芋，学名：Calla palustris）以及羽毛般洁白的睡菜花（学名：Menyanthes trifoliata）会开遍整片湿地。

泥炭的形成

由于此地气候寒冷潮湿，枯萎的植物会形成泥炭层，而不是被完全分解。釧路湿地上的泥炭从大约 6000 年前开始形成。随着时间流逝，泥炭被层层沉积物压缩，最终变成煤炭。这就是釧路地区至今仍在开采的煤炭矿床历经数千万年的形成过程。

<繁体字>

釧路濕地的植物

釧路濕地佔地 28,788 公頃，四周原始森林環繞。超過 700 種植物在溼地生長，許多是釧路濕地的特有種，也有一些從最後一次冰河期留存至今的物種。

鹼沼和酸沼中的植物

鹼沼（呈鹼性至弱酸性的泥炭沼澤）表面覆蓋著蘆葦和莎草，水源由地下水補給，因而終年潮濕。泥炭藓叢生的酸沼（酸性泥炭沼澤）的水源來自頻繁降雨，讓日本檜木林（學名：Alnus japonica）、高山植物及耐寒植物得以在此生長。時至夏季，整片濕地會開滿水芋（一種小型海芋，學名：Calla palustris），以及顏色如羽毛般潔白的睡菜（學名：Menyanthes trifoliata）。

泥炭的形成

由於氣候寒冷潮濕，枯萎的植物無法完全分解，於是釧路濕地的泥炭約 6,000 年前開始成層。隨著時間流逝，泥炭在一層層的沉積物壓縮下，最終變為煤炭。這就是釧路地區歷經數千萬年，至今仍在開採的煤炭礦床形成過程。

<日本語仮訳>

釧路湿原の植物

28,788 ヘクタールの釧路湿原は、原生林に囲まれています。この湿原内では、700 種を超える種類の植物が生育しています。その多くは釧路湿原のみに生育しており、中には最終氷期から生き残っている種もあります。

沼地・湿原の植物

常に水気のある沼地には地下水が湧き、ヨシとスゲで覆われています。ミズゴケ湿原には、頻繁な降雨によって水が運ばれ、ハンノキ(学名: *Alnus japonica*)の森、高山植物、寒さに強い植物が生育しています。夏には、小型のオランダカイウのようなヒメカイウ(学名: *Calla palustris*)や、羽毛がついたようなミツガシワ(学名: *Menyanthes trifoliata*)の白い花が、湿地中に咲き誇ります。

泥炭の形成

寒冷で水気が多いため、枯れた植物は完全には分解されず、泥炭の層を形成します。釧路湿原内の泥炭は、およそ 6,000 年前に形成され始めました。時間の経過とともに、堆積層によって圧縮されて、この泥炭もついには石炭に変わることでしょう。このように、釧路地方の石炭の鉱床は、何千万年もかけて形成されたものです。それが現在まで採掘されています。

【タイトル】 イトウ

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**远东哲罗鱼**

远东哲罗鱼（学名：Parahucho perryi，日语：ito）是日本体型最大的淡水鱼品种。这种鱼曾栖息于日本东北地区的北部（本州北部），但其数量正在减少，目前在日本境内，只能于北海道见到其踪迹。

宝贵的资源

北海道原住民阿伊努族捕捞远东哲罗鱼食用，并用它坚韧的表皮来制作鞋履。过去 40 年，由于过度捕捞和栖息地减少，这种鱼的数量不断减少，已被列为极度濒危物种。

长寿鱼

远东哲罗鱼可存活长达 20 年。大多数鲑鱼在一生中只产卵一次，但远东哲罗鱼在一生中会多次产卵。成年鱼通常是柔和的棕色，带有细小的斑点，但在产卵季节，雄鱼会呈现出些许红色。

成熟的远东哲罗鱼通常长约 1 米，已知最大的一条捕获于北海道，创下 2.1 米的身长纪录。这种鱼高居钏路湿地食物链的顶端。幼年远东哲罗鱼主要以水栖昆虫为食，成年后则会捕食水中更大型的动物，包括其他鱼类、青蛙、老鼠和蛇。

<繁体字>**遠東哲羅魚**

遠東哲羅魚（學名：Parahucho perryi，日語發音：ito）是日本體型最大的淡水魚物種，曾棲息於日本東北地區的北部（本州北部），但族群數量正在減少，目前日本境內只有北海道能見到牠的蹤跡。

寶貴的資源

北海道原住民愛努族昔日捕撈遠東哲羅魚為食，並使用牠堅韌的魚皮製作鞋履。過去 40 年來，由於過度捕撈和棲息地消失，遠東哲羅魚的族群數量不斷減少，已被列為極度瀕危物種。

長壽魚

遠東哲羅魚的壽命可達 20 年。大多數鮭魚一生中只會產卵一次，但遠東哲羅魚則會多次產卵，到了成熟時，牠們通常呈現柔和的棕色，帶有細小的斑點，但在產卵季節，雄魚會透出些許紅色。

成熟的遠東哲羅魚通常約 1 公尺長，在北海道則捕獲過已知最大的遠東哲羅魚，當時創下身長 2.1 公尺的紀錄。此外，遠東哲羅魚位居釧路濕地食物鏈的頂端，幼年時主要以水棲昆蟲為食，成熟後則會捕食水中更大型的動物，包括其他魚類、青蛙、老鼠和蛇。

<日本語仮訳>

イトウ

イトウ(学名:Parahucho perryi)は、日本の淡水魚では最大の種です。イトウは、かつては東北地方北部にも生息していました。しかし、その数は減少しており、現在日本国内では北海道でのみ見られます。

貴重な資源

北海道の先住民であるアイヌは、イトウを獲って食料にし、その丈夫な皮を使って履物を作りました。この 40 年間、イトウの数は、乱獲および生息地が失われたことで徐々に減っており、絶滅寸前だと考えられています。

長命な魚

イトウは、最大で 20 年ほど生きることができます。イトウは、死ぬ前に 1 回だけ産卵するほとんどのサケ科の魚と異なり、一生のうちに何回か産卵します。イトウの成魚は、通常、落ち着いた茶色に細かな斑点がある姿ですが、産卵期のオスは朱色になります。

イトウの成魚は体長 1m ほどに達するのが一般的ですが、知られている最大の例としては、北海道で 2.1m のものが捕獲されたという記録があります。イトウは、釧路湿原の食物連鎖の頂点にいます。若いイトウは主に水生昆虫を食べますが、成魚になると、他の魚、カエル、ネズミ、ヘビなど、より大きな動物を周りで見つけて食料にします。

【タイトル】 ヤチボウズ

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**谷地坊主莎草垛**

釧路湿地的沼泽里生长着许多莎草团或莎草垛，又称谷地坊主，看起来就像地上长出留着长发的脑袋。莎草在生长过程中，老的叶子会枯萎，新的绿叶会从草垛顶部长出，长出的莎草层层叠叠，就像头发一样从顶部垂下。

莎草惊人的高度，是较厚的季节性结霜与湿地上覆盖的一层薄雪共同作用的结果。冬季地面冻结，莎草根只得向上生长。春季冰雪消融，冲刷侵蚀掉草垛旁的土壤，使得根部更为明显，看起来也更高。经过约 40 年的冰冻与侵蚀，一些草垛的高度甚至能达到 40 到 50 厘米。

谷地坊主草垛生长在釧路湿地，以及附近气候相近的雾多布湿地。

<繁体字>**谷地坊主**

釧路濕地的沼澤遍布名為「谷地坊主」的植物（一種蘆草叢或蘆草簇，日文「坊主」則是和尚的意思），外觀看似地上長出腦袋，留著一頭長髮。隨著谷地坊主逐漸生長，老的葉子枯萎，新的綠葉會從草叢頂部長出，長出的蘆草層層疊疊，就如頭髮般從頂部垂下。

谷地坊主之所以擁有驚人的高度，背後原因則是濕地上季節性的結霜較厚，覆蓋的雪層較薄所造成的「凍脹現象」：寒冷的冬季期間，由於土壤中凍結，谷地坊主根部只能向上生長，直到春季冰雪消融，融化的雪水沖刷掉草叢旁的土壤，根部因此暴露在外，更讓它們看來高度驚人。經過如此約 40 年的地面凍結與沖刷，有些谷地坊主的高度甚至能達 40 到 50 公分。

谷地坊主（蘆草簇）生長在釧路濕地，以及附近有著相近微氣候（註：小範圍內的獨特天候狀況）的霧多布濕地。

<日本語仮訳>

ヤチボウズ

釧路湿原の沼地には、ヤチボウズと呼ばれるスゲの茂みが点在しています。ヤチボウズは、まるで長い髪を生やした頭が地面から突き出ているように見えます。スゲが伸びると、古い葉は枯れ、とがった緑の新しい葉が茂みの上に出てきます。これによりスゲの葉の各層ができ、それが髪の毛のように側面に垂れ下がります。

ヤチボウズの驚くべき高さは、厚い霜が降り雪はあまり積もらないという湿原の条件の組み合わせによって生じます。寒い冬の間には、地面が凍るため、これらの茂みの根が持ち上げられます。春には、雪解け水が茂みの周りの土を洗い流すことで根がさらに露わになり、茂みがより高く見えるようになります。地面が凍り、周りの土が洗い流される、というのが40年ほど続くと、茂みの中には、40～50cmの高さに達するものも出てきます。

ヤチボウズは、釧路湿原と、近くにある霧多布湿原(釧路湿原の微気候と似ています)で見られます。

【タイトル】 寒さに強い昆虫と氷期の生き残り

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

适应凉爽气候的昆虫与冰河期的幸存者

釧路湿地的气候在过去 6000 年几乎没有变化，为许多适应凉爽气候的昆虫品种提供了理想的生长环境。湿地上生活着上千种昆虫；其中一些品种从未次冰期存活至今，另一些则是在距今更近的时期迁徙至该地区。

气候变化的影响

釧路的许多昆虫曾经栖息于北海道更广阔的范围内。随着岛上许多地区的气温升高，这些昆虫迁徙到釧路每年平均温度仅 6.7°C 的凉爽湿地。它们的迁徙模式体现了地球气候和生物多样性的变化。

冰河期的幸存者

釧路湿地的一些昆虫亚种自末次冰期以来就一直生活在该地区，包括极北蜓（学名：Aeshna subarctica）。它们与欧洲和欧亚大陆上的亚种几乎完全相同。

受保护物种

湿地上有一些作为日本天然纪念物受到保护的濒危昆虫，包括拥有独特白色面部的居间白颜蜻（学名：Leucorrhinia intermedia ijimai）和赤目丝豆娘（学名：Erythromma humerale）。虽然该地区的大部分区域因为太寒冷而不适合斑透翅蝉（学名：Hyalessa maculaticollis）生存，但这种生物依靠屈斜路湖中和琴半岛的地热，在半岛上茁壮生长。和琴半岛也是日本最北的斑透翅蝉栖息地。

<繁体字>

寒冷氣候中的昆蟲與冰河期的倖存者

釧路濕地的氣候在過去 6,000 年間幾乎沒有變化，對於許多適應寒冷氣候的昆蟲物種來說，正是牠們理想的生長環境。濕地上棲息著 1,000 多種昆蟲，其中一些種類從最後一次冰河期存活至今，另一些則在距今更近的時期遷徙至此地區。

氣候變化的影響

如今在釧路地區的許多昆蟲，過去棲息於北海道其他更廣闊的地區，不過隨著那些地區氣溫升高，於是牠們遷徙到釧路的寒冷濕地。上述如此遷徙模式，也體現在地球氣候和生物多樣性的持續變化上。根據日本氣象廳 1991 年至 2020 年的統計，釧路的年均溫僅攝氏 6.7 度。

冰河期的倖存者

自從最後一次冰河期以來，釧路濕地的一些昆蟲亞種一直生活在該區，其中包括極北蜓（學名：Aeshna subarctica），牠們與在歐洲和歐亞大陸發現的亞種幾乎完全相同。

受保護的物種

釧路濕原中有許多瀕危昆蟲被列為日本天然紀念物，進而受到保護，包括面部擁有獨特白色的居間白顏蜻（學名：Leucorrhinia intermedia ijimai），以及赤目糸豆娘（學名：Erythromma humerale）都居住在這片濕地上。此外，雖然此區大部分的地方因為過於寒冷，不適合斑透翅蟬（學名：Hyalessa maculaticollis）生存，但牠藉著屈斜路湖中的和琴半島地熱，得以在半島上繁殖生長。不僅如此，和琴半島也是日本最北的斑透翅蟬棲息地。

<日本語仮訳>

寒さに強い昆虫と氷期の生き残り

釧路湿原の気候は、この 6,000 年の間ほとんど変わっておらず、寒さに強い多くの種の昆虫が生息しています。この湿原には、1,000 を超える種類の昆虫が暮らしています。最終氷期の生き残りもいれば、もっと後になってからこの地域に入ってきた種もいます。

気候変動の影響

釧路地方の昆虫の多くは、かつては北海道内のはるかに広い地域に生息していました。これらの昆虫は、北海道の多くの地域で気温が上昇したため、釧路の涼しい湿原に移ってきたのです。釧路の年平均気温は 6.7 度です。これらの移動の趨勢は、地球の気候と生物多様性がいかに変わりつつあるかを示しています。

氷期の生き残り

釧路湿原にいる昆虫の亜種の中には、イジマルリボシヤンマ(学名:Aeshna subarctica)など、最終氷期からこの地域に住んでいるものがあります。これらの亜種は、欧州やユーラシア大陸で見られる亜種とほぼ同じものです。

保護種

釧路湿原は、日本の天然記念物として保護されている絶滅危惧種の昆虫のすみかです。これらの昆虫には、特徴的な白い顔をしたエゾカオジロトンボ(学名:*Leucorrhinia intermedia ijimai*)や、アカメイトトンボ(学名:*Erythromma humerale*)などがあります。この地域のほとんどは、ミンミンゼミ(学名:*Hyalessa maculaticollis*)が住むには寒すぎるのですが、屈斜路湖の和琴半島は地熱によって暖かいため、ミンミンゼミが繁殖しています。和琴半島は、日本で一番北にあるミンミンゼミの生息地です。

【タイトル】 寒さに強い植物と氷期の生き残り

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

耐寒植物和冰川期的幸存者

在釧路发现的部分植物，是在最后一个冰川期从欧亚大陆传播至北海道的。其中许多植物通常生长在高山地区，之所以也能在釧路湿地繁衍，是因为这里的气候比较凉爽，而且夏季经常有浓雾笼罩。

湿地上的花朵

每年夏季，湿地到处点缀着娇俏的紫色花朵，这种花名为釧路花葱（学名：Polemoniaceae），属于福祿考属。这种植物由其原来生长在北边的库页岛的亚种演变而成，很可能是在冰川期传入北海道的。

草甸碎米荠（学名：Cardamine pratensis）在北海道东边的湿地中茁壮成长。这种花还生长在欧亚大陆和北美洲部分地区，这也意味着这个物种可能也是在最后一个冰川期来到北海道。

神奇的毬藻

毬藻（学名：Aegagropila linnaei）是一种淡水藻类植物，外形为球状，极为罕见。水流可能导致这种丝状藻类长成球形，其直径可达30厘米。这种丝状藻类生长在釧路湿地外围的Shirarutoro湖和塘路湖，但球形的毬藻只生长在釧路的阿寒湖。

<繁体字>

耐寒植物和冰河期的倖存者

在釧路發現的部分植物品種，是在最後一個冰河期時從歐亞大陸傳播至北海道，其中許多植物通常生長在高山地區，之所以也能在釧路濕地繁衍，是因這裡氣候比較涼爽，而且夏季常有濃霧籠罩。

濕地中的花朵

毎年夏季、濕地四處點綴著嬌俏的紫色花朵，這種美麗的花朵名為釧路花忍（學名：Polemoniaceae），屬於福祿考屬。這類植物由其原本生長在北邊庫頁島的亞種演變而成，很可能也在冰河期傳入北海道。

草甸碎米薺（學名：Cardamine pratensis）在北海道東邊的濕地中茁壯成長。在歐亞大陸和北美洲部分地區，也發現草甸碎米薺的身影，表示這個物種應該也於最後一個冰河期來到北海道。

神秘的毬藻

毬藻（學名：Aegagropila linnaei）是一種生長在淡水的藻類植物，形狀為球形，較為罕見。在水流的影響下，這種絲狀藻類演變成了球形，直徑可達 30 公分。絲狀藻類分布於釧路濕地外圍的 Shirarutoro 湖和塘路湖，至於球形的毬藻僅在北釧路的阿寒湖可見。

<日本語仮訳>

寒さに強い植物と氷期の生き残り

釧路で見られる植物種の中には、最終氷期の寒冷期にユーラシア大陸から北海道に広がったものがあります。これらの種の多くは、通常は山岳地域で見られるものですが、釧路湿原では生き残っています。釧路湿原の涼しい気候と、夏には頻繁に霧に覆われることがその理由です。

湿原の花々

夏の間、釧路湿原には、クシロハナシノブ(学名:Polemoniaceae)の可憐な紫の花があちこちに咲きます。クシロハナシノブは、フロックスの仲間です。クシロハナシノブは、北海道の北の樺太島で生育する亜種の変種です。北海道には氷期の間広がった可能性が高いとされています。

ハナタネツケバナ(学名:Cardamine pratensis)は、北海道東部の湿原に繁茂しています。この植物は、ユーラシア大陸と北米の一部でも見られます。これから示唆されるのは、ハナタケツネバナも最終氷期の間北海道にやって来たということです。

神秘的なマリモ

マリモは、淡水藻の一種(学名:Aegagropila linnaei)が稀少な球状に成長したものです。これらの糸状の藻は、水の動きによって球状に成長することがあり、直径 30cm の大きさにまで達することもあります。糸状の藻は釧路湿原の周辺部にあるシラルト湖や塘路湖に生息していますが、球状のマリモは釧路北部の阿寒湖のみで見られます。

【タイトル】 キタサンショウウオ：生き残りの達人

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

极北鲵：求生专家

极北鲵（学名：Salamandrella keyserlingii）对温度具有不同寻常的适应力，可在低至零下 40°C 的低温下生存。它们在冬天冬眠，以冰冻状态渡过严冬，然后在春天解冻，恢复生机。这种两栖动物遍布俄罗斯北部，从西部的乌拉尔山脉到远东的堪察加半岛都是它们的栖息地。但在日本，极北鲵只在钏路湿地附近出没。它们可能是在末次冰期通过库页岛从欧亚大陆迁徙至北海道。

<繁体字>

極北鮭：求生專家

極北鮭（學名：Salamandrella keyserlingii）對溫度有非常好的適應力，可在冷至零下 40°C 的低溫下生存，牠們會冬眠，以冰凍狀態渡過嚴冬，然後在春季重返溫暖大地。極北鮭遍布俄羅斯北部，從西部的烏拉山脈，遠至極東的堪察加半島都是牠們的棲息地，但在日本，只有釧路濕地能發現這種兩棲動物的蹤跡。極北鮭可能是在最後一次冰河期從歐亞大陸出發，經由庫頁島遷徙至北海道。

<日本語仮訳>

キタサンショウウオ：生き残りの達人

キタサンショウウオ(学名:Salamandrella keyserlingii)は、零下 40 度もの低温に適応できるという点で注目に値します。このサンショウウオは、冬には凍った状態で冬眠して生き抜き、春に起きてきます。この両生類は、西はウラル山脈から極東のカムチャッカ半島までのロシア北部に見られます。しかし、日本では、キタサンショウウオは釧路湿原一帯でのみ見られます。このサンショウウオは、最終氷期間にユーラシア大陸から樺太島を通過して北海道に渡ってきた可能性が高いとされています。

【タイトル】 釧路湿原総合調査

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

研究湿地

通过定期调查，人们不断了解栖息于钏路湿地的昆虫的生活习性。钏路市博物馆的工作人员、野生动植物专家，以及当地学童每隔四年都会共同前往湿地调研，可见湿地对当地社区的重要性。

自 1971 年调查首次举办起，参与者已经找到 1150 种昆虫，包括 46 种蜻蜓和 84 种蝴蝶，其中许多都在博物馆中展出。依据《拉姆萨尔公约》（旨在保护湿地的国际公约），钏路湿地被列为湿地保护区，上述研究在其中也发挥了一定作用。钏路湿地是钏路湿地国立公园的一部分。

<繁体字>

濕地研究

透過定期進行的調查，人們對棲息在釧路濕地昆蟲的生活習性，有了更深的認識。釧路市立博物館的工作人員、野生動植物專家，以及當地學童每隔四年會一起投入濕地調查活動，可見其在地區上的重要性。

1971 年首次舉辦調查起，參與者已發現 1,150 種昆蟲，包括 46 種蜻蜓和 84 種蝴蝶，其中許多類群都在博物館中展出。《拉姆薩公約》（旨在保護濕地的國際公約）將釧路濕地列為濕地保護區，上述研究在其中也扮演著重要的角色。此外，釧路濕地亦屬於釧路濕地國家公園的一部分。

<日本語仮訳>

釧路湿原総合調査

定期的な調査により、釧路湿原に住む昆虫たちの生息環境に関する知見が得られます。4年ごとの調査活動には、釧路市立博物館の職員、野生生物の専門家および地元の子どもたちが参加します。このことは、地域にとっての釧路湿原の重要性を実証しています。

この調査が1971年に始まってから、参加者たちは1,150種の昆虫を見つけました。この数には46種のトンボと84種のチョウが含まれており、その多くが博物館に展示されています。この調査は、ラムサール条約(Ramsar Convention)による保全地区として指定された地域において役割を果たしました。ラムサール条約とは、湿地の保存のための国際条約です。釧路湿原は、釧路湿原国立公園の一部です。

【タイトル】 スズメバチとその巣

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

大黄蜂及其蜂巢

大黄蜂在控制昆虫种群数量方面发挥着重要作用。釧路有多种大黄蜂，包括世界上体型最大的大黄蜂之一日本大黄蜂（学名：Vespa mandarinia japonica）。此外，该地区还有毛深雀蜂（学名：Vespa simillima simillima）和细黄胡蜂（学名：Vespula flaviceps）等其他种类。

筑巢

湿地中有丰富的筑巢材料，例如朽木、树皮和枯草。不同种类的大黄蜂会使用不同的材料筑巢，但搭建过程都很类似。蜂后从冬眠中醒来后，会用咀嚼成浆的材料搭建几个六边形蜂窝，然后开始产卵。产出的卵孵化成工蜂，负责为扩建蜂巢收集材料，并搭建更多蜂窝。随着工蜂越来越多，蜂巢也会像气球一样逐渐向外扩大。与蜜蜂不同的是，大黄蜂不会在蜂巢中储存蜂蜜。

<繁体字>

大黄蜂及其蜂巢

大黄蜂在控制昆虫族群数量上扮演著重要的角色。釧路有數種大黄蜂，包括日本大黄蜂（學名：Vespa mandarinia japonica）這種世界上體型最大的大黄蜂。該區的其他品種還有毛深雀蜂（學名：Vespa simillima simillima）和細黃胡蜂（學名：Vespula flaviceps）。

築巢

濕地中有豐富的築巢材料，例如朽木、樹皮和枯草。不同種類的大黃蜂會使用不同材料築巢，但過程都很類似。女王蜂從冬眠醒來之後，會用咀嚼成漿的材料修築幾個六邊形的蜂巢，然後開始產卵。產出的卵孵化成為工蜂，這些工蜂負責收集擴建蜂巢所需的材料，然後築出更多蜂巢。隨著工蜂越來越多，蜂巢也會像氣球般逐漸向外擴大。與蜜蜂不同的是，大黃蜂並不會在蜂巢中儲存蜂蜜。

<日本語仮訳>

スズメバチとその巣

スズメバチは、昆虫の数の調整について、重要な役割を果たしています。釧路には、数種類のスズメバチがいます。その 1 つが、世界最大級のスズメバチであるオオスズメバチの亜種(学名: *Vespa mandarinia japonica*)です。その他、この地域には、ケブカスズメバチ(学名: *Vespa simillima simillima*)やクロスズメバチ(学名: *Vespula flaviceps*)などの種がいます。

巣作り

釧路湿原には、朽ちている木、樹皮、枯草といった巣の材料が豊富にあります。スズメバチの異なる種は、異なる材料を使って巣を作りますが、巣作りの過程は似ています。女王蜂は、冬眠から覚めると、噛んで繊維にした材料から六角形の巣穴をいくつか作り、卵を生みます。卵から孵った働き蜂は、巣を大きくするために材料を集め、巣穴を増やします。働き蜂の数が増えると、巣は風船のように徐々に外側に広がっていきます。スズメバチは、ミツバチと違って、巣の中に蜂蜜を貯めることはしません。

【タイトル】 釧路の昆虫

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**釧路の昆虫**

釧路湿地里栖息着 1000 多种昆虫。许多昆虫卵和蛹安静地度冬，到了来年 4 月下旬则会破卵而出或再次现身。4 月至 11 月间气候相对温暖，是观察这片区域内昆虫的最佳时节。

理想的繁殖环境

沼泽内的水和植被为许多不同种类的昆虫提供了食物来源和栖息地，让它们得以在此繁衍生息。极北蜓（学名：Aeshna subarctica）等昆虫会在木本沼泽和雨养泥炭沼泽池塘边缘的苔藓与莎草中产卵，如此它们的幼虫便可以其中的水生昆虫为食。其他种类的昆虫则会栖息于地势更高之处，例如日本栎翠灰蝶（学名：Neozephyrus japonicus）。这种昆虫会在栎木（学名：Alnus japonica）的叶芽下产卵，以便幼虫获得庇护和食物。

夏日之声

夏季的几个里，可以在釧路湿地周围听到不同昆虫的声音。每年 5 月下旬，虾夷春蝉（学名：Terpnosia nigricosta）开始鸣唱，到了 7 月下旬，小虾夷蝉（学名：Lyristes bihamatus）也会加入合唱。夏日接近尾声时，湿地附近的草场满是乌苏里鸣螽（学名：Gampsocleis ussuriensis）的鸣叫声。

一生的工作

饭岛一雄(1928-2016)是研究北海道东部昆虫的专家，他收集了大量昆虫标本，而釧路市立博物馆中展出的昆虫标本只是他收藏中的一小部分。饭岛一雄毕生的大部分时间都在收集分类该地区的昆虫。

<繁体字>**釧路の昆虫**

釧路濕地棲息著逾千種昆蟲，許多昆蟲的卵和蛹安靜地度冬，到了隔年 4 月下旬才會破卵而出或再次現身，加上 4 月至 11 月間氣候相對溫暖，成為觀察這片區域內昆蟲的最佳時機。

理想的繁殖環境

沼澤內的水和植被，提供許多種類昆蟲的食物來源和棲息地，牠們因而在此繁衍生息。極北蜓（學名：*Aeshna subarctica*）等昆蟲會在樹沼、酸沼池邊的苔蘚與蘆草中產卵，牠們的幼蟲便能以其中的水生昆蟲為食。其他種類的昆蟲則會棲息於地勢更高之處，例如日本橙翠灰蝶（學名：*Neozephyrus japonicus*），牠們會在日本榿木（學名：*Alnus japonica*）的葉芽下產卵，以便幼蟲獲得庇護和食物。

夏日之聲

在夏季中，釧路濕地周圍傳來不同昆蟲的聲音。每年 5 月下旬，蝦夷春蟬（學名：*Terpnosia nigricosta*）開始鳴唱，接著是 7 月下旬的小蝦夷蟬（學名：*Lyristes bihamatus*），夏日接近尾聲時，濕地附近的草原滿是烏蘇里蠧蟲（學名：*Gampsocleis ussuriensis*）的叫聲。

畢生事業

飯島一雄（西元 1928 年–2016 年）是研究北海道東部昆蟲的專家，釧路市立博物館中所展出的昆蟲標本，只是他大量收藏的其中一部分。回顧飯島一雄人生的大半時間，都在採集與分類該地區的昆蟲。

<日本語仮訳>

釧路の昆虫

釧路湿原には、1,000 を超える種類の昆虫が生息しています。多くの昆虫の卵と蛹はじっと冬を過ごした後、4 月下旬には卵から孵り、姿を変えて現れます。この地域の昆虫を見るには、相対的に暖かい 4～11 月が最適です。

理想的な生育環境

湿原の水と植生は、多くの種の昆虫に食料と住みかを提供します。イジマルリボシヤンマ(学名:*Aeshna subarctica*)など、いくつかの種は、沼や池の岸にあるコケやスゲの上に卵を生みます。すると、幼虫は沼や池の水生昆虫を食料にできます。ミドリシジミ(学名:*Neozephyrus japonicus*)のように、より高いところに生息する昆虫もいます。ミドリシジミは、ハンノキ(学名:*Alnus japonica*)の葉の芽の下に卵を生みます。ハンノキが、住みかと食料を提供してくれます。

夏の音

夏の間、釧路湿原では、様々な種の昆虫の鳴き声を聴くことができます。エゾハルゼミ(学名:Terpnosia nigricosta)が5月下旬に鳴きはじめ、ついで7月下旬にコエゾゼミ(学名:Lyristes bihamatus)が鳴きはじめます。夏の終わりには、ハネナガキリギリス(学名:Gampsocleis ussuriensis)の鳴き声が湿原を満たします。

一生の仕事

釧路市立博物館に展示されている昆虫標本は、北海道東部の昆虫の専門家である飯島一雄(1928～2016年)氏が収集したものの一部であり、飯島氏ははるかに多くの昆虫標本を作成しました。彼は、人生の多くをかけて、この地域の昆虫を収集し分類したのです。

【タイトル】 エゾシカ

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**虾夷鹿**

虾夷鹿（学名：Cervus nippon yesoensis）是梅花鹿的亚种，仅出没于北海道地区。虾夷的日语“yezo”（有时也作“ezo”）即指北海道，岛屿上许多特有动物的名字里都含有该词。

阿伊努族传统上捕猎虾夷鹿为食，但在明治时代(1868-1912)，本州移民的猎杀一度导致这种动物濒临灭绝。这些移民还会猎杀鹿的天敌——北海道狼（学名：Canis lupus hattai），导致北海道狼于 1889 年在北海道灭绝。

平衡共生

由于天敌不多、冬季气候转暖，并且当地农场提供充足的食物来源，虾夷鹿的数量开始回升。20 世纪 80 年代以来，虾夷鹿的数量飞速增长。遗憾的是，虾夷鹿具有破坏性，它们会以小型植物为食，还会剥去树皮，对生态系统造成了负面影响。因此，社区正在采取一系列措施来管理虾夷鹿的数量，例如使用趋避剂、设置栅栏和选择性宰杀等。

<繁体字>**蝦夷鹿**

蝦夷鹿（學名：Cervus nippon yesoensis）是梅花鹿的亞種，僅在北海道地區出沒。蝦夷（日語發音：「yezo」，有時也作「ezo」）指的便是北海道，因此北海道許多特有種動物的名字中都有蝦夷一詞。

愛努族有捕獵蝦夷鹿為食的傳統，但在明治時代（西元 1868 年–1912 年）時，由於本州移民的獵殺，導致上述鹿種一度瀕臨滅絕。此外，本州移民也會獵殺鹿的天敵北海道狼（學名：Canis lupus hattai），導致牠們於西元 1889 年在北海道滅絕。

平衡共生

從 1980 年代以來，蝦夷鹿的數量開始回升，並且快速增長，那是由於天敵不多、冬季氣候轉暖，加上當地農場提供充足食物來源。只是另一方面，蝦夷鹿其實有害，因為牠們以小型植物為食，還會剝去樹皮，對生態系統造成負面影響。於是地區居民採取一系列管理蝦夷鹿數量的措施，例如使用驅避劑、設置柵欄和選擇性宰殺等。

<日本語仮訳>

エゾシカ

エゾシカ(学名:Cervus nippon yesoensis)は、ニホンジカの亜種であり、北海道のみで見られます。「エゾ」という語は、北海道を意味します。北海道に固有である多くの動物の名称に、「エゾ」という語が入っています。

アイヌの人々は、伝統的に、エゾシカを食料として獲っていました。しかし、明治時代(1868～1912 年)の間に、本土からの植民者がエゾシカをほぼ絶滅に至るまで獲りつくしてしまいました。また、植民者たちは、エゾシカ为天敵であるエゾオオカミ(学名:Canis lupus hattai)も獲りつくし、北海道では 1889 年に絶滅に至りました。

つり合いをとって生きる

捕食者がいなくなり、冬が穏やかになり、地元の農場から豊富な食料が得られるようになったため、エゾシカの数は回復し、1980 年代以降、その数は急増しました。残念ながら、エゾシカは有害です。エゾシカは小さな植物を食べ、樹皮を剥がしてしまうため、生態系に影響を与えます。その結果、地域の人々は、エゾシカの数を管理するために、忌避剤、柵、駆除などの手段を使っています。

【タイトル】 ヒグマ

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**棕熊**

棕熊（学名：Ursus arctos）是世界上最大的熊类之一，体型仅次于北极熊。棕熊足迹遍布欧亚大陆、北美（在那里被称为灰熊）和北海道。北海道最庞大的棕熊种群位于钏路东北方向的知床。

凡间的山神

阿伊努族原住民认为棕熊是山神（阿伊努语为“kimun kamuy”）的化身。他们认为棕熊的毛皮和肉是山神赐予的礼物，因此有猎杀棕熊以获得毛皮和熊肉的传统。阿伊努族人会在杀死棕熊时举行仪式，以将棕熊的灵魂送回神界。

多样化的饮食

棕熊是杂食性动物。它们会以鲑鱼、鳟鱼、小型哺乳动物为食，偶尔也会猎食虾夷鹿，并享用橡子、蜂斗菜茎等植物和水果。棕熊整个冬季都会在洞穴中冬眠，到了来年 4 月或 5 月左右，才会从洞穴中现身。虽然棕熊和人类通常能够和平共处，但有时会出现棕熊袭击人类的报道，徒步旅行者在森林地区应多加小心。

<繁体字>**棕熊**

棕熊（學名：Ursus arctos）是世界上最大的熊類之一，體型僅次於北極熊，牠們遍佈於歐亞大陸、北美洲（在那裡被稱作灰熊）和北海道；尤其是位於釧路東北部的知床，擁有北海道最龐大的棕熊族群。

凡間的山神

愛努族原住民認為棕熊是山神（愛努語發音為「kimun kamuy」）的化身，他們有獵殺棕熊的傳統，並認為熊肉與毛皮是山神賜予的禮物。棕熊死後，愛努族人會舉行儀式，將牠們的靈魂送回神界。

多様飲食

棕熊是雜食性動物，牠們以鮭魚、鱒魚、小型哺乳動物為食，偶爾也會捕獵蝦夷鹿，並享用橡實、蜂斗菜莖等植物和水果。整個冬季，棕熊都會在洞穴中冬眠，到了隔年春季的 4 月或 5 月左右，才會再出來現身。雖然棕熊和人類通常能和平共處，但有時會傳出熊襲擊人的事件，因此徒步健行者在森林地區應多加小心。

<日本語仮訳>

ヒグマ

ヒグマ(学名:Ursus arctos)は、世界最大級のクマであり、ホッキョクグマに次いで 2 番目に大きな種です。ヒグマは、ユーラシア大陸、北米(北米ではグリズリーベアと呼ばれます)および北海道に見られます。北海道でヒグマの数が最も多いのは、釧路の北東にある知床です。

生ける神

先住民であるアイヌの人々は、クマを山の神(アイヌ語でキムンカムイ)だと考えています。伝統的に、クマは毛皮と肉のために獲られており、毛皮と肉は山の神からの贈り物だと考えられていました。クマを殺す際、アイヌの人々は、クマの魂を神の世界に帰す儀式を行っていました。

多様な食生活

ヒグマは雑食です。ヒグマの餌には、サケやマス、小型哺乳類、そして時にはエゾシカが含まれます。また、どんぐり、ふき、果物などの植物も食べます。ヒグマは、冬の間は洞穴で冬眠し、春(4~5 月頃)にそこから起きてきます。ヒグマと人間は、通常は平和に共存していますが、ヒグマによる攻撃も時には報告されており、森を歩く際には注意すべきです。

【タイトル】 釧路地域で絶滅が危惧される鳥類

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

釧路地区瀕危の鳥類

釧路及其周围地区是许多稀有瀕危动物的家园。该区域有七种瀕危鸟类一直作为日本的天然纪念物而受到保护。其中有些是终年生活在这片地区的留鸟，还有些则是每年迁徙至此的候鸟。

留鸟

丹顶鹤（学名：Grus japonensis，日语：tancho）、黑啄木鸟（学名：Dryocopus martius）和毛腿渔鸮（学名：Ketupa blakistoni）是釧路的原生物种，且均为留鸟，终年居住在此区域。毛腿渔鸮是世界上最大的猫头鹰之一，凭借敏锐的视力和有力的爪子在河流和小溪中捕鱼。人们可在北海道的中部和东部，以及北海道北部的库页岛和千岛群岛发现它们的身影。在阿伊努族的文化中，毛腿渔鸮一直被尊奉为神灵和村庄保护者。

来访贵宾

虎头海雕（学名：Haliaeetus pelagicus）是一种候鸟，每年冬季会从俄罗斯东部迁徙至此。游客可在海岸见证它们捕猎太平洋鳕的场景。黑雁（学名：Branta bernicla）和豆雁（学名：Anser fabalis）同属这片区域的候鸟，它们会在每年春季和秋季造访此地区。有些白尾海雕（学名：Branta bernicla）会在每年冬季迁徙至釧路地区，其他白尾海雕则会终年居住在此地。

<繁体字>

釧路地區瀕危的鳥類

釧路及其周圍地區是許多稀有瀕危動物的家園，區域中有 7 種瀕危鳥類被認為日本的天然紀念物，因而受到保護，其中有些是終年生活在這的留鳥，有些則是每年遷徙至此的候鳥。

留鳥

丹頂鶴（學名：Grus japonensis、日語：tancho）、黒啄木鳥（學名：Dryocopus martius）及毛腿漁鴉（學名：Ketupa blakistoni）是釧路的原生物種，而且均為留鳥，終年居住在此區域。毛腿漁鴉則是世界上最大的貓頭鷹之一，透過敏銳的視力和強勁的爪子，在河流和小溪中捕魚；人們可在北海道的中部和東部，以及北海道北部庫頁島、千島群島發現牠的身影。在愛努族文化中，毛腿漁鴉一直被尊奉為神明及村莊的保護者。

貴賓來訪

虎頭海鵬（學名：Haliaeetus pelagicus）是一種候鳥，每年冬季會從俄羅斯東部遷徙至此，遊客可在海岸目睹牠們捕獵大頭鱈的模樣。黑雁（學名：Branta bernicla）和寒林豆雁（學名：Anser fabalis）也同屬候鳥，牠們會在每年春季和秋季造訪此區。此外，有些白尾海鵬（學名：Haliaeetus albicilla）在每年冬季遷徙至釧路地區，其他白尾海鵬則終年居住此地。

<日本語仮訳>

釧路地域で絶滅が危惧される鳥類

釧路とその周辺地域には、多くの希少動物や絶滅が危惧される動物が生息しています。この地域では、絶滅が危惧されている7種の鳥が、日本の天然記念物として保護されています。その中には、1年中この地域に定住する種もいれば、毎年この地域に渡ってくる種もいます。

定住種

タンチョウ(学名:Grus japonensis)、クマゲラ(学名:Dryocopus martius)、シマフクロウ(学名:Ketupa blakistoni)は、釧路の定住種です。つまり、年中この地域にいます。シマフクロウは、世界で最も大きなフクロウの1つです。このフクロウは、鋭い視力と強力な爪を使って、川や小川で魚を捕まえます。シマフクロウは、北海道の中部と東部に加えて、北海道の北にある樺太と千島列島でも見られます。アイヌ文化において、シマフクロウは、村の神であり守り手として崇められています。

大切な訪問者

オオワシ(学名:Haliaeetus pelagicus)は渡り鳥であり、冬の間ロシア東部からやって来ます。海岸では、マダラを狙うオオワシを見ることができます。コクガン(学名:Branta bernicla)とヒシクイ(学名:Anser fabalis)も渡り鳥であり、春と秋にこの地域を訪れます。オジロワシ(学名:Haliaeetus albicilla)の中には、冬の間釧路地方に渡ってくるものと、1年中ここにとどまるものがあります。

【タイトル】 鳥たちの適応方法

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**鸟类的适应之道**

北海道东部的环境丰富多样，其中包含湿地、草原、森林和多岩石的海岸，孕育着多种特有鸟类和候鸟。有些鸟类有着长腿和长喙，便于其在湿地和潮滩觅食，而另一些则有着宽大的翼展和锋利的爪子，可以轻松抓起小型哺乳动物和鱼类。

丹顶鹤（学名：Grus japonensis，日语：tancho）和苍鹭（学名：Ardea cinerea）在湿地中猎食，它们用长喙从水中抓取小鱼、两栖动物和哺乳动物。大天鹅（学名：Cygnus cygnus）则在钏路附近的湿地和湖泊找寻食物，用自己的蹼足挖取植物的根茎。毛腿渔鸮等掠食性鸟类有着有力的双腿和爪子，可以捕捉小型哺乳动物和鱼类。

<繁体字>**鳥類的適應之道**

北海道東部的環境豐富多樣，包含濕地，草原，森林和多岩石的海岸線，孕育出多種特有鳥類和候鳥。某些鳥類有著長腿和長喙，便於在濕地和潮埔地覓食，另一些則有寬大的翼展和利爪，可以輕鬆地抓起小型哺乳動物和魚類。

丹頂鶴（學名：Grus japonensis）和蒼鷺（學名：Ardea cinerea）在濕地獵食，牠們用長喙從水中抓取小魚、兩棲動物和哺乳動物。此外，大天鵝（學名：Cygnus cygnus）在釧路附近的濕地和湖泊尋找食物，並透過蹼足挖取植物的根。至於毛腿漁鸞等掠食性鳥類則有強勁的雙腿和爪子，利於捕捉小型哺乳動物和魚類。

<日本語仮訳>**鳥たちの適応方法**

北海道東部の環境は、湿原、草原、森林、そして岩がちな海岸線と多様です。この多様な環境がさまざまな固有の鳥類と渡り鳥を支えています。その中には、湿原や干潟で餌を狩るための長い脚と長いくちばしを持つものもいれば、小型哺乳類や魚をつかみ上げるための鋭い爪と広い翼を持つものもいます。

タンチョウ(学名:Grus japonensis)とアオサギ(学名:Ardea cinerea)は湿原で狩りをします。これらの種は、長いくちばしを使って、小型の魚、両生類、哺乳類を水から獲ります。オオハクチョウ(学名:Cygnus cygnus)は釧路周辺の湖と湿原で過ごし、水かきのついた足で植物の根を掘ります。シマフクロウなどの肉食の鳥は、小型哺乳類や魚をつかめる強力な脚と爪を持っています。

【タイトル】 トガリネズミ：日本で最小の哺乳類

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

姬鼯鼠：日本的小型哺乳动物

姬鼯鼠（学名：Sorex minutissimus hawkeri），又称东京鼯鼠，是世界上最小的哺乳动物之一。这种濒危物种从鼻子到尾巴全长仅 5 厘米，体重约为 2 克。它生活在釧路附近的草地和湿地中，以昆虫为食。

鼯鼠外表与老鼠相似，但与鼯鼠和刺猬亲缘关系更为接近。北海道有四种特有鼯鼠，姬鼯鼠便是其中之一。

一个简单的标签错误，造就了姬鼯鼠的别名“东京鼯鼠”。姬鼯鼠被发现于明治时代（1868–1912），那时鼯鼠的一份标本被标记为“Ezo”，意指“北海道”。然而，“Ezo”后来被误读为“Edo”，即东京的旧名“江户”，这个别名就这么保留了下来。

<繁体字>

姬鼯鼠：日本最小的哺乳動物

姬鼯鼠（學名：Sorex minutissimus hawkeri）又稱東京鼯鼠，是世界上最小的哺乳動物之一。姬鼯鼠屬於瀕危物種，從鼻子到尾巴全長僅 5 公分，體重約為 2 公克。牠生活在釧路附近的草原和濕地中，以昆蟲為食。

鼯鼠的外表雖與老鼠相似，但親緣關係與鼯鼠和刺蝟更為接近。北海道有四種特有的鼯鼠，姬鼯鼠便是其中之一。

姬鼯鼠之所以別名「東京鼯鼠」，緣於一個簡單的標籤錯誤，人們在明治時代（西元 1868 年–1912 年）時發現這種動物，那時姬鼯鼠的標本被標記為「Ezo」（意指「北海道」）。然而，「Ezo」後來被誤讀為「Edo」，即東京的舊名「江戶」，於是這別名就如此保留了下來。

<日本語仮訳>

トガリネズミ：日本で最小の哺乳類

トウキョウトガリネズミ(学名:*Sorex minutissimus hawkeri*)は、世界最小級の哺乳類です。この種は絶滅が危惧されており、鼻から尾までの長さはわずか 5cm、体重約 2g です。釧路周辺の草原と湿原に住んでおり、昆虫を食べています。

トガリネズミはネズミに似ていますが、モグラやハリネズミとの関係の方が深い種です。トウキョウトガリネズミは、北海道に固有のトガリネズミ 4 種の 1 つです。

「トウキョウトガリネズミ」という名前は、表示の単純な誤りから生じたものです。トウキョウトガリネズミが明治時代(1868～1912 年)に発見された際、その標本には北海道を意味する「Ezo」という表示がありました。しかし、「Ezo」が東京の旧名である「Edo」と後に誤読され、それが定着したのです。

【タイトル】 カニ類

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**螃蟹**

螃蟹是北海道最具代表性的海洋动物之一，对渔民来说也是利润丰厚的渔获。钏路有北海道东海岸最大的渔港，该渔港接收在北太平洋、鄂霍次克海、白令海和北海道东部沿岸海域捕获的螃蟹。

北海道帝王蟹（学名：Paralithodes camtschaticus），也叫阿拉斯加帝王蟹，是一种珍贵的冬季渔获物。它是世界上最大的螃蟹之一，蟹壳最宽可达 25 厘米，蟹腿最长将近 1 米。跟所有种类的帝王蟹一样，北海道帝王蟹和花咲蟹（即短足拟石蟹；学名：Paralithodes brevipes）包括蟹爪在内均有八条腿。帝王蟹并不是真正的螃蟹（真正的螃蟹有十条腿），它们与寄居蟹的血缘更为接近。花咲蟹是以其捕获地，即钏路东部根室半岛上的花咲村而命名。

每年秋季，渔民可在钏路和根室沿岸的海域捕获到北海道毛蟹（学名：Erimacrus isenbeckii）。北海道毛蟹有十条腿，这意味着它属于真正的螃蟹。它的名字来源于覆盖在蟹壳上的毛发状软刺。

<繁体字>**蟹類**

螃蟹是北海道最具代表性的海洋動物之一，對漁民來說也是具有豐厚收益的漁獲。釧路有北海道東岸最大的漁港，因此從北太平洋、鄂霍次克海、白令海，以及北海道東部沿岸海域捕獲的螃蟹，都會在那裡上岸。

鱈場蟹（學名：Paralithodes camtschaticus）也稱作阿拉斯加帝王蟹，是一種珍貴的冬季漁獲，牠是世界上最大的螃蟹之一，蟹殼最寬可達 25 公分，蟹腳最長將近 1 公尺。與所有種類的帝王蟹一樣，鱈場蟹和花咲蟹（即短足擬石蟹，學名：Paralithodes brevipes）包

括蟹螯在內共有 8 隻腳。不過帝王蟹並非真正的螃蟹（真正的螃蟹有十隻腳），牠們與寄居蟹的親緣關係更近。至於花咲蟹的名稱源自其捕獲地，即釧路東部根室半島上的花咲村。

每年秋季，漁民可在釧路和根室沿岸的海域捕獲到北海道毛蟹（學名：Erimacrus isenbeckii）。北海道毛蟹有 10 隻腳，意味著牠屬於真正的螃蟹，名稱則取自覆蓋在蟹殼上的毛髮狀軟刺。

<日本語仮訳>

カニ類

カニは、北海道を代表する海の生き物の 1 つであり、漁師にとって大きな収益となっています。釧路は、北海道東海岸で最大の漁港であり、北太平洋、オホーツク海、ベーリング海および北海道東部の近海からのカニが水揚げされています。

タラバガニ(学名:Paralithodes camtschaticus)は、冬の貴重な海産物です。このカニは、世界で最も大きなカニの 1 つです。その甲羅は最大 25cm になり、脚の長さはほぼ 1m に達する場合もあります。タラバガニとハナサキガニ(学名:Paralithodes brevipes)は、タラバガニ科のすべての種と同じく、はさみのある脚も含めて 8 本脚です。タラバガニは、本当のカニとは考えられておらず、ヤドカリとの関係がより深い種です。本当のカニには脚が 10 本あります。ハナサキガニは、釧路の東の根室半島にある花咲という町で水揚げされることにちなんで名づけられています。

ケガニ(学名:Erimacrus isenbeckii)は、秋に釧路と根室の沖で穫れます。ケガニには 10 本の脚があり、本当の意味でのカニです。ケガニという名前は、甲羅を覆う毛に似た柔らかいとげから来ています。

【タイトル】 釧路周辺の海獣類

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**釧路周围的海洋哺乳动物**

釧路周围的海洋孕育了许多海洋哺乳动物，最著名的有鲸鱼、海豹和北海狮（学名：Eumetopias jubatus）。港海豹（学名：Phoca vitulina）常年生活在北海道东部，它们会在多岩石的沿海地区繁殖，在那里躲避恶劣天气与捕食者。斑海豹（学名：Phoca largha）则会在浮冰上繁殖，每年夏季，它们会借助鄂霍次克海的浮冰抵达北海道。

北海狮会在冬季从鄂霍次克海迁徙至北海道。它们生活在亚北极海域，在海滩和岩礁上繁殖与休息，以多种鱼类为食，包括阿拉斯加鳕、鲭鱼、鲱鱼和太平洋鳕。北海狮一度因非法捕猎和栖息地丧失而濒临灭绝，但近年来它们的数量有所增加。

<繁体字>**釧路周圍的海洋哺乳動物**

釧路周圍的海洋孕育了許多海洋哺乳動物，最著名的有鯨魚、海豹和北海獅（學名：Eumetopias jubatus）。錢形海豹（學名：Phoca vitulina，又名港海豹）常年生活在北海道東部，牠們會在多岩石的沿海地區繁殖，藉此避開惡劣天氣與捕食者。斑海豹（學名：Phoca largha）則會在浮冰上繁殖，並在每年夏季透過浮冰從鄂霍次克海前往北海道。

至於北海獅，會在冬季時從鄂霍次克海遷徙至北海道，牠們生活在亞北極的海域，在海灘和岩礁上繁殖與歇息，並以多種魚類為食，包括阿拉斯加鱈、鯖魚、鮭魚和太平洋鱈。由於非法捕獵和棲息地消失，北海獅一度瀕臨滅絕，但近年來數量有所增加。

<日本語仮訳>**釧路周辺の海獣類**

釧路周辺の海には、多くの海獣類がいます。特に、クジラ、アザラシ、トド(学名: *Eumetopias jubatus*)といったものです。ゼニガタアザラシ(学名: *Phoca vitulina*)は、1年中北海道東部に生息し、天候と捕食者から守られた岩の多い海岸で繁殖します。ゴマフアザラシ(学名: *Phoca largha*)は、氷盤の上で繁殖し、オホーツク海からの流氷に乗って夏に北海道へやって来ます。

トドは、冬にオホーツク海から北海道に渡ってきます。トドは亜寒帯の海域に住み、砂浜と岩礁で繁殖し休息します。その食料は、スケトウダラ、サバ、ニシン、マダラなど、幅広い魚類です。一時期、トドは、密猟され、生息地が失われたことなどから、絶滅危惧種になりましたが、その数は近年増えてきています。

【タイトル】 サケ類

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**鲑鱼**

北海道以鲑鱼闻名于世。钏路周围常见的鲑鱼种类有三种：大马哈鱼（学名：Oncorhynchus keta）、粉红鲑（学名：O. gorbuscha）和马苏麻哈鱼（学名：O. masou）。

大马哈鱼是钏路周围海域主要的鲑鱼种类，因其大颗的橘黄色鱼卵而为人熟知。在大约四年的时间内，大马哈鱼会在鄂霍次克海、北太平洋和白令海一路迁徙并发育成熟，然后在死前返回家园产卵。每年9月至12月间，都会有超过10万条鲑鱼向钏路川上游迁徙。1876年以来，在繁殖计划的帮助下，鲑鱼数量维持在健康的水平。

粉红鲑栖息于太平洋和鄂霍次克海，是世界上数量最多的鲑鱼。在北海道，粉红鲑沿着从钏路到知床东海岸的河流产卵。每逢产卵季，雄鲑鱼背部会隆起，牙齿会变大，有利于在争夺雌鲑鱼释放的卵子时击败对手，使卵子受精。

马苏麻哈鱼一生中有一半的时间生活在河流中，另一半的时间生活在海洋中，它们在死前还会返回之前生活过的河流中产卵。马苏麻哈鱼分布范围有限，成熟后便会留在日本北部的沿岸海域。

<繁体字>**鮭魚**

北海道的鮭魚舉世聞名。釧路周圍常見的鮭魚種類有三種：鉤吻鮭（學名：Oncorhynchus keta）、粉紅鮭（學名：O. gorbuscha）和櫻鱒（學名：O. masou）。

鉤吻鮭是釧路周圍海域主要的鮭魚種類，其大顆的橘色魚卵最為人熟知。在約4年的時間內，鉤吻鮭會在鄂霍次克海、北太平洋和白令海一路遷徙並發育成熟，然後在死前返回家園產卵。每年9月至12月間，都會有超過10萬條鉤吻鮭向著釧路川上游洄游；西元1876年以來，在人們實行繁殖計劃的幫助下，牠們得以維持穩定的族群數量。

粉紅鮭棲息於太平洋和鄂霍次克海，是世界上數量最多的鮭魚。在北海道，粉紅鮭在釧路到知床的東海岸附近河流產卵。每逢產卵季，雄鮭魚背部會隆起、牙齒變大，幫助牠們在爭奪雌鮭魚排出的卵子時，擊敗對手並讓卵子受精。

至於櫻鱒的一生中，有一半的時間生活於河流中，另一半在海洋，死前則再回到過去為家的河流中產卵。此外，櫻鱒的分布範圍有限，成熟後便留在日本北部的沿岸海域。

<日本語仮訳>

サケ類

北海道のサケは世界で有名です。釧路周辺では、サケ(学名:Oncorhynchus keta)、カラフトマス(学名:Oncorhynchus gorbusha)、サクラマス(学名:Oncorhynchus masou)という3種のサケ類が一般に見られます。

サケは、釧路周辺の海で優勢なサケ類の一種です。最もよく知られているのは、その橙色の大きな卵です。サケは、オホーツク海、北太平洋、ベーリング海に出て、約4年をかけて成熟します。その後、死ぬ前に一度だけ産卵するために、生まれた場所に戻ってきます。毎年、9月から12月の間に、10万匹を超えるサケが釧路川を遡ります。1876年以降、繁殖計画が健全な数の維持を助けてきました。

カラフトマスは、世界で最も数の多いサケ類であり、太平洋とオホーツク海に生息しています。北海道では、カラフトマスは釧路から知床に至る東海岸沿いの川で産卵します。産卵期の間、オスは背にこぶができ、歯が大きくなります。これは、メスが生んだ卵を受精させるために、競合するオスと戦うのに役立ちます。

サクラマスは、一生の半分を川で過ごし、半分を海で過ごした後、生まれた川に産卵のために戻り、死にます。サクラマスの分布範囲は限られており、成熟後は北日本の沿岸部にとどまっています。

【タイトル】 サクラマス

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**马苏麻哈鱼**

马苏麻哈鱼（学名：Oncorhynchus masou），又名樱鳟，在迁徙至海洋前，前半生作为淡水鱼类在河流中度过。在海水中生活两至三年后，它们会返回之前生活过的河流产卵。日语里称马苏麻哈鱼为“sakura masu”，即樱鳟，这是因为它们成熟后会变为粉色（樱花的颜色），且通常会在春季（樱花盛开的季节）返回河流产卵地时被捕获。一些马苏麻哈鱼一生都生活在河流中，这类马苏麻哈鱼被称为“yamame”，即山女鱼（北海道称其为“yamabe”）。马苏麻哈鱼分布范围十分有限，成熟后便会留在日本北部的沿岸海域。

<繁体字>**櫻鱒**

櫻鱒（學名：Oncorhynchus masou）又名櫻鮭，前半生作為淡水魚在河流中度过，之後會遷徙至海洋，在其中生活 2 至 3 年後，牠們會返回過去生活的河流產卵。日語中將櫻鱒唸作「sakura masu」（即櫻鮭的意思），因為牠們成熟後會變成粉色（櫻花的顏色），而且通常會在春季（櫻花盛開的季節）返回河流產卵地時被捕獲。某些櫻鱒終其一生活在河流中，被稱為「yamame」，即山女魚的意思（北海道稱其為「yamabe」）。櫻鱒的分布範圍十分有限，成熟後便留在日本北部的沿岸海域。

<日本語仮訳>**サクラマス**

サクラマス(学名:Oncorhynchus masou)は、海に出る前に、一生の半分を淡水魚として川で過ごします。そして、海で 2～3 年過ごした後、産卵のために、生まれた川に戻ってきます。サクラマスと呼ばれる理由のひとつは、成熟すると桜色になるからです。また、通常、桜の開花時期である春の間に獲れるのも、サクラマスと呼ばれる理由のひとつです。サクラマスが生まれた川の産卵場所に戻ってくるのは春です。サクラマスの中には、生まれた川を決して離れないものもいます。これらはヤマメと呼ばれます

(北海道ではヤマベと呼ばれます)。サクラマス¹⁾の分布範囲はきわめて限られており、成熟後は北日本の沿岸部にとどまっています。

【タイトル】 岩礁の海洋生物

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**岩岸の海洋生物**

深邃的水下峡谷将釧路灣分为两个截然不同的环境，每个环境都孕育着不同的海洋生命。西侧有坡度平缓的多沙海岸线，而东侧则有陡峭险峻的多岩石悬崖，悬崖沿着海岸一路延伸至根室。多种因素造就了岩石一侧的生物多样性。岩石为海带提供了生长地，也为甲壳纲动物、螺类和小型鱼类提供了庇护所。此外，冷暖流在此处相遇，浮游动植物也随之而来。这些条件吸引了沙丁鱼等洄游鱼类，形成了丰饶的渔场。

适应环境

长线六线鱼（学名：Hexagrammos lagocephalus）和白斑六线鱼（学名：Hexagrammos stelleri）等鱼类能够改变身体的颜色，使体色变得跟岩石颜色相近，从而伪装自己。其他鱼类，包括棘头床杜父鱼（学名：Myoxocephalus polyacanthocephalus）和吉氏杂鳞杜父鱼（学名：Hemilepidotus gilberti），有着多刺的鱼身和鱼鳍，这可以帮助它们对抗体型更大的捕食者，并让自己稳稳地于岩石间停留。

<繁体字>**岩岸的海洋生物**

深海底的峡谷將釧路灣分為兩個截然不同的環境，各自孕育出不同的海洋生命。西側有平緩的沙質海岸線，東側則有陡峭險峻的岩石峭壁，沿著海岸一路延伸至根室。在眾多因素的影響下，多岩石一側擁有豐富的生物多樣性。由於岩石提供海带生長的場所，也成為甲殼動物、螺類和小型魚類的庇護所。再者，冷暖流在此處相遇，所以浮游動植物也隨之而來。上述條件吸引了沙丁魚等洄游魚類，於是形成了豐饒的漁場。

適應環境

長線六線魚（學名：Hexagrammos lagocephalus）和白斑六線魚（學名：Hexagrammos stelleri）等魚類發展出改變體色的能力，能夠偽裝自己並融入岩石間。其他魚類包括棘頭床杜父魚（學名：Myoxocephalus polyacanthocephalus）和吉氏雜鱗杜父魚（學名：

Hemilepidotus gilberti) , 有著多刺的魚身和魚鱗, 可以保護牠們免遭體型更大的捕食者攻擊, 也能讓牠們在岩石間停留。

<日本語仮訳>

岩礁の海洋生物

深い海底谷が釧路湾を 2 つの異なる環境に分けており、それぞれに異なる海洋生物が暮らしています。西側の部分には、砂浜の穏やかな海岸線が広がる一方、東側の部分には険しい岩壁が海岸沿いに根室まで続いています。岩がちな東側に生物が豊富なことには、いくつかの要因が寄与しています。岩はコンブ類が育つ場所になり、甲殻類・貝類・小魚類のすみかになります。さらに、暖流と寒流がここで合流し、この海域に動物プランクトンと植物プランクトンを運んできます。これらの条件が、イワシなどの回遊魚を引き寄せ、豊かな漁場を作り出しています。

環境への適応

魚の中には、ウサギアイナメ(学名:Hexagrammos lagocephalus)やエゾアイナメ(学名:Hexagrammos stelleri)のように、体色を変えて岩に紛れ込む能力を発達させたものがあります。また、トゲカジカ(学名:Myoxocephalus polyacanthocephalus)やヨコスジカジカ(学名:Hemilepidotus gilberti)など、より大きな捕食者から自分を守り、岩の間にとどまれるよう、とげのある体とひれを持つものもいます。

【タイトル】 砂浜の海洋生物

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

沙滩的海洋生物

釧路灣西側的沙滩和海床較為平坦，魚類在這裡幾乎無處可藏。棲息在海灣這一側的魚類與棲息在東側多岩石地帶的魚類相比，特徵與生存技巧極為不同。

天然保護色

星突江鰈（學名：Platichthys stellatus）、斯氏擬鰈（學名：Limanda schrenki）和美鯧（學名：Raja pulchra）等多種比目魚在這片沙地繁衍生息。這些魚類身體平坦，體色與沙質海床相似。亞洲胡瓜魚（學名：Osmerus mordax dentex）和日本公魚（學名：Hypomesus japonicus）等身形細長的魚類表皮呈銀色，在沙床上並不顯眼。柔軟的沙床是諸多軟體動物理想的生存環境，例如蝦夷盤扇貝（學名：Patinopecten yessoensis）和北寄貝（學名：Pseudocardium sachalinense），後者可以在沙滩下挖洞以躲避捕食者。

<繁体字>

沙岸的海洋生物

釧路灣西側的沙岸和海床較為平緩，魚類在此幾乎無處可藏。與棲息在海灣東側多岩石地帶的魚類相比，西側的魚類有著不同特徵與生存技巧。

天然保護色

星突江鰈（學名：Platichthys stellatus）、斯氏擬鰈（學名：Limanda schrenki）和美鯧（學名：Raja pulchra）等多種比目魚在這片沙岸地區繁衍生息，這些魚類身體扁平，體色與沙質海床相似。亞洲胡瓜魚（學名：Osmerus mordax dentex）和日本公魚（學名：Hypomesus japonicus）等身形細長的表皮呈銀色，在沙子間並不顯眼。此外，沙質的海床柔軟，是許多軟體動物理想的生活環境，例如蝦夷盤扇貝（學名：Patinopecten yessoensis）和北寄貝（學名：Pseudocardium sachalinense），後者可在沙子下挖洞躲避捕食者。

<日本語仮訳>

砂浜の海洋生物

釧路湾の西側は、平坦な砂浜と砂の海底が広がり、魚が隠れられる場所はほとんどありません。釧路湾の西側に住む魚の特徴と生存技術は、岩がちな東側の魚のものとは異なります。

天然の迷彩

これらの砂地には、ヌマガレイ(学名:Platichthys stellatus)、クロガシラガレイ(学名:Limanda schrenki)、メガネカスベ(学名:Raja pulchra)など、多くの種類の平たい魚が生息しています。これらの種は、平らな体と、砂の海底に合った体色をしています。キュウリウオ(学名:Osmerus mordax dentex)やチカ(学名:Hypomesus japonicus)といった細身の魚は銀色で、砂にまぎれて目立ちません。柔らかい砂の海底は、ホタテガイ(学名:Patinopecten yessoensis)やウバガイ(学名:Pseudocardium sachalinense)といった軟体動物にとって理想的な環境です。ウバガイは、捕食者から逃れるために、砂の下にもぐることができます。

【タイトル】 スケトウダラ

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**阿拉斯加鱈**

阿拉斯加鱈（学名：Theragra chalcogramma，日语：suketodara）是釧路的主要漁獲。阿拉斯加鱈在基因上与鱈魚相似，主要棲息地是北太平洋的海域，包括鄂霍次克海和北海道周圍的海域。從冬季到次年春季，這種冷水魚會成群洄游至北海道西南部函館附近的噴火灣產卵，之後從夏季到秋季，它們會在釧路近海覓食。

阿拉斯加鱈的魚卵價格高昂。魚卵以鹽醃漬，可作為鱈子或明太子出售，這兩種食物是吃米飯和意大利麵時流行的配菜。人們通常會將魚肉切碎並加工成魚糕和魚腸。

<繁体字>**黃線狹鱈**

黃線狹鱈又名阿拉斯加鱈，（學名：Theragra chalcogramma）是釧路的主要漁獲，牠的基因與鱈魚相似，主要棲息在北太平洋海域，包括鄂霍次克海和北海道周圍的海域。從冬季到隔年春季，這種冷水性的魚會成群洄游至噴火灣產卵（位於北海道西南部的函館附近），之後從夏季到秋季，牠們則會在釧路近海覓食。

黃線狹鱈的魚卵價格高昂，魚卵以鹽醃漬後，可作為鱈魚子或明太子販售，上述兩種食材配上米飯和義大利麵皆相當受歡迎。至於魚肉部分，人們通常會將其切碎並加工，做成魚板和魚肉香腸。

<日本語仮訳>**スケトウダラ**

スケトウダラ(学名:Theragra chalcogramma)は、釧路漁業の主力です。スケトウダラは遺伝学的にタラに似ています。スケトウダラの主な生息地は、オホーツク海と北海道周辺を含む北太平洋で

す。寒海性のスケトウダラの群れは、冬から春にかけて、北海道南西部の函館に近い噴火湾へと産卵のために向かいます。その後、夏から秋にかけて、釧路近海で餌を獲ります。

スケトウダラの卵は珍重されています。その卵は塩漬けにされ、たらこや明太子として販売されます。たらこや明太子は、ご飯やパスタのトッピングとして人気があります。スケトウダラの肉は、通常、かまぼこや魚肉ソーセージを作るために、すり身に加工されます。

【タイトル】 シシャモ：柳葉魚

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

柳叶鱼（日语：Shishamo）

柳叶鱼（学名：Spirinchus lanceolatus）是一种胡瓜鱼，在北海道的太平洋沿岸可发现其身影。它的名字起源于阿伊努语的单词“susu ham”或“shushu hamo”，意指“柳叶鱼”，这是因为它们的大小和形状都跟柳叶极为相似。

柳叶鱼是一种溯河鱼类，它们会从海洋洄游至淡水水域产卵。每年 11 月中旬至 12 月上旬，釧路地区的柳叶鱼会逆流而上，在新釧路川、阿寒川、庶路川和茶路川产卵。柳叶鱼在日本是极具价值的食物来源，人们通常会将其制成烤全鱼来享用。捕鱼活动仅在柳叶鱼产卵季进行。

<繁体字>

柳葉魚（日語：Shishamo）

柳葉魚（學名：Spirinchus lanceolatus）是一種胡瓜魚，可在北海道的太平洋沿岸發現其蹤跡，牠的名字起源於愛努語的詞彙「susu ham」或「shushu hamo」，意思是「柳葉魚」，因為牠們的大小和形狀都與柳葉極為相似。

柳葉魚是一種溯河性魚類，牠們會從海洋洄游至淡水水域產卵。每年 11 月中旬至 12 月上旬，釧路地區的柳葉魚逆流而上，在新釧路川、阿寒川、庶路川和茶路川產卵。此外，柳葉魚在日本是極具價值的食物來源，人們通常會料理成烤全魚來享用，不過人們僅限於產卵季時能進行捕撈。

<日本語仮訳>

シシャモ：柳葉魚

シシャモ(学名:Spirinchus lanceolatus)は、キュウリウオの一種であり、北海道の太平洋岸で見られます。その名前は、アイヌ語の「スス・ハム」または「シュシュ・ハモ」(柳の葉の魚)という言葉に由来します。大きさと形が柳の葉に似ているからです。

シシャモは遡河性の魚です。つまり、産卵のために海から淡水へと移動します。11月中旬から12月初旬にかけて、釧路地方のシシャモは、新釧路川、阿寒川、庶路川、そして茶路川を、産卵のために遡上します。日本において、シシャモは珍重されている食べ物です。通常は丸焼きにします。シシャモ漁は、産卵期に限られています。

【タイトル】 コンブ類：貴重な食料源

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

海带：一种宝贵的食物来源

釧路灣東側岩岸的寒流为海带的生长创造了理想条件。在日式料理中，许多种海带都因其可以增加汤羹或高汤的味觉层次而极具价值。北海道东海岸大部分地区都有肥沃的海带床。一些海带品种仅分布在釧路和北海道东海岸，其中包括长昆布（学名：Saccharina longissima）、厚叶昆布（学名：Saccharina coriacea）、币束昆布（学名：Laminaria yezoensis）和猫足昆布（学名：Arthrothamnus bifidus）。该地区最常见的昆布种类是长昆布，也叫作丝带水草，最长可达 10 米。

海带不仅是宝贵的食物来源，还能帮助釧路灣岩石海岸的小型鱼类抵挡海浪的冲击并避开较大型的捕食者。鱼类也以海带床上的物种为食，例如糠虾和浮游生物。

<繁体字>

昆布：一種寶貴的食物來源

釧路灣東側岩岸有寒流經過，形成理想的昆布生長環境。在日式料理中，多種昆布（海帶）可以提高湯品或高湯的味覺層次，因而備受青睞。北海道東海岸大部分地區都擁有豐富的海帶床，一些昆布品種僅分布在釧路周圍區域和北海道東岸，其中包括長昆布（學名：Saccharina longissima）、厚葉昆布（學名：Saccharina coriacea）、御幣昆布（學名：Laminaria yezoensis）和貓足昆布（學名：Arthrothamnus bifidus）。該區最常見的昆布種類是長昆布（也稱作絲帶水草），最長可達 10 公尺。

昆布（海帶）不僅是寶貴的食物來源，還能幫助釧路灣岩岸的小型魚類抵擋大浪沖刷，並避開較大型的捕食者。此外，魚類也以海帶床上的物種為食，例如糠蝦和浮游生物。

<日本語仮訳>

コンブ類：貴重な食料源

釧路湾東部の岩礁海岸では、寒流がコンブ類の成長にとって理想的な条件を作り出しています。コンブ類の多くの種は、日本料理において、つゆとだしに味の深みを加えるものとして高く評価されています。北海道東海岸の多くで、豊かなコンブ場が見られます。ナガコンブ(学名:*Saccharina longissima*)、ガツガラコンブ(学名:*Saccharina coriacea*)、ゴヘイコンブ(学名:*Laminaria yezoensis*)、ネコアシコンブ(学名:*Arthrothamnus bifidus*)など、いくつかの種は、釧路周辺と北海道東海岸でのみ見られます。この地域で最も一般的な種はナガコンブであり、英語では「ribbon weed」とも呼ばれます。ナガコンブは、10mもの長さに成長するものもあります。

コンブ類は、食料源としての価値に加えて、釧路湾の岩石海岸にいる大型捕食者からの避難所を提供し、小魚を荒波から守ります。また、魚は、アミやプランクトンなど、コンブ場に生息する種を餌にします。

【タイトル】 ミンククジラ

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**小须鲸**

小须鲸（学名：Balaenoptera acutorostrata）跟蓝鲸一样，属于须鲸的一种，它通常以磷虾、小鱿鱼和鱼类为食，利用刚毛状角质鲸须片过滤食物。小须鲸的日语名称是“higekujira”，意指有胡须的鲸鱼。

从陆地到海洋

小须鲸是一种鲸目动物（包括鲸、海豚和鼠海豚等海洋哺乳动物）。数百万年前，鲸目动物从陆地迁移至海洋。小须鲸就是这种进化的鲜活实例。经过数百万年进化后，小须鲸的腿已经退化，只留下身体后部脊椎附近的一些小骨头。

每年秋季，小须鲸会洄游至钏路周围的海域。自2019年重启商业捕鲸以来，在严格的捕捞限额限制下，人们只在钏路海岸附近捕获到少数小须鲸。

<繁体字>**小鬚鯨**

小鬚鯨（學名：Balaenoptera acutorostrata）與藍鯨相同，是一種鬚鯨，牠通常以磷蝦、小型魷魚和魚類為食，並透過角蛋白組成的剛毛狀鯨鬚板過濾食物。小鬚鯨的日語發音唸作「higekujira」，意思是有鬚鬚的鯨魚。

從陸地到海洋

小鬚鯨屬於鯨豚類（其中有鯨魚、海豚和鼠海豚等），是數百萬年前從陸地遷移至海洋的海洋哺乳動物。小鬚鯨正是經過上述演化活生生的實例，經過數百萬年後，牠的腿部已經退化，只留下身體後方脊椎附近的一些小骨頭。

每年秋季，小鬚鯨洄游至釧路周圍的海域。自西元2019年重啟商業捕鯨以來，在嚴格的捕撈限額的制度下，人們只能在釧路海岸附近捕獲到少量的小鬚鯨。

<日本語仮訳>

ミンククジラ

ミンククジラ(学名:Balaenoptera acutorostrata)は、シロナガスクジラと同様、ヒゲクジラの種類です。このクジラは、概して、オキアミ、小さなイカ、および魚を食べます。ミンククジラは、ケラチンでできた剛毛のような鯨ひげで餌を濾して食べます。ミンククジラの和名はヒゲクジラです。

陸から海へ

ミンククジラはクジラ目の動物です(クジラ目には、クジラ、イルカ、ネズミイルカが含まれます)。これらは、数百万年以上前に陸から海に移った海洋哺乳類です。ミンククジラは、この進化の生きた例です。ミンククジラの背中の脊椎近くに残っている小さな骨は、数百万年の進化の後に残っている脚の部分のすべてです。

ミンククジラは、毎年秋に、釧路近海に移動してきます。商業捕鯨が 2019 年に再開されてから、厳格な上限のもと、釧路沖で少数のミンククジラが捕獲されています。

【タイトル】 シロナガスクジラ

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**蓝鲸**

蓝鲸（学名：Balaenoptera musculus）是有史以来最大的动物之一。蓝鲸最长可达 32 米，最重可达 200 吨。跟小须鲸一样，它们使用刷状角质鲸须片，每天将数吨磷虾过滤到嘴里。釧路市立博物館中展出的蓝鲸下颚骨长达 6.7 米，这块下颌骨的主人身長估计约有 25 米。

这块颚骨来自 50 多年前进行的一次捕鲸探险（自 1966 年以来，商业捕鲸就受到限制，蓝鲸因而得到了保护）。过去，釧路和北海道东海岸其他地方的公司会捕杀鲸鱼。2019 年，该地区重新开始了小规模的商业捕鲸，但蓝鲸仍是受保护物种。

<繁体字>**藍鯨**

藍鯨（學名：Balaenoptera musculus）是有史以來最大的動物之一，可達身長 32 公尺、重量 200 公噸。與小鬚鯨相同，牠們每天透過角蛋白組成的刷狀鯨鬚板，過濾數公噸的磷蝦到嘴裡。釧路市立博物館中展出的藍鯨下顎骨長達 6.7 公尺，擁有這塊下顎骨的牠身長估計約有 25 公尺。

這塊顎骨來自 50 多年前的一次遠洋捕鯨（西元 1966 年以來，商業捕鯨受到限制，藍鯨因而受到保護）。過去以釧路、北海道東岸其他地區為據點的公司會捕殺鯨魚，到了西元 2019 年，該區重啟小規模的商業捕鯨，但藍鯨仍屬於受保護的物種。

<日本語仮訳>**シロナガスクジラ**

シロナガスクジラ(学名:Balaenoptera musculus)は、史上最も大きな動物の 1 つです。シロナガスクジラは、体長 32m、体重 200 トンまで成長することがあります。このクジラは、ミンククジラと同様に、ケラチンでできたブラシのような鯨ひげを使って、毎日数トンのオキアミを濾して口に運んでいます。釧路市立博物館に展示されている下あごの骨の長さは 6.7m です。この下あごの骨を有していたクジラの体長は、25m ほどだったと考えられます。

このあごの骨は、50 年以上前に行われた遠洋捕鯨によるものです(シロナガスクジラの商業捕鯨は 1966 年以降中止されています)。過去には、釧路や北海道東海岸のその他の場所に拠点を置く企業が捕鯨を行っていました。この地域では、小規模な商業捕鯨が 2019 年に再開されましたが、シロナガスクジラはなお保護種となっています。

【タイトル】 東釧路貝塚

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**东釧路贝塚**

人们在釧路川沿岸发现了成堆废弃的蛤蜊壳和牡蛎壳以及陶器碎片，证明史前人类曾在此活动。据信，约 7000 年前，在末次冰期结束、北海道与欧亚大陆分离后，人类就开始在釧路定居。

东釧路贝塚是日本国史迹，由 11 处独立的坟堆或贝塚组成，每一处都深达 80 厘米，在距釧路湿地约 15 米的高原上呈 U 形排列。贝塚所在地是一片长 120 米、宽 90 米的定居点，其历史可以追溯至约 6000 年前，这里的人们从那时开始过上了较稳定的生活。当时，湿地还是海洋的一部分，该定居点应该位于海岸线上。

随着稳定聚落的建立，该地区的人们依靠狩猎、捕鱼和采集相结合的方式维持全年的生计。人们在贝塚附近的高原上还发现了从绳文时代（公元前 13000 年—公元前 500 年）到擦文时代(600–1200)的不同风格的陶器碎片。陶器在绳文时代得到了显著发展，此处发现的不同风格表明，人类已在该地区居住长达数千年。

除了贝壳和陶器，考古学家还发现了呈放射状排列的海豚头骨，还有撒有红色氧化铁的北海狮残骸和家犬残骸。这些发现表明，该地区可能举行过一些仪式。

在东釧路贝塚的几个挖掘坑中还出土了完整的骷髅。这些骷髅在圆形坑中呈蹲踞姿势，这与绳文时代中期的葬俗相吻合。博物馆中陈列着一个带有贝壳的真贝塚横截面，以及陶器碎片和一座绳文埋葬坑的复制品。

<繁体字>**東釧路貝塚**

人們在釧路川の沿岸發現成堆的廢棄蛤蜊殼、牡蠣殼以及陶器碎片，證實史前人類曾經在此活動。據信，在距今約 7,000 年前，亦即最後一次冰河期結束，北海道與歐亞大陸分離之後，人類已開始在釧路定居。

東釧路貝塚屬於日本國家史跡，由 11 處不同的墳堆或貝塚組成，每處深達 80 公分，在距釧路濕地約 15 公尺的高原上呈 U 字形排列。貝塚的所在地為長 120 公分、寬 90 公分的聚落遺跡，它的歷史可溯及約 6,000 年前，那時人們開始安穩地生活。由於當時濕地還是海洋的一部分，因此聚落遺跡應該位於海岸線上。

該地區的居民在永續建立聚落之後，結合狩獵、捕魚和採集三種方法，收集一整年的食物。人們後來還在貝塚附近的高原上，發現從繩文時代（西元前 13,000 年–西元前 500 年）到擦文時代（西元 600 年–1200 年）不同風格的陶器碎片，可見陶器在繩文時代顯著發展，才能在此發現陶器具有不同風格，也表示人類已在此區定居數千年之久。

除了貝殼和陶器外，考古學家在此還發現呈放射狀排列的海豚頭骨，以及被撒上紅色氧化鐵的北海獅殘骸和家犬殘骸。從這些跡象看來，可以推斷此一聚落應該舉行過某些儀式。

此外，在東釧路貝塚的數個挖掘坑中，有人類全身的骷髏出土，這些骷髏在圓形的墓穴中呈蹲踞姿勢，與繩文時代中期常見的埋葬方式吻合。博物館中所陳列的實際貝塚剖面圖，含有貝殼、陶器碎片，以及一座繩文時代墓穴的複製品。

<日本語仮訳>

東釧路貝塚

二枚貝やカキの貝殻および土器片が捨てられた塚が、釧路川沿いで見つかっており、先史時代の人間の活動の証拠を提供してくれます。釧路には、約 7,000 年前、最終氷期が終わり、北海道がユーラシア大陸から分かれた後に、人間が定住したと考えられています。

国の史跡である東釧路貝塚は、11 の塚やごみ山から構成されています。それぞれ、深さは最大 80cm で、釧路湿原から約 15m 高い台地上に U 字形に並んでいます。この貝塚は、面積 120m×90m の集落遺跡にあり、約 6,000 年前の時代に遡るものです。この時期に、人々は定住型の生活をここで営みはじめました。当時、釧路湿原は海の一部でした。この遺跡は海岸線にあったのでしょうか。

この地域の人々は、恒常的な集落を確立し、年間を通して、狩猟・漁労・採集を組み合わせ生きていました。この貝塚近くの高台では、縄文時代(紀元前 13,000 年～紀元前 500 年)から擦文時代(西暦 600～1200 年)までの様々な様式の土器片が発見されています。土器は、縄文時代を通して大きく発展しました。ここで見られる様々な土器の様式は、この地域に数千年間人が定住していたことを示しています。

考古学者たちは、貝殻と土器の間に、放射状に並べられたイルカの頭骨を発見しました。また、赤い酸化鉄を振りかけた飼い犬とトドの遺体も見つけました。これらの発見は、この場所で儀式が行われた可能性を示唆しています。

また、東釧路貝塚では、いくつかの穴から人間の全身の骨も発掘されました。これらの骨は、かがんだ姿勢で円形の穴に葬られており、縄文時代中期の埋葬慣行と一致しています。この博物館では、貝殻を含む実際の貝塚の断面図とともに、縄文時代の墓穴のレプリカと土器片を展示しています。

【タイトル】 釧路地域で発見された土器

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

釧路地区发现的陶器

釧路地区发现的陶器样式涵盖了绳文时代（公元前 13000 年–公元前 500 年）至擦文时代(600–1200)之间的漫长时期，这表明该地区已有数千年的定居历史。最早的陶器碎片来自于绳文时代，这些碎片要么没有图案，要么表面有贝壳压制而成的图案。绳文时代后期的陶器以压入粘土中的绳纹而闻名。

绳文时代后期和后绳文时代的图案形状更加多种多样，研究人员还发现了一些这些时期的盘子和罐子碎片。擦文时代的陶器碎片更薄，表面光滑且经抛光处理。一些 11 世纪的陶器将擦文时代陶器的形状与压制的绳索图案相结合，在北海道北部海岸和库页岛的考古遗址中发现的陶器就是其中的典型代表。这种混合风格的陶器类型表明北海道东部的社区和更远的北部社区之间存在联系。

<繁体字>

在釧路地區發現的陶器

釧路地區發現的陶器樣式橫跨繩文時代（西元前 13,000 年–西元前 500 年）至擦文時代（西元 600 年–1200 年），顯示數千年來都有人定居於此。最早的陶器碎片來自繩文時代，這些碎片要不沒有圖案，不然就是表面有貝殼壓製而成的圖案。到了繩文時代後期則以壓入黏土中的繩紋聞名。

繩文時代後期和後繩文時代的圖案形狀更加多樣，研究人員還發現了此時期的盤子和罐子碎片。擦文時代的陶器碎片則更薄，表面光滑且經拋光處理。一些西元 11 世紀的陶器融合了擦文時代的陶器形狀和繩紋圖案，在北海道北部沿岸及庫頁島的考古遺址中，發現的陶器就是其中的典型代表。上述風格的融合，顯示北海道東部的社會，與其位置更北部的聚落之間有所交流接觸。

<日本語仮訳>

釧路地域で発見された土器

釧路地域で発見された土器の様式は、縄文時代(紀元前 13,000 年～紀元前 500 年)から擦文時代(西暦 600～1200 年)にわたっており、この地域に数千年間人が定住してきたことを示しています。縄文時代最初期の土器片には、模様がないものと、表面に貝殻を押しつけて作った模様ものがあります。その後の縄文土器は、土に押しつけられた縄の文様を特徴としていました。

土器の形状は、縄文時代後期から続縄文時代にかけて多様になり、この時代からは皿や壺の破片が見つかっています。擦文時代の土器片はより薄くなり、表面はなめらかで光沢があります。11 世紀の土器には、擦文土器の形状に縄の文様を組み合わせたものがあります。これは、北海道北部の沿岸と樺太島の遺跡で発見された土器に典型的なものです。この様式の融合は、北海道東部の社会と、それよりさらに北にある社会との間に接触があったことを示しています。

【タイトル】 続縄文文化

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**后縄文文化**

在日本大部分地区，新石器时代的绳文时代（公元前 13000–公元前 500 年）之后便是弥生时代（公元前 300 年–公元 300 年），那时水稻种植、铁和青铜从欧亚大陆传入，并从南部传播到本州最北端。但在本州北方更远处不到 100 公里的北海道，人们却继续以狩猎和采集为生。尽管那里的人们通过贸易往来采用了一些新技术，例如金属工具，但水稻种植并未得到发展，部分原因是北海道的气候过于寒冷。相反，在绳文时代人们赖以维持生计的丰富自然资源继续支持着传统的狩猎-采集生活方式，而这种生活方式决定了这里发展的文化。北海道的这段历史时期被称为后绳文时代或续绳文时代（公元前 500 年–公元 600 年）。当时的村庄位于海岸边，人们可以在那里捕鱼、狩猎和觅食。随着时间的推移，社区向内陆迁移，人们则利用河流作为运输和贸易路线。

<繁体字>**後繩文文化**

在日本大部分地區，新石器時代的繩文時代（西元前 13,000 年–西元前 500 年）之後便是彌生時代（西元前 300 年–西元 300 年），當時從歐亞大陸傳入水稻種植、鐵和青銅，並從南向本州最北端傳播。只是在位處本州北方不到 100 公里的北海道，人們卻繼續以狩獵和採集為生，儘管北海道的人們在貿易往來間取得了新技術（例如金屬工具），但水稻種植並未在此地落地生根，部分原因是因北海道的氣候過於寒冷。相反地，人們靠著在繩文時代賴以為生的豐富自然資源，繼續維持傳統的狩獵採集生活方式，而且決定了這裡發展的文化。北海道的這段歷史時期被稱作後繩文時代或續繩文時代（西元前 500 年–西元 600 年）。當時的村莊位於海岸邊，人們可以捕魚、狩獵和覓食。隨著時間推移，聚落向內陸遷移，人們則透過河流進行運輸和貿易。

<日本語仮訳>

続縄文文化

日本のほとんどの地域では、新石器時代である縄文時代(紀元前 13,000 年～紀元前 500 年)の後には弥生時代(紀元前 300 年～西暦 300 年)が訪れました。弥生時代には、稲作、鉄、および青銅がユーラシア大陸から導入され、南から本州の北端まで広がりました。しかし、本州から北に 100km も離れていない北海道の人々は、狩猟採集の暮らしを続けました。交易を通して、金属器などの新技術はいくつか採用されましたが、稲作は根つきませんでした。その一因は、北海道の気候が寒すぎたことにあります。縄文時代の生活を維持していたのと同じ豊かな天然資源が、伝統的な狩猟採集の暮らしを支え続けました。この狩猟採集の暮らしが、ここで発展した文化を規定したのです。北海道のこの時代は、続縄文時代(紀元前 500 年～西暦 600 年)と呼ばれます。村々は、魚獲りや狩りや食料の採集ができる海岸に位置していました。時とともに、集落は内陸部に移動し、川を交通路・交易路として使うことになりました。

【タイトル】 擦文時代

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**擦文时代**

擦文时代(600–1200)的文化是北海道特有的，与日本其他大部分地区不同。擦文文化是绳文时代（公元前 13000–公元前 500 年）狩猎采集文化的延续，并且吸收了来自本州南部聚落的影响和技术。煮食炉、铁器和纺织品被逐渐引入。由于气候寒冷，当地无法栽培水稻，但人们会种植小米和大麦等谷物。

在釧路发现的擦文陶器带有以木铲摩擦形成的图案。一些擦文陶器既有这种向下刻入的图案，也有北部鄂霍次克聚落陶器的典型浮雕装饰。5 世纪后，亚欧大陆的人们在鄂霍次克海附近（例如千岛群岛和库页岛）定居。据信，他们来自黑龙江流域，即现在俄罗斯东部和中国北部的边界。他们居住在沿海聚落中，捕捞鲸鱼和海豹等大型海洋动物，并饲养狗和猪。通过擦文风格的陶器与鄂霍次克图案的融合可以看出，这些北方人与北海道居民的接触有所增加。部分考古学家认为，这种文化的交汇催生了阿伊努族文化。

<繁体字>**擦文時代**

擦文時代（西元 600 年–1200 年）的文化為北海道獨有，與日本其他多數地區不同。擦文時代是繩文時代（西元前 13,000 年–西元前 500 年）採集、狩獵文化的延續，也受到南邊的本州聚落影響，從那裡吸收了他們所使用的技術，包括這個時期也逐漸引入煮爐、鐵器和紡織品。由於當地氣候寒冷，人們無法栽種水稻，不過會種植小米和大麥等穀物。

從釧路出土的擦文陶器有木鏟摩擦過的圖案，一些擦文陶器既有這種刻紋圖案，也有北方鄂霍次克聚落陶器上典型的浮雕裝飾。西元 5 世紀後，歐亞大陸的人們開始在鄂霍次克海附近，例如千島群島和庫頁島上定居，據信，他們來自阿穆爾河流域，即現在俄羅斯東部和中國北部的邊界。人們居住在沿海聚落，捕撈鯨魚和海豹等大型海洋動物，並飼養狗和豬。此外，由於擦文風格陶器結合了鄂霍次克的裝飾圖案，可見北海道居民與來自北

方的居民往來，比過去更為頻繁。部分考古學家進而認為，上述文化匯流促成了愛努文化的興起。

<日本語仮訳>

擦文時代

擦文時代(西暦 600~1200 年)の文化は北海道に特有のものであり、日本の他の多くの地域の文化とは異なっていました。擦文時代の文化は、縄文時代(紀元前 13,000 年~紀元前 500 年)の狩猟採集文化が継続したものです。南にある本州の社会からさらなる影響を受け、技術が持ち込まれました。かまど、鉄器、織物が徐々に導入されました。寒冷な気候により稲作は不可能でしたが、キビや大麦のような穀物が育てられました。

釧路で発見された擦文土器には、木のへらで擦った模様があります。擦文土器の中には、北にあるオホーツク社会の土器に典型的である盛り上げた飾りと、これらの刻まれた模様の両方を有するものが見つかっています。5 世紀以降、ユーラシア大陸から渡ってきた人々が、千島列島や樺太島といったオホーツク海周辺の地域に定住しました。これらの人々は、現在のロシア東部と中国北部の国境地帯にあるアムール川流域からやって来たと考えられています。この人たちは、海岸の集落に住み、クジラやアザラシといった比較的大型の海獣を狩り、犬や豚を飼っていました。そして、これら北方の人々と、北海道の住民との接触が増えていきました。それを、擦文土器の様式とオホーツクの装飾との融合に見ることができます。一部の考古学者は、この文化の出逢いがアイヌ文化を生んだ、と考えています。

【タイトル】 湖州鏡

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**湖州鏡**

这面方形铜镜产自南宋时期(1127-1279)的中国湖州。之所以称之为湖州镜，是因为其背面的汉字铭文中“湖州镜”几个字。

在釧路市中心釧路川旁幣舞橋附近的一次挖掘中，人們在一個坑洞中挖掘出這塊銅鏡。擦文時期(600-1200)此地有一座村莊。當時的人居住在坑洞房屋中，房屋主體為深約一米的坑洞，上覆茅草屋頂，屋頂由木杆支撐。

从本州中部的近畿地区到北部的东北地区，人们在日本海沿岸各处都发现过形状各异的类似铜镜。而这是唯一一块在北海道出土的湖州镜。鄂霍次克人五世纪后在鄂霍次克海附近定居，学者认为是他们在与中国进行贸易的过程中，将这块铜镜带到釧路。

<繁体字>**湖州鏡**

此面方形銅鏡產自南宋時期（西元 1127 年–1279 年）的中國湖州，稱為湖州鏡則是因為其背面有以中文銘刻的「湖州鏡」幾個字。

在一次釧路川附近（釧路市中心的幣舞橋旁）的挖掘中，人們從一處坑穴中發現這塊銅鏡。在擦文時代（西元 600 年–1200 年）時，這裡有座村莊，當時人們居住在豎穴式住居中，房屋主體為深約一公尺的坑穴，上方覆蓋著由木杆支撐的茅草屋頂。

從本州中部的近畿地區，一路到北邊的東北地區，日本海沿岸各處都發現過形狀各異的類似銅鏡，至於這塊則是唯一從北海道出土的湖州鏡。鄂霍次克人於西元五世紀後，便在鄂霍次克海附近定居，學者認為當初他們在與中國的交易中，將銅鏡一併由中國帶至釧路。

<日本語仮訳>

湖州鏡

この青銅でできた四角形の鏡は、南宋時代(西暦 1127～1279 年)に中国の湖州で作られたものです。この鏡は「湖州鏡」として知られています。その背面に、「こしゅうしん」と読める文字を含む中国語の銘刻があるためです。

この鏡は、釧路中心部の幣舞橋近く、釧路川のそばの竪穴建物跡を発掘している間に出土しました。擦文時代(西暦 600～1200 年)の間、この地域には村がありました。人々は、木の柱に支えられた茅葺の屋根で約 1m の深さの土の穴を覆った竪穴建物で暮らしていました。

様々な形をした類似の鏡は、本州の中ほどにある近畿地方から北は東北地方の日本海沿岸で見つかっています。しかし、北海道で発見された四角形の湖州鏡はこれのみです。この鏡は、5 世紀以降にオホーツク海周辺地域に定住したオホーツクの人々との交易によって中国から釧路にやって来た、と考えられています。

【タイトル】 江戸時代の釧路

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**江戸時代の釧路**

在江户时代(1603-1867)，北海道部分地区由松前氏族统治。这些封建统治者拥有与阿伊努族（岛上的原住民）进行贸易的专有权利。那时，有一座名为“Kusuri”的阿伊努村坐落于釧路川の河口，据说该名称源自阿伊努语，意为“横穿之路”或“咽喉”。松前氏族将Kusuri 用作与阿伊努族在当地开展贸易的据点。起初，松前氏族派出家臣直接与阿伊努族进行贸易，但随着商品经济不断发展，商人接手了他们之间的贸易。

Kusuri 村逐渐发展为釧路町，并且成为了北海道东部渔业、贸易业以及交通运输业的中心。到江户时代末期，随着鲱鱼和鲑鱼捕捞量增加，以及昆布产量增多，越来越多的渔民从日本东北地区迁移至此定居。釧路也成为了连接日本北部与鄂霍次克海以及千岛群岛的重要港口。

<繁体字>**江戸時代の釧路**

在江戶時代（西元 1603 年–1867 年）時，北海道部分地區由松前家族統治，身為封建統治者，他們擁有與愛努族（北海道原住民）進行貿易的專有權。那時有座名為「Kusuri」的愛努村莊，坐落在釧路川の河口，據說該名稱源於愛努語，意思是「橫越之路」或「咽喉」。松前家族於是將 Kusuri 村作為與當地愛努族展開貿易的據點。起初，松前家族派出家臣與愛努族直接貿易，但隨著商品的經濟效應不斷發展，逐漸轉由商人掌控貿易。

Kusuri 村逐漸發展為釧路町，並成為北海道東部漁業、貿易業及交通運輸業的中心。到了江戶時代末期，隨著鮭魚和鮭魚捕獲量增加，以及昆布的產量變多，漁民紛紛從日本東北地區來到釧路定居，此處也成為連接日本北部與鄂霍次克海、千島群島的重要港口。

<日本語仮訳>

江戸時代の釧路

江戸時代(1603～1867年)の間、北海道の一部の地域は、封建領主の松前氏に支配されていました。松前氏は、北海道の先住民であるアイヌと独占的に交易を行う権利を有していました。当時、「クスリ」と呼ばれていた釧路川の河口部には、アイヌの村がありました。「クスリ」とは、「渡る道」や「のど」を意味するアイヌ語に由来する、と言われています。松前氏は、「クスリ」を、この地域のアイヌと交易する拠点として使いました。当初は松前氏の家臣がアイヌと直接交易を行っていましたが、商品経済が発達すると、商人が交易を行うようになりました。

「クスリ」の村は釧路の街へと成長し、北海道東部の漁業・交易・交通の中心地となりました。江戸時代の終わりまでに、ニシン・サケの漁獲量とコンブの収穫が伸び、東北地方からこの地方に来る漁民が増えていきました。また、釧路は、北日本とオホーツク海・千島列島をつなぐ主な港ともなりました。

【タイトル】 霧の街

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**霧城**

夏季，来自太平洋的暖空气不断向北移动，抵达北海道东部更寒冷的海岸线时会凝结成雾。釧路被称为“霧城”，因为夏季时这里经常起雾。该城市是北海道的一大港口，但低能见度会给航运带来风险。因此，人们于 1891 年修建了釧路埼灯塔。

最初，该灯塔并未配备海雾声响报警系统。但在 1922 年 7 月，皇太子裕仁(1901–1989)，即后来登基的昭和天皇（1926–1989 年在位），在当地典型的大雾天气中访问釧路，并建议在这座城市的灯塔处安装雾号。雾号于 1925 年安装完毕。雾号喇叭状的部分被称为“发声器”，可将空气压缩的声音放大，从而制造低频警告音。1974 年，电雾号取代了原有的雾号。随着船舶导航设备不断发展，已不再需要雾号，于是电雾号在 2010 年正式退役。

<繁体字>**霧城**

夏季時，來自太平洋的暖空氣不斷向北移動，抵達北海道東部更寒冷的海岸線時，便會凝結成霧。於是夏季的釧路時常白霧茫茫，人們將其稱為「霧城」，但身為北海道的主要港口，低能見度會為航運帶來風險。因此，人們於西元 1891 年時，修建了釧路埼燈塔。

最初，這座燈塔並未裝設海霧警報音系統。到了西元 1922 年 7 月，皇太子裕仁（西元 1901–1989），即後來登基的昭和天皇（西元 1926 年–1989 年在位）在訪問釧路時，遇上當地常見的濃霧，因此建議該市為燈塔設置霧笛。霧笛於西元 1925 年安裝完成，其喇叭狀的部分被稱為「發聲器」，可將壓縮空氣的聲音放大，製造出低頻的警告音。後來到了西元 1974 年，電動霧笛取代了原有的霧笛，只是隨著船隻導航設備不斷發展，各類霧笛已派不上用場，電動霧笛於是在西元 2010 年正式退役。

<日本語仮訳>

霧の街

夏に太平洋からの暖かい空気が北上し、北海道東部のより涼しい海岸線にたどり着くと、霧ができます。釧路は、夏に霧の日が多いため「霧の街」として知られています。釧路は大きな港であり、視界が悪い状況は航海にとって危険です。この理由から、1891年に釧路埼灯台が建設されました。

当初、この灯台には、霧の際に警告音を出す仕組みがありませんでした。しかし、1922年7月、皇太子裕仁(1901～1989年)。後の昭和天皇。天皇としての在位期間は1926～1989年だが、よくある濃霧が発生している際に釧路を訪れ、灯台に霧笛を設置するよう市に勧めました。霧笛は1925年に完成しました。ラッパの形の部分は「吹鳴器」と呼ばれており、圧縮した空気を膨らませて低周波数の警告音を鳴らしていました。吹鳴器は、1974年に電気によるものに置き換えられました。電気による霧笛は、2010年に廃止されました。船の航海設備の進歩により、霧笛は不要になったのです。

【タイトル】 北海道東部における材木の集積地

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

北海道東部の木材中心

北海道坐拥广袤的森林，得益于此，岛上的木材工业于明治时代和大正时代(1868–1926)迅速发展。釧路港于 1899 年正式开放，主要用于木材和农产品的海上运输。1901 年，列车将釧路与北海道中部的十胜地区和北部的北见连为一体，从此，釧路便成为了北海道东部主要的交通枢纽。

人们利用列车从森林中运出原木，或沿着河道将其送往下游，长此以往，釧路的贮木场逐渐增多。人们将大多数木材运往日本其他地区或海外，但也会将部分木材运往釧路的工厂，然后将其加工为纸和纸浆。其中一些工厂至今仍在营业。

冬季，当地面被白雪覆盖时，人们利用 bachi-bachi（一种马拉雪橇），将原木从森林运输至列车站或河道驳船。据说，该名称源于 bachi 一词，在日本东北地区的方言中有“短”的意思。马拉雪橇的设计简单有效。不同于使用一个长度固定的雪橇，人们将两个短雪橇捆绑在原木上，一个在前一个在后。两个雪橇的位置可以调节，以便适应任何尺寸的原木并确保其平稳地划过雪地。

<繁体字>

北海道東部的木材中心

由於北海道坐擁廣袤的森林，島上木材工業得以於明治時代和大正時代（西元 1868 年–1926 年）迅速發展。為了透過海路運輸木材和農產品，西元 1899 年時釧路港開港。西元 1901 年，列車將釧路與北海道中部的十勝地區，以及北部的北見相連，釧路從此成為北海道東部主要的交通樞紐。

隨著列車從森林中運出原木，或沿著河道將其送往下游，久而久之，這裡出現了多座木材放置場。多數木材運往日本其他地區或海外，但也有部分木材運往釧路的工廠，然後加工為紙與紙漿。時至今日，其中有些工廠仍在營運。

冬季時，地面會覆上一層白雪，人們會透過名為「bachi-bachi」的一種馬拉雪橇，將原木從森林運往車站或河運駁船。據說，「bachi-bachi」的名稱源於「バチ（日語發音：bachi）」一詞，在日本東北方言中是「短」的意思。此外，「bachi-bachi」的設計簡單又有效率，並非使用單一固定長度的雪橇，而是將兩個短雪橇捆綁在原木上，一個在前、一個在後。如此一來，兩個雪橇就能隨機調整位置，並能配合任何尺寸的原木，同時確保雪橇能夠平穩地滑過雪地。

<日本語仮訳>

北海道東部における材木の集積地

北海道の林業は、北海道全体の広大な森林により、明治・大正時代(1868～1926 年)の間に発展しました。1899 年には、木材と農産物を海路で輸送するために、釧路港が開港しました。1901 年、釧路は、北海道中央部の十勝地方および北部の北見と鉄道で結ばれました。釧路は、北海道東部の交通の要所となったのです。

森からの丸太が鉄道で到着し、あるいは川を下ってくる釧路には、材木置場ができました。材木のほとんどは日本の他の地域や海外に運ばれましたが、一部は釧路にある工場で紙・パルプに加工されました。そのうち、いくつかの工場は現在も操業しています。

地面が雪で覆われる冬の間、丸太は、「バチバチ」と呼ばれる馬そりで、森から鉄道駅や川船に運ばれました。「バチバチ」という名前は、東北弁で「短い」という意味の「バチ」という語に由来する、という説があります。「バチバチ」の作りは単純ですが、役に立ちました。固定された長さのそり 1 台を使うのではなく、2 台の短いそりを丸太の前と後に結びつけて使っていたのです。2 台のそりは、どんな丸太にも合わせて調整でき、雪の上をなめらかに滑ることができました。

【タイトル】 採炭と友子制度

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

煤矿开采与友子制度

1916年，人们在钏路实施大规模煤矿开采计划，该地区的太平洋煤矿成为了当时日本最大的煤矿之一。采矿是一项艰苦的体力劳动，需要借助由乙炔气体制造的电石灯灯光，凿开地下深处的煤层。

矿工们自行组织，建立了名为友子（意为“友谊团队”）的工作小组，每个小组都由一位经验丰富的矿工领导监督。新矿工通常需要先当三年的学徒，然后才能加入友子。这些团体在日本工会成立前就已存在，但他们发挥着类似的作用，即促进矿业开采的技能共享并鼓励成员相互支持。加入友子的矿工共同筹资，以便在受伤、灾难或煤矿倒闭等事件发生时互相帮助，并分担婚礼及葬礼等活动费用。

新成员会参加正式的加入仪式。仪式上，他们会与其他成员用同一只杯子喝日本清酒，以示团结。友子成员会将名字和住址写在纸质卷轴上，这些清单能让人们深入了解钏路的人口迁入模式。机械化与社会保障体系于1930年引入采矿业并不断完善，友子制度便被渐渐淘汰了。

<繁体字>

煤礦開採與友子制度

西元1916年起，人們開始在釧路實施大規模的煤礦開採計畫，該地區的「太平洋煤礦」成為當時日本最大的煤礦公司之一。採礦是一項辛苦的體力勞動，需要藉由乙炔氣體作為燃料的電石燈燈光，鑿開地下深處的煤層。

礦工們自行組織，成立名為友子（意為「友誼團隊」）的工作團隊，每個團隊都由一位經驗豐富的礦工領導，並接受其監督。此外，新進礦工通常需要先當三年的學徒，才能加入友子。日本在成立正式的工會之前，這些團體就已存在，扮演的角色其實也與工會相似，旨在促進礦業開採的技能分享，並且鼓勵成員彼此相互扶持。加入友子的礦工們會集

結資金，以便在發生受傷、災難或煤礦公司倒閉等事件時互相幫助，並分擔婚禮及葬禮等儀式費用。

新成員們加入時會有正式的歡迎儀式，除了與其他的成員們喝日本酒，而且還要共用一個杯子以示團結。此外，友子成員會將名字和住址寫在紙質的卷軸上，透過這些清單，外界得以深入了解釧路的人口遷入模式。不過到了西元 1930 年，採礦業引入機械化及社會保障制度，並且逐漸發展完善，友子制度隨之遭到淘汰。

<日本語仮訳>

採炭と友子制度

釧路での大規模な採炭は 1916 年に始まり、この地域の太平洋炭鉱は日本最大級の炭鉱になりました。採炭は、アセチレンガスを使ったカーバイドランプの光のもとで深い地下の炭層を掘るなど、厳しい肉体労働でした。

鉱夫たちは、「友子」と呼ばれる作業集団を組織しました。各集団では、監督の役割をする先輩鉱夫が親分となりました。新入りの鉱夫は、「友子」に加わる前に 3 年間弟子を務めるのが一般的でした。これらの集団は、日本で労働組合が設立される前に始まりましたが、技能の共有を進め、成員間の助け合いを促すという類似の役割を果たしました。「友子」の鉱夫たちは自分たちのお金を出し合っ
て、怪我・災害・炭鉱の閉山の際には互いに助け合い、また結婚や葬式といった行事の費用に充てました。

新しい成員は、正式な儀式によって仲間に加えられました。この儀式では、結束の象徴として盃を共有し、他の成員と酒を酌み交わしました。「友子」の成員の氏名と住所は、紙の巻物に記されました。これらの一覧は、釧路への移民の傾向に関する知見を提供してくれます。友子制度は、1930 年にこの炭鉱に導入された機械化と社会保障の進歩によって、徐々に消えていきました。

【タイトル】 川崎船

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**川崎船**

川崎船是一种坚固的木质拖网帆船，其船桨能够驾驭大海的汹涌波涛。川崎船因最早建造这种船只的福井县川崎村而得名。从江户时代(1603–1867)末期到 1945 年，川崎船沿着日本海往来于福井县和北海道地区。在明治时代(1868–1912)，这些船舶主要用于近海鳕鱼捕捞，以及本州与北海道之间的贸易往来和移民运输。

釧路市立博物館所展出的船只比实际的川崎船小。为了迎接 1983 年博物馆开馆，一位名叫平岩一的当地造船工人制作了这一展品。

<繁体字>**川崎船**

川崎船是一種堅固的木造帆船，船槳能夠承受大海的波濤洶湧。福井縣的川崎村是最早建造這種船隻的地方，也是船名的由來。從江戶時代（西元 1603 年–1867 年）末期到西元 1945 年，川崎船沿著日本海，往來於福井縣和北海道地區之間。到了明治時代（西元 1868 年–1912 年），這些船隻主要進行近海鱈魚捕撈作業，還有本州與北海道間的貿易往來，以及居民遷徙之用。

釧路市立博物館所展出的船隻，遠比實際的川崎船小。該展示品是為了迎接西元 1983 年博物館開館，由一位名叫平岩一的當地造船工人製作而成。

<日本語仮訳>**川崎船**

川崎船は、帆のある頑丈な木造トロール船であり、荒海でも漕げるような櫓を備えていました。川崎船という名称は、この船が最初に建造された福井県川崎村から来ています。川崎船は、江戸時代

(1603～1867 年)の後期から 1945 年まで、福井から北海道に至る日本海沿岸で使われました。明治時代(1868～1912 年)の間、川崎船は、主に沖合のタラ漁に使われるとともに、本州・北海道間の交易と植民者の移動に使われていました。

釧路市立博物館に展示されている船は、実物よりも小さいものです。この船は、1983 年に同博物館が開館した際に、地元の船大工である平岩一氏が建造したものです。

【タイトル】 漁業のための伝統的な仕事着

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

传统捕鱼工作服

在釧路，捕鱼是一项辛苦的工作，尤其是在寒冬腊月期间。在人们发明现代发热纤维面料前，渔民会身穿一种名为刺子绣（当地人称之为 donza）的短外套来保暖。外套以刺子绣（意为“众多小刺”）命名，这是一种平针缝纫方法，用于将靛蓝棉层或麻布层缝制为一体。这些外套既好看又实用，上面的刺绣图案尤为瞩目。每件外套都会在家族中世代相传。

刺子绣外套的造型类似于和服，但为了达到保暖效果，该外套袖口较窄，并采用多层结构。渔民的妻子通常会在冬季为丈夫缝制和修补外套，为来年的捕鱼季做好准备。刺子绣外套在江户时代(1603–1867)的北海道十分常见，直到进口毛织物和棉质法兰绒在明治时代和大正时代(1868–1926)开始普及后，才逐渐淡出人们的视线。

<繁体字>

傳統捕魚工作服

在釧路，捕魚是一項辛苦的工作，尤其在寒冬期間。在現代保暖布料發明前，漁民會身穿一種名為「刺子繡」（當地人稱作「donza」）的短外套保暖。刺子繡的名稱有「眾多微刺」的意思，指的是一種平針縫紉方式，用於將靛藍棉層或麻布層縫製在一起，特色是上面的刺繡圖案。這種外套既好看又實用，每件都會在家族中世代相傳。

刺子繡外套的造型與和服類似，只是為了達到保暖效果，袖口較窄而且採用多層結構。為了充分準備好迎接來年的捕魚季，漁民的妻子通常會在冬季為丈夫縫製和修補外套。刺子繡外套在江戶時代（西元 1603 年–1867 年）的北海道十分常見，但到了明治時代和大正時代（西元 1868 年–1926 年），隨著進口紡毛織物和棉質法蘭絨的普及而逐漸被取代。

<日本語仮訳>

漁業のための伝統的な仕事着

釧路の漁業は重労働で、特に厳しい冬の時期はそうでした。近代的な暖かい布が手に入るまで、漁師たちは、「刺し子」と呼ばれる短い上着(この地域では「どんざ」とも言う)を着て保温につとめていました。この上着の名前は、「刺し子」という縫い方から来ています。この縫い方は、藍染めの綿や麻の布を重ねて縫い合わせるのに使う、なみ縫いの一種です。これらの上着には縫い目による模様があり、実用であるとともに飾りにもなっていました。それぞれの上着は、一家で代々受け継がれていきました。

上着の「刺し子」は着物のような形をし、体の熱を逃がさないように布を重ね、袖口は細くなっていました。次の年の漁期に備えて、冬の間はこの「刺し子」を作ったり修繕したりするのは通常、漁師の妻の仕事でした。北海道で「刺し子」が一般的だったのは、江戸時代(1603～1867年)から、輸入された毛織物と綿のフランネルが広まった明治・大正時代(1868～1926年)までです。

【タイトル】 賑わう街

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**繁荣的市镇**

自明治时代(1868–1912)末期以来，钏路就一直是渔业、木材工业、煤业以及运输业的中心。随着经济的繁荣和人口的增长，当地人在钏路成立了报社，并开设了更多店铺，以满足大批涌入的移民的需求。1922年，钏路被改制为钏路市。

钏路冬季的气温常在零度以下。在明治时代，可套穿于和服外的名为角卷的大号羊毛披肩备受女性喜爱。男性则会穿名为 niju-mawashi 的一种配有披肩和毛领的无袖羊毛外套。这类外套的设计灵感源自苏格兰的因弗内斯大衣，可轻松套穿日式或西式服装。

钏路吸引了佐佐木米太郎(1868–1951)等创业者前来发展。1901年，佐佐木米太郎从城北的一个小镇迁移至钏路，并开设了一家售卖大米和其他日用品的店铺。他之后被选为市议会议长，并撰写了钏路地区第一部史书，成为了这里举足轻重的人物。他商店的招牌如今陈列在博物馆中，店名上贴着的金箔仍熠熠生辉。

<繁体字>**繁榮的市鎮**

自明治時代（西元 1868 年–1912 年）末期以來，釧路就一直是漁業、木材工業、煤業以及運輸業的中心。隨著經濟繁榮和人口增長，當地人在釧路成立報社，並開設了更多店鋪，滿足大批移民湧入的需求。到了西元 1922 年，釧路改制為釧路市。

釧路冬季的氣溫常在零度以下。明治時代，女性流行穿一種可罩在和服外的羊毛大披肩，名為「角卷」。男性則會穿「二重回」，那是一種配有披肩和毛領的無袖羊毛外套。上述外套的設計靈感，源自蘇格蘭的印威內斯大衣，可輕易地套在日式或西式服裝外面疊穿。

釧路吸引了佐佐木米太郎（西元 1868 年–1951 年）等具有創業精神的人前來發展。西元 1901 年，他從釧路市北部的一個小鎮來到釧路，開設了一家販售米和其他日用品的店鋪。後來，佐佐木米太郎當選市議會議長，並撰寫了釧路地區第一部史書，成為當地舉足輕重的人物。他所開設的商店招牌如今陳列在博物館中，店名的字樣並以金箔裝飾。

<日本語仮訳>

賑わう街

明治時代(1868～1912 年)後半以降、釧路は、漁業・木材・石炭・海運の中心地でした。経済が活発になるにつれて人口が増え、新聞が創刊され、植民者の流入に対応するために店が増えました。釧路は 1922 年に市となりました。

釧路の冬の気温は、氷点下にとどまることがよくあります。明治時代には、着物の上に着る「角巻」という羊毛の大きな肩掛けが、女性の間で人気になりました。男性は、「二重回し」という、マントと毛皮の襟がついた袖なしの羊毛製コートを着ていました。この「二重回し」は、スコットランドのインバネスコートに基づいており、和服の上にも洋服の上にも簡単に着ることができました。

釧路は、佐々木米太郎(1868～1951 年)のような事業家を惹きつけました。彼は、釧路の北の小さな町から移り住み、1901 年に米やその他の生活必需品を売る店を開きました。彼は釧路の有力者となりました。市議會議長に就任し、釧路地方の歴史を初めて執筆しました。彼の店の看板には、店名が金箔を使って記しており、現在はこの博物館に展示されています。

【タイトル】 第二次世界大戦中の釧路

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

二战期间的钏路

二战期间，日本的各个城市都曾遭到盟军袭击。妇女和儿童戴着配有衬垫织物的防空头巾，以免受到碎片坠落和火灾的伤害。战争结束前一个月，格鲁曼 F6F 地狱猫战斗机从美国第三舰队的航空母舰上起飞，对整个北海道发起空袭。

1945年7月14日和15日，钏路总共遭到八次空袭。袭击的主要目标是工厂、铁路、渔船和学校。据说，这些袭击的目的旨在瓦解人们的斗志。在其中一次突袭期间，位于钏路市中心的币舞桥遭到损坏，但万幸的是这座桥未被摧毁。其中一座装饰艺术风格的石质方尖柱因袭击而坍塌，并坠入河中（柱顶如今陈放在博物馆入口处），而桥梁的钢材包面也曾遭到机载机枪的低空扫射。博物馆中陈放着一块桥上的钢板，其厚度超过10毫米，上面残留着弹孔的痕迹。在短短两天内，袭击造成193人死亡，500多人受伤。大约60%的遇难者死于空袭引起的火灾。

<繁体字>

二戰期間的釧路

二戰期間，日本各個城市都曾遭受同盟國的襲擊。婦女和兒童戴著配有襯墊的布製防空頭巾，以免被落下的碎片與焰火所傷。戰爭結束前一個月，格魯曼 F6F 地獄貓戰鬥機從美國第三艦隊的航空母艦上起飛，對北海道全面展開空襲。

西元1945年7月14日至15日，釧路總共遭到8次空襲。主要目標是工廠、鐵路、漁船和學校，一般認為這些空襲目的在於瓦解人們士氣。由於其中一次攻擊，位於釧路市中心的幣舞橋受損，但未被炸毀。不過橋上一座裝飾帶有藝術風格的石造方尖柱，隨之坍塌並墜入河中（柱頂如今陳列在博物館入口處），橋的鋼製側面也遭機關槍低空掃射。這座橋樑的其中一塊鋼板目前亦陳列於博物館中，厚度超過10公釐，上面還殘留著彈痕。空襲的2天內計有193人死亡，500多人受傷，約6成遇難者皆死於空襲引起的火災。

<日本語仮訳>

第二次世界大戦中の釧路

第二次世界大戦中には、日本中の都市が連合軍からの攻撃を受けました。女性と子どもは、落ちてくる瓦礫と炎から身を守るために、詰めものをした布製の防空頭巾を身につけていました。この戦争が終わる 1 ヶ月前、米国第三艦隊の空母から飛び立ったグラマン F6F ヘルキャット戦闘機が、北海道中で空襲を開始しました。

1945 年 7 月 14 日と 15 日の空襲で、釧路は 8 回攻撃されました。主な標的は、工場、鉄道、漁船および学校でした。激しい攻撃の目的は、人々の士気を下げることだったと考えられます。釧路市街地の幣舞橋は、損害を受けたものの破壊はされませんでした。幣舞橋のアルデコ様式の石柱のひとつは川に落下し(その上部は博物館の入口に展示してあります)、鉄製の側面部分は機銃掃射を受けました。幣舞橋の厚さ 10mm を超える鉄板に銃弾で穴が開いたものが、博物館に展示してあります。この 2 日間で 193 人が死亡し、500 人を超える人々が負傷しました。死者の約 6 割は、空襲で起きた火災によるものでした。

【タイトル】 焼玉エンジン

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**热球式发动机**

热球式发动机（日本称“烧玉”）是一种结构简单的内燃机，最初于 1886 年在英国研制而成。几年后，一种早期的热球式发动机，霍恩斯比-阿克罗伊德机油发动机被引入日本，日本国内的制造商对其进行了改良。热球式发动机操作简单，易于制造，只需使用经济实惠的燃油即可运作。1913 年在近海处，一场暴风雨困住了几艘金枪鱼捕捞船，渔民无法及时返回港口，最终造成了致命事故，共有 63 人因此丧生。此后，为了避免类似情况再次发生，釧路的渔民正式采用热球式发动机。借助热球式发动机，渔民能够减少捕鱼的往返时间，还能开辟更广阔的捕鱼区。

热球式发动机会发出有节奏的声音，因此装有此类发动机的船又被称作 ponpon 船。20 世纪 50 年代，性能更强大的柴油发动机逐渐取代了热球式发动机。博物馆中所展出的热球式发动机制造于 1952 年。

<繁体字>**熱球式引擎**

熱球式引擎（日語：燒玉）是一種結構簡單的內燃機，最初於西元 1886 年在英國研發。幾年後，早期的熱球式引擎（即霍恩斯比－阿克羅伊德機油引擎）進入日本，並由國內的製造商加以改良。這款引擎操作簡單且易於製造，加入經濟實惠的燃油即可運作。西元 1913 年在釧路的近海處，幾艘捕撈鮪魚的船隻受困於暴風雨中，漁民無法及時返回港口，最終造成致命事故，共 63 人因此喪生。此後，釧路的漁民正式採用熱球式引擎，以免類似情況再次發生。有了這種引擎，漁民能夠減少捕魚的往返時間，還可開闢更廣闊的捕魚區。

熱球式引擎會發出有節奏的聲音，因此裝有此類引擎的船隻又被稱作「ponpon 船」。到了 1950 年代，性能更強大的柴油引擎逐漸取代了熱球式引擎，博物館所展示的熱球式引擎是在西元 1952 年時所製造。

<日本語仮訳>

焼玉エンジン

焼玉エンジンは単純な内燃機関であり、1886年に英国で初めて開発されました。ホーンスピー・アクロイド石油エンジンという初期の型式のものが、数年後に日本に持ち込まれ、国内の製造者がそれを改造しました。焼玉エンジンは使い方が単純で、製造しやすく、安価な燃料で動きました。釧路の漁師たちは、1913年に沖合で死亡事故が起こった後に、このエンジンを本格的に採用しました。この事故では、数隻のマグロ漁船が沖合でひどい嵐に巻き込まれました。これらの船は港に戻ることができず、63人の漁師が亡くなりました。焼玉エンジンは、漁場への往復時間を短縮し、出漁区域を広げました。

焼玉エンジンを備えた船は、エンジンのリズムカルな音から、「ポンポン船」と呼ばれました。1950年代に、焼玉エンジンは、より強力なディーゼルエンジンへと徐々に置き換えられていきました。この博物館に展示されている焼玉エンジンは、1952年に作られたものです。

【タイトル】 農業用の簡易軌道：地域の生命線

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

农用简易铁路：社区的生命线

从 19 世纪 60 年代开始，日本政府鼓励人们从该国其他地区迁往北海道，但由于缺乏基础设施，人们很难在这座岛屿的内陆地区生活。即使到了 20 世纪 20 年代，从札幌出发的日本国铁列车也只会开往北海道东部的沿海城镇，内陆地区则通常只有土路，在恶劣的天气条件下无法通行。

为促进北海道东部内陆地区的对外开放，政府修建了农用简易铁路，采用窄距轨道以降低成本。第一条农用简易铁路于 1924 年开通，从钏路以东的厚床站通往更内陆的中标津。一开始是马车在铁轨上行驶，随着交通量的增加，马车被汽油发动的机车所取代。

这些列车是开拓地居民的生命线，将人们运送到钏路，将农作物和奶制品运送到市场，甚至在必要时还可充当救护车。当时，该地区许多家庭没有电，也没有电话，人们只能到最近的铁路办公室去打电话。由于铁轨的轨距很窄，列车有时会在雪天倾翻，这时，社区成员会团结起来将其扶正。

柴油发动机在第二次世界大战后引进，但这里的列车仍然是单节车厢，很像有轨电车。20 世纪 60 年代，许多小铁路线被改建为公路。到 1972 年，曾对该地区的发展发挥重要作用的线路相继遭到拆除或废弃，只有北海道东部和北部的少数铁路线路仍然开放。在该地区的田野和森林中仍然可以找到这些废弃线路的遗迹，钏路以北的鹤居村和钏路以东别海町的旧车站奥行臼站也保留了一些旧列车的车厢。2018 年，农用简易铁路被指定为北海道遗产。

<繁体字>

農用簡易鐵路：社區的生命線

日本政府自 1860 年代起，鼓勵國民從其他地區遷往北海道，但由於當地內陸地區缺乏基礎建設，人們很難生活。從札幌出發的國鐵列車即使到了 1920 年代，也只有開往北海道東部的沿海城鎮，至於內陸地區通常只有土路，因此在惡劣的天氣條件下無法通行。

為了促進北海道東部的內陸地區對外開放，政府修建農用簡易鐵路，並採用窄距軌道降低成本。西元 1924 年時，首條農用簡易鐵路開通，從釧路以東的厚床站出發，開往位置較靠內陸的中標津。一開始在鐵軌上行駛的是馬車，後來隨著交通量增加，被汽油驅動的機關車所取代。

這些列車成為開拓聚落的生命線，將人們載往釧路，把農作物、乳製品運到市場，必要時還可作救護車使用。當時，該地區內許多家庭沒有電也沒有電話使用，人們只能到最近的鐵路辦公室打電話。此外，由於鐵軌的軌距很窄，列車偶爾會在下大雪時翻覆，社區居民則會團結起來把車扶正。

第二次世界大戰後引進了柴油引擎，但列車仍是單節車廂，很像路面電車。到了 1960 年代，許多小型鐵路路線被改建為公路。時至 1972 年，鐵路雖然曾對此區發展功不可沒，但僅留存了北海道東部與北部的少數鐵路路線，其它仍相繼遭到拆除或廢棄。現在此區的田野和森林中，仍可找到廢棄的鐵道遺跡，像是釧路北邊的鶴居村，以及釧路東部別海町の舊車站奧行臼站，皆保留了些許舊列車的車廂。到了 2018 年，農用簡易鐵路獲指定為北海道遺產。

<日本語仮訳>

農業用の簡易軌道：地域の生命線

日本政府は、1860 年代以降、日本の各地から北海道への移住を推進しました。しかし、インフラの欠如が、北海道の内陸部への居住を困難にしていました。1920 年代でも、札幌からの国鉄は、北海道東部では沿岸の街のみをつないでいました。内陸部の道路の多くは土の道で、悪天候になると通れませんでした。

北海道東部の内陸地域を開拓するために、政府は農業用の「簡易軌道」を建設しました。この鉄道は、費用を削減するために狭軌の線路を使っていました。「簡易軌道」の最初の路線は、1924 年に開業しました。この路線は、釧路の東にある厚床駅と、さらに内陸にある中標津をつないでいました。その線路を走ったのは馬が引く車両でしたが、交通量が増えると、ガソリンで動く機関車に置き換えられました。

これらの列車は、開拓地の集落にとって生命線でした。人々を釧路に運び、収穫物と乳製品を市場に運びました。必要な場合には、救急車として役立ったこともあります。この地域の多くの世帯に電気も電話もなかった頃、人々は最寄りの鉄道事務所に行って電話をかけていました。この列車は狭軌だったため、雪が積もるとひっくり返ることもありました。その際、地域の人々は、列車を起こすために一丸となったことでしょう。

第二次世界大戦後、ディーゼルエンジンが導入されたものの、列車はなお一両編成で、路面電車のようなものでした。1960年代に、この小型の鉄道路線の多くは道路に変わりました。北海道東部と北部の数少ない路線だけが1972年まで営業を続けました。この地域の開発にかくも重要な役割を演じてきた線路は、次々と撤去・放棄されてしまいました。この地域の野原や森では、「簡易軌道」の線路の名残を今でも見つけることができます。古い軌道車両のいくつかは、釧路の北にある鶴居村と、釧路の東にある別海町の奥行臼駅という旧駅に保存されています。農業用の簡易軌道は、2018年に北海道遺産に認定されました。

【タイトル】 アイヌの人々

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

阿伊努族

阿伊努族是日本北部的原住民。他们的文化源于对自然界发自内心的敬畏，根植于自古至今狩猎采集的生活方式，以及与周边文化的广泛接触。阿伊努族拥有自己独特的风俗、语言和信仰。

自绳文时代末期（约 2500 年前）以来，北海道的文化发展便不同于日本列岛的其他地区。南方的本州岛、四国岛以及九州岛都早已开始种植水稻，而北海道却还保持着狩猎采集的生活方式。阿伊努族的文化很可能是保留了后绳文时期的文化，又经历了与鄂霍次克海附近北方族群以及本州社群的贸易往来与接触而发展起来的。

钏路的阿伊努族人定居于钏路川沿岸的村落。根据江户时代(1603–1867)后期的记载，当时，沿岸处约有 10 个村落，每个村落能容纳多达十多户人家。

<繁体字>

愛努族

愛努族是日本北部的原住民，他們的文化根源於內心對自然界的敬畏、歷來狩獵採集的生活方式以及與周遭文化的廣泛接觸。愛努族擁有獨特的風俗、語言以及信仰。

自繩文時代末期（約 2,500 年前）以來，北海道便發展出異於日本列島其他地區的文化。南方的本州島、四國島及九州島皆已開始種植水稻，北海道則保持著狩獵採集的生活方式。愛努族文化應是以此後繩文時代的文化為基礎，並透過與鄂霍次克海附近的北方族群、本州族群間的貿易往來與交流，得到進一步的發展。

釧路的愛努族人定居在釧路川沿岸的村落，根據江戶時代（西元 1603 年–1867 年）後期的記載，沿岸處當時約有 10 個村落，每個村落至多能容納 10 餘戶人家。

<日本語仮訳>

アイヌの人々

アイヌは、北日本の先住民です。アイヌ文化は、自然界への敬意、狩猟採集の暮らしの歴史、そして周辺の諸文化との幅広い接触に根ざしています。アイヌは、独自の慣習・言語・信仰を有しています。

縄文時代の終わり(今から約 2500 年前)以降、北海道の文化は、日本列島の他の地域とは別に発展していきました。南の本州・四国・九州では稲作が行われるようになりましたが、北海道では狩猟採集の暮らしが続きました。アイヌ文化は、この縄文文化から、オホーツク海周辺の北方社会および本州の社会との交易・接触を通して発展していったのでしょう。

釧路のアイヌは、釧路川沿いの村々に暮らしていました。江戸時代(1603～1867 年)後期の記録では、当時釧路川沿いには約 10 の村があり、それぞれに最大十数軒の住居があった、と記されています。

【タイトル】 儀式用の首飾り

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**用于仪式的项链**

阿伊努族人会佩戴项链、耳环以及臂环等装饰物，并将其视为护身符。人们会在举行宗教仪式时佩戴大号项链。这些项链由玻璃或半宝石（例如玛瑙和琥珀）打造的珠饰连缀而成，并且还配有大号金属挂饰。博物馆中陈列的大多数饰品都源自阿伊努族人与本州和欧亚大陆商人的贸易往来，其中许多金属配饰可追溯至 17 世纪中叶到 18 世纪期间。赫哲族居住于俄罗斯东部与中国北部交界的黑龙江流域附近，阿伊努族的金属配饰与在赫哲族部落遗址中发现的配饰相似，这表明阿伊努族曾与亚洲大陆存在贸易往来。

<繁体字>**儀式用項鍊**

愛努族人會配戴項鍊、耳環以及臂環等飾品，並將其視為護身符。在舉行宗教儀式時，人們則會佩戴大尺寸的項鍊，由玻璃或半寶石（例如瑪瑙和琥珀）打造的珠飾連綴而成，通常也配有大尺寸的金屬掛飾。大多數陳列於博物館的飾品，源自愛努族人與本州、歐亞大陸商人的貿易往來，其中許多金屬掛飾可追溯至 17 世紀中葉到 18 世紀期間。上述金屬配件與在赫哲族部落遺址中發現的配件相似，表示愛努族曾與亞洲大陸有貿易往來，因為赫哲族群居在俄羅斯東部與中國北部交界、阿穆爾河流域的附近。

<日本語仮訳>**儀式用の首飾り**

アイヌの人々は、首飾り・耳飾り・腕輪といった装身具を、装飾品として、またお守りとして身につけています。大きな首飾りは、宗教的儀式のために身につけるものです。これらの首飾りは、ガラスや、めのう・琥珀などの半貴石でできた玉から作られており、金属の大きなメダルを特徴とするものもよく見られます。この博物館で見られる装飾品のほとんどは、本州との交易やユーラシア大陸の人々との交易によるものであり、メダルの多くは 17 世紀半ばから 18 世紀にかけてのものです。これらのメダルは、ロシア東

部と中国北部の国境地帯にあるアムール川流域周辺に住む民族集団であるナナイの遺跡で見られるものによく似ています。これは、大陸と交易があったことを示しています。

【タイトル】 伝統的な衣服の素材

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

传统服饰的材料

在阿伊努族文化中，人们会充分利用现有的原材料。鹿、狐狸及海豹的毛皮用于制作服装，鱼皮用于制作靴子，榆树皮和荨麻茎等材料中的纤维则用于编织成布料。19 世纪中期，随着本州棉花的进一步推广，阿伊努族人逐渐开始制造棉质服装。阿伊努族男女现在仍会穿着饰有几何图案贴花和刺绣的和服形状的外套，参加仪式和出席特殊场合。常见的样式有螺旋和荆棘图案。在这些服装中，有些改良自从本州交易而来的和服，有些则将和服绸缎上的镶片用作装饰。

<繁体字>

傳統服飾的材料

在愛努族文化中，人們會充分利用現有的原生物料，像是鹿、狐狸及海豹的毛皮來製作服裝，魚皮則用於製作靴子，還有取出榆樹皮和荨麻莖等植物中的纖維織成布料。19 世紀中期，隨著本州棉花進一步的推廣，愛努族人逐漸開始製作棉質服裝。時至今日，愛努族男女仍會在參加儀式和出席特殊場合時，穿著外觀與和服相似的外套，帶有幾何圖案的貼飾和刺繡，常見的圖案有螺旋和荊棘樣式。這些服裝有些改良自從本州交易而來的和服，有些則將和服的綢緞布料用作裝飾。

<日本語仮訳>

伝統的な衣服の素材

アイヌ文化では、入手可能な原材料を工夫して使います。シカ、キツネ、アザラシの毛皮を使って服を作り、魚の皮を使って靴を作り、ニレの樹皮やイラクサの茎といった材料から繊維をとって布を織ります。19 世紀半ばには、本州から綿がより広く手に入るようになり、アイヌは綿の服を作りはじめました。現在でも、儀式や特別な機会があると、アイヌの男女は着物のような形の上着を着ます。この上着には幾何学模様の刺繡と縫い付け飾りが施されています。よく見られる模様には、うず模様やとげ模様などが

あります。これらの衣服の中には、本州から交易で入手した着物を直したのもあれば、着物の絹の布きれを飾りとして使ったものもありました。

【タイトル】 アイヌの信仰

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

阿伊努族的精神信仰

阿伊努族的文化重视对自然的崇敬。阿伊努人传统上认为是“神灵”(kamuy)造访了人类世界，“神灵”依附于水、火、山岳、谷地、植物和动物，存在于世间万物之中。同时，阿伊努人相信在这个世界之上还存在着另一片神域，“神灵”从这里来到俗世，并在完成俗世工作后回到此处。阿伊努人会举行仪式，以答谢这些神灵，并将他们送回其所在之地。阿伊努族将熊视为守护山岳等众多事物的“神灵”，因此，每当阿伊努族的猎手猎杀一头熊时，他们便会举行仪式，以表达感谢之情，并送走它的灵魂。阿伊努族文化中还有其他重要的“神灵”，例如被人们视为海洋之灵的虎鲸，以及保护村落的毛腿渔鸮。人们将香蒲编织成“祭坛”(nusasan)，放置在户外，以便举行仪式时使用。祭坛前面摆放着为“神灵”供奉的贡品和一排雕刻而成的仪式“木桩”(inaw)。游客在博物馆里可以看到与实物大小相同的装饰有仪式器物的“祭坛”。

<繁体字>

愛努族的精神信仰

愛努族的文化強調對自然的崇敬。傳統上愛努族相信「神威」（神靈）來到了人類世界，存在於世間萬物之中，包括水、火、山岳、谷地以及動植物等。同時，他們相信除了這個世界外還存在著另一片領域，這既是「神威」的原初所在，也是他們完成人間任務後的返回之處。人們會舉行答謝這些神靈的儀式，並在儀式中將牠們送回上述的領域。比如愛努族將熊視為守護山岳等眾多事物的「神威」，因此，每當愛努族獵人捕殺一頭熊後，他們便會舉行儀式表達感謝之情，並送走牠的靈魂。此外，愛努族文化中還有其他重要的「神威」，例如被人們視為海洋之靈的虎鯨，以及保護村落的毛腿漁鸞。人們會將香蒲編織成祭壇（日語發音：nusasan），並放置在戶外以便舉行儀式時使用。祭壇上擺放著供奉給「神威」的貢品，而祭壇前則會擺放一排削製而成的儀式用的木樁（日語發音：inaw）。博物館中陳列著一個擺出儀式用品的 nusasan，其大小與實際的祭壇相當。

<日本語仮訳>

アイヌの信仰

アイヌ文化は、自然への敬意を重視します。アイヌは伝統的に、カムイ(霊)が人間の世界を訪れる、と信じています。カムイは、山・谷・火・水・植物・動物など、あらゆるものに見出される、と信じられています。また、アイヌは、この世界を超えた別の領域がある、とも信じています。そこからカムイがやって来て、この世界での仕事を終わるとそこに戻って行く、と信じているのです。これらの霊に感謝し、霊をその領域に送り返すための儀式が行われています。熊は、山を含む多くのもののカムイだと考えられています。アイヌの猟師が熊を殺す際には、熊に感謝しその霊を見送る儀式を行います。他の重要なカムイには、シャチやシマフクロウなどがいます。シャチは海の霊だと考えられており、シマフクロウは村の守り手だと信じられています。儀式のためには、編んだガマで作った祭壇(ヌササン)を野外に設置し、カムイへの供え物をします。また、祭壇の前には、儀式用に削った木の棒(イナウ)を並べます。この博物館には、儀式に使う品で飾られた実物大のヌササンを展示しています。

【タイトル】 タンチョウ

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**丹顶鹤**

丹顶鹤又称日本鹤（学名：Grus japonensis），是唯一在日本繁衍生息的鹤类留鸟。北海道东部有丹顶鹤常年栖息，而居住在欧亚大陆的丹顶鹤则是候鸟。丹顶鹤头顶有一块裸露的皮肤，颜色鲜红，这是它们的独特之处。这种鸟是传统日本艺术中的常见主题，代表着长寿和幸福。

在江户时期(1603–1867)，整个日本东部都可以见到丹顶鹤，但由于人类的猎杀和栖息地的缩减，它们的数量逐年减少。到 20 世纪早期，人们认为定居在日本的丹顶鹤已经灭绝。然而在 1924 年，人们发现釧路湿地栖息着 10 只左右的丹顶鹤。通过实施冬季喂养和保护计划，丹顶鹤的数量终于增加至 1800 只左右。丹顶鹤被指定为特殊天然纪念物，受到精心保护。博物馆展示了丹顶鹤一年四季中的生命轨迹，其中包括它们复杂的冬季求偶舞蹈仪式。

<繁体字>**丹頂鶴**

丹頂鶴又名日本鶴（學名：Grus japonensis），是唯一在日本繁衍生息的鶴類留鳥（註：終年居住在其生殖地的鳥類），牠們常年棲息在北海道東部，至於居住在歐亞大陸的丹頂鶴則是候鳥。丹頂鶴的頭頂有一塊呈鮮紅色的裸露皮膚，為其獨有的特徵。這種鳥類是傳統日本藝術中常見的主題，代表長壽及幸福。

江戶時代（西元 1603 年–1867 年）時，整個日本東部都可見到丹頂鶴，但由於人類獵殺和棲息地的縮減，牠們的數量逐年減少。到了 20 世紀早期，外界認為定居在日本的丹頂鶴已經滅絕，然而在西元 1924 年，人們發現釧路濕地棲息著 10 隻左右的丹頂鶴。在實施冬季餵養和保育計畫後，丹頂鶴的數量增至 1,800 隻左右，後來牠們被指定為特別天然紀念物，因而受到保護。博物館有展示丹頂鶴一年四季的生命軌跡，其中包括牠們在冬季時複雜的求偶舞。

<日本語仮訳>

タンチョウ

タンチョウ(学名:Grus japonensis)は、日本に住んで繁殖を行う唯一のツルです。北海道東部には一年中タンチョウが生息していますが、ユーラシア大陸のタンチョウは渡り鳥です。タンチョウの頭頂部は、赤い皮膚がむき出しになっているのが特徴です。タンチョウは、日本の伝統芸術で広く見られる主題であり、長寿と幸福の象徴です。

江戸時代(1603~1867年)の間、タンチョウは東日本中で見られました。しかし、捕獲され、生息環境が失われることにより、時とともにタンチョウの数は減少しました。20世紀初頭までに、日本に住むタンチョウは絶滅したと考えられるようになりました。しかし、1924年に、釧路湿原に生息している10羽ほどのタンチョウの群れが発見されました。タンチョウの数は、冬季に餌をやり保護計画を実行することで、約1,800羽まで増加しています。タンチョウは、特別天然記念物として保護されています。この博物館では、四季を通じたタンチョウの生活環について(冬季の複雑な求愛ダンスなど)展示を行っています。

【タイトル】 釧路市立博物館

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

釧路市立博物館

釧路市立博物館利用动态陈列和手工艺品，为来访者展现釧路从史前发展至今的历史，所涉及的领域涵盖考古学、地质学、自然和人类历史。在此可了解冰河期的动物迁徙、釧路湿地的形成、阿伊努族文化，以及来自日本列岛其他地区的早期移民。该博物馆修建于1983年，由当地建筑师毛纲毅旷(1941–2001)所设计，其外形像一只展翅的丹顶鹤。博物馆的设计象征着釧路稀有的丹顶鹤。

釧路与冰期

釧路的地形受到冰川作用、海平面变化和火山活动的影响。随着时间推移，各种独特的景观逐渐形成，包括湿地和丰富的海洋环境。

大约 3 万年前，在末次冰期中最寒冷的时候，一座陆桥通过库页岛将北海道与欧亚大陆连为一体。因为陆桥的存在，包括猛犸象在内的各种动物才得以迁徙至如今的北海道。其中一些物种，例如极北鲑，至今都还栖息于釧路地区。

釧路地区的动植物

釧路湿地是一片原始的低地环境。许多稀有和特有动植物都栖息于釧路湿地，其中包括唯一常居于日本的濒危鹤类物种丹顶鹤（学名：*Grus japonensis*，日语：tancho），以及从未次冰期留存至今的物种。

这些湿地为 1000 余种昆虫提供了理想的生长环境，包括冰期的幸存物种，例如极北蜓（日语：ijimaruriboshi yanma），以及虾夷颜白蜻蛉（日语：yezokaojirotonbo）。

由于釧路湿地天气凉爽，夏季又时常浓雾弥漫，这里还有一些通常只在高山环境下生长的植物。

毳藻

有一种名为毳藻（学名：*Aegagropila linnaei*）的罕见淡水藻，这种藻类会生长成球状。水流运动使这些丝状藻以球体的形状生长，所形成的球体直径可长达 30 厘米。人们仅在釧路北部的阿寒湖地区发现过这种球状的毳藻，但釧路湿地外围的 Shirarutoro 湖和塘路湖中也有其他丝状藻生长。

钏路与太平洋

钏路湾的地质环境丰富多样，为大量海洋生物提供了生存条件。钏路湾被一条海底峡谷划分为东西两侧。西侧有平缓起伏的多沙海岸线，东侧则有陡峭险峻的多岩石悬崖。钏路海底峡谷和海岸线环境中的海洋生物别具一格：比目鱼在多沙的海岸地区繁衍，深海虾蟹则在海底峡谷的斜坡上生息。

史前的钏路

由于有一座通过库页岛的陆桥将北海道与欧亚大陆连为一体，史前人类很有可能通过这座陆桥在最后一个冰河时代迁移至北海道。据说，大约 1 万年前，在上升的海平面将北海道与陆地隔绝开后，早期移民就已在此处定居。钏路的史前遗址位于俯瞰钏路湿地的高原之上，为来访者展示了钏路史前社会的发展。约 140 万件手工艺品被挖掘出，其中一部分在博物馆中展出，包括出土于绳文时代（公元前 13000 年—公元 400 年）的石箭头和陶器，以及来自擦文时代(700–1200)的铁器和金属工具。

近代的钏路

在钏路发展为如今的繁华都市前，这片区域曾有一座阿伊努村落，在江户时期(1603–1867)，日本商人曾造访过此处。村落附近名为“Kusuri 场所”的贸易站逐渐发展起来，直至江户时代末期，一直有来自本州的移民在此定居。后来，此处小型贸易站逐渐发展为北海道东部主要的交通枢纽和渔业中心。19 世纪至 20 世纪，该地区的煤矿业和伐木业逐渐兴起。木材从钏路输出至日本其他地区以及海外。在该地区发现煤层后，于 20 世纪早期开始采矿。随着经济腾飞及人口增长，1922 年，钏路被正式改制为钏路市

阿伊努族文化的发展

阿伊努族是日本北部的原住民。他们的文化根植于独特的风俗、语言以及信仰，包括对自然界发自内心的崇敬。阿伊努族一度保持着狩猎采集的生活方式，并且与南方的本州以及北方的库页岛和欧亚大陆的周边族群有着贸易往来。

自 2500 年前以来，北海道地区的文化发展便不同于日本列岛的其他地区。本州岛、四国岛以及九州岛都早已开始种植水稻，而北海道却还广泛保持着狩猎采集的社会模式。阿伊努族的文化很可能是通过与鄂霍次克海附近的北方族群的贸易往来和联系，从绳文时期后的文化发展而来。

阿伊努族的历史和信仰通过口述传统与英雄史诗(sakorpe)等故事流传至今。参观博物馆的游客可以观看以阿伊努语叙述的精选故事视频

丹顶鹤

丹顶鹤（学名：Grus japonensis，日语：tancho）是唯一在日本繁衍生息的鹤类。北海道东部有丹顶鹤常年栖息，而居住在欧亚大陆的丹顶鹤则是候鸟。丹顶鹤头顶有一片独特的红色羽毛。这种鸟是传统艺术中的常见主题，代表着长寿和幸福。

在江户时期(1603–1867)，整个日本东部都可以见到丹顶鹤，但由于人类的猎杀和栖息地的缩减，它们的数量逐年减少。到20世纪早期，人们认为日本的丹顶鹤已经灭绝。1924年，人们发现钏路湿地栖息着10只左右的丹顶鹤。通过实施冬季喂养和保护计划，丹顶鹤的数量终于增加至1800只左右。

<繁体字>

釧路市立博物館

釧路市立博物館透過動態展示品和文物，為來訪者介紹釧路從史前時代至今的歷史，涉及的領域涵蓋考古學、地質學、自然和人類歷史。在此可深入了解冰河期的動物遷徙、釧路濕地的形成、愛努族文化，以及來自日本列島其他地區的早期移民。這座博物館修建於西元1983年，由當地建築師毛綱毅曠（西元1941年–2001年）負責設計，建築外觀像一隻展翅的鶴，象徵釧路稀有的丹頂鶴。

釧路與冰河期

釧路的地形受到冰川作用、海平面變化和火山活動的影響。隨著時間推移，各種獨特的景觀逐漸形成，包括濕地和豐富多樣的海洋環境。

距今約30,000年前，即最後一次冰河期中最寒冷的時期，經由庫頁島所形成的陸橋將北海道與歐亞大陸連為一體。由於陸橋的存在，包括猛獁象在內的各種動物得以遷徙至如今的北海道，其中一些物種，例如極北鮠至今都還棲息在釧路地區。

釧路地區的動植物

釧路濕地是一片原始的低地環境。許多稀少和特有的動植物種皆棲息於釧路濕地，其中包括丹頂鶴（學名：Grus japonensis）這種唯一常居於日本的瀕危鶴類，以及從最後一次冰河期留存至今的物種。

這片濕地同時也讓1,000多種昆蟲得以在此繁衍生存，包括冰河期的倖存物種，例如極北蜓以及蝦夷顏白蜻蛉。

由於釧路濕地天氣涼爽，夏季又常濃霧瀰漫，這裡還有一些通常只生長在高山地區的植物。

毬藻

毬藻（學名：Aegagropila linnaei）是一種會長成球狀的罕見淡水藻。在水流的影響下，這些絲狀藻類演變成為球形，直徑可達 30 公分。球形毬藻僅在北釧路的阿寒湖可見，但釧路濕地外圍的 Shirarutoro 湖和塘路湖中，也有其他絲狀藻類。

釧路與太平洋

釧路灣的地質環境豐富多樣，大量海洋生物得以在此繁衍生息。這座海灣以海底峽谷劃分為東、西兩側，西側有平緩的沙質海岸線，東側則有陡峭險峻的岩石峭壁。釧路海底峽谷與海岸線環境中，各自棲息著迥異的海洋生物：比目魚在沙質海岸地區繁衍，深海蝦蟹則生長在海底峽谷的斜坡上。

史前時代的釧路

在最後一次冰河期時，經由庫頁島的陸橋將北海道與歐亞大陸連為一體，史前人類可能就在此時來到了北海道。據說距今約 10,000 年前，上升的海平面將北海道與陸地隔開後，早期移民就已在於此定居。由於釧路的史前遺址位於高原上，俯瞰著釧路濕地，透過此遺址也可了解釧路史前社會的發展。研究人員從中挖掘出約 140 萬件文物，其中部分文物陳列於博物館中，例如出土於繩文時代（西元前 13,000 年–西元 400 年）的石箭鏃（箭枝的銳利尖端處）和陶器，以及擦文時代（西元 700 年–1200 年）的鐵器和金屬工具。

近代的釧路

在釧路發展成如今的繁華市鎮前，這片區域有一座愛努村落，在江戶時代（西元 1603 年–1867 年）時曾有日本商人造訪此處。村落附近名為「Kusuri 場所」的貿易據點逐漸發展，直到江戶時代末期，一直有來自本州的移民在此定居。後來，這處小型貿易據點演變成為北海道東部主要的交通樞紐和漁業中心。從 19 世紀至 20 世紀，釧路地區的煤礦業和伐木業開始興起，木材由釧路向日本其他地區及海外輸出。此外，人們在此地區發現煤層，進而在 20 世紀早期開始採礦。隨著經濟發展及人口增長，釧路於西元 1922 年正式改制為釧路市。

愛努族文化的發展

愛努族是日本北部的原住民，他們文化根源來自於獨特的風俗、語言以及信仰，包括對自然界發自內心的崇敬。愛努族過著狩獵採集的生活，並與南方的本州、北方的庫頁島，以及歐亞大陸周邊的族群進行貿易。

在距今約 2,500 年前時，北海道便發展出不同於日本列島其他地區的文化。本州島、四國島及九州島早已開始種植水稻，北海道大部分地區則還是狩獵採集社會。愛努族文化應是以此繩文時代後的文化為基礎，在與鄂霍次克海附近的北方族群貿易往來與交流下，得到進一步的發展。

愛努族の歴史和信仰，以口述傳統與英雄史詩（sakorpe）等故事流傳至今。遊客若來到博物館，可以觀看用愛努語敘述的精選故事影片。

丹頂鶴

丹頂鶴（學名：Grus japonensis）是唯一在日本繁衍生息的鶴類，牠們常年棲息在北海道東部，至於居住在歐亞大陸的丹頂鶴則是候鳥。丹頂鶴以頭頂上的紅色羽冠為其獨有的特徵，並成為日本傳統藝術中的常見主題，代表著長壽及幸福。

在江戶時代（西元 1603 年–1867 年）時，整個日本東部都可見到丹頂鶴，只是由於人類獵殺和棲息地的縮減，牠們的數量逐年減少。到了 20 世紀早期，一般認為日本的丹頂鶴已經滅絕。直到西元 1924 年，人們發現釧路濕地棲息著 10 隻左右的丹頂鶴，後來實施了冬季餵養與保育計畫，丹頂鶴的數量增至 1,800 隻左右。

<日本語仮訳>

釧路市立博物館

釧路市立博物館は、動きのある展示を通して、先史時代から現在までの釧路について語ってくれます。その分野は、考古学、地質学、自然、人類史にわたります。氷期における動物の移動、釧路湿原の形成、アイヌ文化、そして日本列島の他地域からこの地域に早くから移住してきた人々について学びましょう。この博物館は、釧路出身の建築家である毛綱毅曠(1941～2001 年)が設計し、1983 年に竣工しました。翼を広げた鶴を模しています。この設計は、釧路に住む稀少なタンチョウを表しています。

釧路と氷期

釧路の地形は、氷河作用、海面の変化、および火山活動の影響を受けてきました。時間をかけて、湿原や多様な海洋環境などの独特な景観が発達しました。

約 3 万年前、最終氷期の中でも最も寒かった時期に、北海道は樺太島を介してユーラシア大陸とつながっていました。それにより、マンモスなどの動物が、現在の北海道に渡ってきました。これらの種の一部(キタサンショウウオなど)は、現在も釧路地方に住み続けています。

釧路地方の動植物

釧路湿原は、原始的な低地環境です。釧路湿原は、多くの稀少・固有な動植物の生息地です。絶滅が危惧されているタンチョウ(学名:Grus japonensis)の集団が日本で唯一定住しているほか、最終氷期から生き残っている種もいます。

釧路湿原には 1,000 種を超える昆虫が生息しており、イジマルリボシヤンマやエゾカオジロトンボのような氷期からの生き残りもいます。

植物の中には、通常は山岳環境でのみ見られるものの、ここ釧路湿原では繁茂しているものがあります。釧路湿原の涼しい気候と、夏には頻繁に霧に覆われることがその理由です。

マリモ

淡水藻の一種(学名:Aegagropila linnaei)が稀少な球状に成長したものが、マリモと呼ばれます。これらの糸状の藻は、水の動きによって球状に成長することがあり、直径 30cm にまで達することもあります。球状のマリモが成長したものは釧路北部の阿寒湖のみで見られますが、糸状の藻は、釧路湿原の周辺部にあるシラルト口湖や塘路湖にも生息しています。

釧路と太平洋

釧路湾は、地理的に多様な環境であり、豊富な海洋生物のすみかとなっています。釧路湾は、海底谷によって 2 つの部分に分けられています。西側には砂浜の穏やかな海岸線が広がり、東側には険しい岩壁があります。釧路海底谷と海岸線の環境の海洋生物相は独特です。砂地の海岸地域にはカレイ類が豊富です。海底谷の斜面には深海に住むエビやカニが生息しています。

先史時代の釧路

人類は、おそらく最終氷期の間には北海道へとやってきたのでしょう。この時期、北海道は、樺太島を介してユーラシア大陸とつながっていました。これらの人々が釧路に定住するようになったのは約 10,000 年前だと考えられています。海面が上昇して北海道が大陸から切り離された後のことです。釧路湿原より標高が高い台地沿いの遺跡から、釧路の先史社会の発展が分かります。約 140 万点の人工物が発見されてきました。これらは、縄文時代(紀元前 13,000 年～西暦 400 年)の石鏃と土器や、擦文時代(西暦 700 年～1200 年)の鉄器・金属器などで、幅広く博物館に展示されています。

近世・近代の釧路

釧路が現在のように賑わう街になる前、この地域にはアイヌの村がありました。江戸時代(1603～1867 年)には、日本の商人がこの村を訪れていました。近くに「クスリ場所」と呼ばれる交易の拠点が発達し、江戸時代の終わりにかけて、本州から来た人々がここに定住しました。この小さな交易拠点は、北海道東部の交通と漁業の中心へと発展しました。19～20 世紀の釧路地方では、採炭業と林業が発達しました。釧路から木材が日本各地や海外に出荷されました。採炭業は、この地域で炭層が発見された後、20 世紀初頭に始まりました。経済が活発になるにつれて人口が増え、釧路は 1922 年に市となりました。

アイヌ文化の発展

アイヌは、北日本の先住民です。アイヌ文化は、自然界への敬意など、独自の慣習・言語・信仰に根ざしています。アイヌは狩猟採集の暮らしを送っており、南は本州、北は樺太島やユーラシア大陸の社会と交易を行っていました。

今から約 2500 年前頃から、北海道では、日本列島の他の地域とは別の文化が発展しました。本州・四国・九州では稲作が行われるようになりましたが、北海道ではおおむね狩猟採集が引き続き行われました。アイヌ文化は、この縄文後の文化から、オホーツク海周辺の北方社会との交易・接触を通して発展していきました。

アイヌの歴史と信仰は、口承と、英雄叙事詩(サコロベ)などの物語を通して伝えられてきました。博物館を訪れる人は、アイヌ語で語られるこれらの物語を収録した動画を見ることができます。

タンチョウ

タンチョウ(学名:Grus japonensis)は、日本で繁殖する唯一のツルです。

北海道東部には一年中タンチョウが生息していますが、ユーラシア大陸のタンチョウは渡り鳥です。タンチョウの特徴的な頭部には、赤い羽毛があります。タンチョウは、伝統芸術で広く見られる主題であり、長寿と幸福の象徴です。

江戸時代(1603～1867 年)、タンチョウは東日本中で見られました。しかし、捕獲され、生息環境が失われることにより、時とともにタンチョウの数は減少しました。タンチョウは、日本では 20 世紀初頭までに絶滅したと考えられていました。しかし、1924 年に、釧路湿原に生息している 10 羽ほどのタンチョウの群れが発見されました。タンチョウの数は、冬季に餌をやり保護計画を実行することで、約 1,800 羽まで増加しています。

【タイトル】 北斗遺跡

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

北斗遺跡

北斗遺跡（国家历史遗址）显示，1 万多年以来，一直都有人居住在釧路地区。从石器和陶器到铁器和简易农具，遗迹中的考古发现为人们展示了这片地区史前社会的发展历程。

遗迹坐落于釧路湿地西边的高原之上。大约从公元前 13000 年到公元 13 世纪，一直有人定居于此。在绳文时代末期（公元 400 年左右），本州岛、四国岛及九州岛上的居民陆续开始水稻种植，并逐渐演变为农耕社会。然而，北海道的的气候不适合种植水稻。因此，这片区域继续维持着绳文时期特有的狩猎采集社会。

在擦文时代(700-1200)，北海道的居民通过贸易往来获得了全新的技术和材料，但他们仍然保持着与之前大致相同的狩猎采集生活方式。人们从北斗遗迹中挖掘出了铁制工具，这表明当时的居民曾与本州社群存在贸易往来。

展览馆

遗迹入口处的展览馆展出了有关该遗迹地质历史和人类历史的手工制品、图表和立体模型。展品按照时间顺序陈列，可帮助游客更好地了解数千年来这片地区的技术发展以及居民生活方式的演变。展馆内有一个擦文时期竖穴建筑的全尺寸模型，能让游客直观感受该地区的远古生活。

展览馆开馆时间为 4 月至 11 月的上午 10 点至下午 4 点（星期一闭馆）。

参观考古遗址

展览馆的旁边有一个观景台，能够俯瞰整个北斗遗址。观景台前方有一条小径，游客可通过这条小径穿过森林直达高原。高原上随处可见深约一米的低洼坑穴，这就是“竖穴建筑”的遗迹。这里一共有 102 个圆形或椭圆形的竖穴，挖建于绳文时代和后绳文时代末期（公元前 13000 年-公元 700 年），另外有 232 个方形竖穴，挖建于擦文时代。

遗迹中有 5 个擦文时代“竖穴建筑”的全尺寸模型，游客可以进去参观。每个窑屋都由方形土坑构成，深约 1 米，边长约为 5-10 米。“竖穴建筑”以杆子支撑着茅草屋顶，屋顶中央部分高达数米，并向下倾斜，一直延伸至地面。屋内建有一个用于加热和熏制食物的中

央灶台，还有一块睡觉的区域和一个小型陶土炉。居民通常会沿河岸或海岸修建诸如此类的村落，以便捕鱼、狩猎和觅食。

<繁体字>

北斗遺跡

北斗遺跡（國家指定史跡）揭示出釧路地區自 10,000 多年以來一直有人居住的事實。從遺跡中發現了石器、陶器、鐵器和簡易農具，這些考古證據讓人們得以了解此區史前社會的發展歷程。

北斗遺跡坐落在釧路濕地西邊的高原上，約從西元前 13,000 年到西元 13 世紀，一直有人定居此區。在西元 400 年左右的繩文時代末期，本州島、四國島及九州島的居民陸續開始種植水稻，上述地區後來逐漸演變成農業社會。然而，北海道的氣候並不適合種植水稻，因此，這片區域繼續維持著繩文時代特有的狩獵採集社會。

在擦文時代（西元 700 年–1200 年）時，北海道的居民透過貿易往來，雖然取得了新的技術和材料，但仍保持與昔日相似的狩獵採集生活方式。從北斗遺跡中挖掘出的鐵製工具，表示當時居民會與本州的居民有貿易往來。

展覽館

遺跡入口處的展覽館陳列著與該遺跡相關的地質史及人類歷史的文物、圖表和立體模型。展示品依時間順序擺放，有助遊客了解數千年來此地區的技術發展，以及不斷改變的當地居民的生活方式。展館內有一個擦文時代（西元 700 年–1200 年）豎穴式住居的等比例模型，能讓遊客直接感受這裡的遠古生活。

展覽館開放時間為 4 月至 11 月的上午 10 點至下午 4 點（週一休館）。

參觀考古遺址

過了展覽館以後有座觀景台，來到此處的遊客享有眺望北斗遺跡的絕佳視野。觀景台的前方有條小徑穿過森林通往高原。高原上有多處淺窪地，每個窪地深約 1 公尺，這些窪地曾是豎穴式住居所在之處，包括有 102 個開鑿於繩文時代和後繩文時代（西元前 13,000 年–西元 700 年）的圓形和橢圓形坑穴，以及 232 個擦文時代（西元 700 年–1200 年）的方形坑穴。

遺跡中有 5 個擦文時代的豎穴式住居等比例模型，遊客可以進去參觀，每個豎穴式住居都由方形坑穴構成，深約 1 公尺，邊長為 5 至 10 公尺。住居以桿子支撐茅草屋頂，屋

頂の中央部分高達數公尺，以傾斜的角度連接到地面上。屋內有個用於加熱和燻製食物的中央灶台，還有睡覺的區域和一個小型陶土爐。上述村落通常位於河岸或海岸邊，方便居民捕魚、狩獵和尋找食物。

<日本語仮訳>

北斗遺跡

北斗遺跡(国指定史跡)は、釧路に 1 万年以上にわたって人が住み続けたことを示しています。この遺跡では、石器や土器片から鉄器、また単純な農具が発見されており、この地域で先史社会がどう発展したかが分かります。

北斗遺跡は、釧路湿原西部の台地上にあります。この地域には、紀元前 13,000 年頃から西暦 13 世紀まで、ずっと人が住み続けていました。縄文時代の終わり(西暦 400 年頃)には、本州・四国・九州に住む人々は稲作を採用し、後に農耕社会へと発展しました。しかし、北海道の気候は稲作に適していませんでした。そこで、縄文時代の特徴だった狩猟採集社会が引き続き存在することになりました。

擦文時代(西暦 700～1200 年)には、交易を通して新しい技術と材料が入ってきたものの、狩猟採集の暮らしはほぼ同じままでした。北斗遺跡では鉄器が見つかっており、これは本州との交易があったことを示しています。

展示館

遺跡の入口には展示館があり、この遺跡の地史と人類史に関するジオラマ、図表、出土品が展示されています。展示は年代順になっており、数千年にわたる技術の発展と住民の暮らしの変化を理解する助けになります。展示館の中には、擦文時代(西暦 700～1200 年)の竪穴建物の実物大模型があり、この地域の昔の暮らしを見せてくれます。

展示館の開館時間は午前 10 時から午後 4 時です。4 月から 11 月まで開館しています。

遺跡を訪れる

展示館を越えたところに展望台があります。展望台では、北斗遺跡を上から見ることができます。展望台の前には小道があり、森を抜けて高台に通じています。高台には、それぞれ深さ 1m ほどの浅い穴があります。これらは、竪穴建物の跡です。縄文時代と続縄文時代(紀元前 13,000 年～西暦 700 年)に掘られた円形・楕円形の穴が 102 個あり、擦文時代(西暦 700～1200 年)に掘られた四角形の穴が 232 個あります。

また、遺跡には擦文様式の竪穴建物の実物大模型が 5 つあり、中に入ることができます。各住居は、深さ約 1m の四角形の土の穴(各辺は 5~10m)からできています。支柱が茅葺の屋根を支えています。屋根の高さは中心部で数 m あり、そこから地面まで低くなっていきます。住居には、暖房および食物を燻すための炉が中央にあり、寝る場所があり、小さな土かまどがあります。こういった村は、住民が狩猟採集に加えて魚も獲れるよう、通常は川沿いや海岸沿いに作られました。